

都市計画道路殿町羽田空港線ほか道路築造工事

令和4年度環境モニタリング環境調査報告書

参考資料

令和5年6月

川 崎 市 建 設 緑 政 局

－ 目 次 －

(1) 水質・水象調査（広域調査）	1
(2) 地形変動（広域調査）	24
(3) 植物調査（広域調査）	29
(4) 藻類調査（アサクサノリ）（広域調査）	40
(5) 鳥類調査（広域調査）	44
(6) 魚類調査（広域調査）	82
(7) 底生生物調査（広域調査）	99
(8) 底質調査（広域調査）	113
(9) 地形変動（干潟調査）	118
(10) 底生生物調査（干潟調査）	127
(11) 底質調査（干潟調査）	132

参考資料 環境モニタリング調査結果の詳細

(1) 水質・水象調査(広域調査)

1) 調査地点

表 1.1(1) 水質調査時の測定・採水位置一覧(H29 年度春季)

No.	調査点	緯度	経度	備考
1	調査点 1	35° 32' 41.9"	139° 45' 15.2"	現地測定、採水
2	調査点 2	35° 32' 31.4"	139° 45' 38.8"	現地測定、採水
3	調査点 3	35° 32' 19.3"	139° 46' 03.9"	現地測定、採水

表 1.1(2) 水質調査時の測定・採水位置一覧(H29 年度秋季)

No.	地点名	緯度	経度	備考
1	地点 1	35° 32' 40.02"	139° 45' 14.18"	現地測定、採水
2	地点 2	35° 32' 37.70"	139° 45' 45.39"	現地測定、採水
3	地点 3	35° 32' 22.62"	139° 46' 05.55"	現地測定、採水
4	地点 4	35° 32' 33.11"	139° 45' 42.87"	現地測定
5	地点 5	35° 32' 30.49"	139° 45' 41.30"	現地測定

表 1.1(3) 水質調査時の測定・採水位置一覧(H29 年度冬季～R2 年度冬季)

No.	地点名	緯度	経度	備考
1	地点 1	35° 32' 40.32"	139° 45' 14.34"	現地測定
1'	地点 1'	35° 32' 38.02"	139° 45' 02.35"	現地測定、採水
2	地点 2	35° 32' 36.30"	139° 45' 45.90"	現地測定、採水
3	地点 3	35° 32' 23.28"	139° 46' 06.18"	現地測定、採水
4	地点 4	35° 32' 32.94"	139° 45' 42.54"	現地測定
5	地点 5	35° 32' 29.22"	139° 45' 44.58"	現地測定

表 1.1(4) 水質調査時の測定・採水位置一覧(R4 年度春季)

No.	地点名	緯度	経度	備考
1	地点 1	35° 32' 41.01"	139° 45' 16.48"	現地測定、採水
2	地点 2	35° 32' 31.17"	139° 45' 38.16"	現地測定、採水
3	地点 3	35° 32' 19.13"	139° 46' 02.83"	現地測定、採水

表 1.1(5) 水質調査時の測定・採水位置一覧(R4 年度夏季)

No.	地点名	緯度	経度	備考
1	地点 1	35° 32' 41.60"	139° 45' 17.34"	現地測定、採水
2	地点 2	35° 32' 32.06"	139° 45' 40.33"	現地測定、採水
3	地点 3	35° 32' 21.15"	139° 46' 03.95"	現地測定、採水

表 1.1(6) 水質調査時の測定・採水位置一覧(R4 年度秋季)

No.	地点名	緯度	経度	備考
1	地点 1	35° 32' 41.60"	139° 45' 17.34"	現地測定、採水
2	地点 2	35° 32' 32.06"	139° 45' 40.33"	現地測定、採水
3	地点 3	35° 32' 21.15"	139° 46' 03.95"	現地測定、採水

表 1.1(7) 水質調査時の測定・採水位置一覧(R4 年度冬季)

No.	地点名	緯度	経度	備考
1	地点 1	35° 32' 41.60"	139° 45' 17.34"	現地測定、採水
2	地点 2	35° 32' 32.06"	139° 45' 40.33"	現地測定、採水
3	地点 3	35° 32' 21.15"	139° 46' 03.95"	現地測定、採水

2) 調査方法

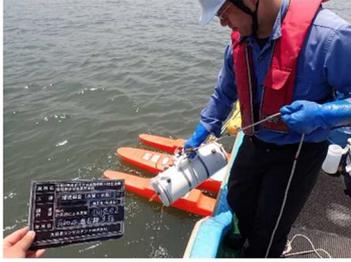
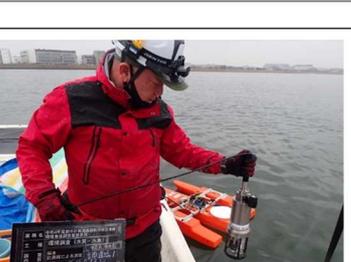
水質は、多項目水質計を用いた現地測定を行うとともに、船上からバンドーン採水器を用いて採水を行い、室内分析を行った。水質調査の調査項目と分析方法は表 1.2 に示すとおりである。なお、採水と水質の現地測定は、表 1.3 に示す各調査地点において行った。

流向・流速は調査船から ADCP によって測定した。

表 1.2 水質調査項目及び分析方法

調 査 項 目		分 析 方 法	定量下限値
一 般 項 目	水温	多項目水質計による	—
	濁度	多項目水質計による	0.1 度
	塩分	多項目水質計による	—
生 活 環 境 項 目	pH(水素イオン濃度)	JIS K 0102 12.1	—
	BOD(生物化学的酸素要求量)	JIS K 0102 21. 32.3(2008)	0.5mg/L
	SS(浮遊物質)	環境庁告示第 59 号付表 9	1mg/L
	COD(化学的酸素要求量)	JIS K 0102 17	0.5mg/L
	DO(溶存酸素量)	JIS K 0102 32.1	0.5mg/L

表 1.3 水質の調査方法一覧

調査方法	現地測定	採水	流向・流速
概要	   <p style="text-align: center;">R4年度春季 (R4. 6. 3)</p>		
	   <p style="text-align: center;">R4年度夏季 (R4. 7. 29)</p>		
	   <p style="text-align: center;">R4年度秋季 (R4. 10. 26)</p>		
	   <p style="text-align: center;">R4年度冬季 (R5. 2. 13)</p>		
	<p>現地測定は、多項目水質計を船上から降ろし、水温、塩分、濁度、及び底層DOを測定した。</p>	<p>採水は、バンドーン採水器を用いて、該当の水深の河川水を採水した。採水した試料は、分析試験を行うため、冷暗所に保管し、現地調査終了後に分析機関に運搬した。</p>	<p>流向・流速は、ADCP（センチネル・モニター）を搭載したリバーボートを各調査地点において曳航し、流向と流速を測定した。</p>
備考	<p>満潮時・干潮時の2回観測を行った。</p>	<p>満潮・干潮時の2回観測を行った。また、各地点の採水位置は表層・中層・下層の3層で行った。</p>	<p>満潮・干潮時の2回測定を行った。</p>

3) 調査結果 (R4 年度春季)

表 1.4 調査実施時刻等 (R4 年度春季)

調査日：令和4年6月3日

項目	調査点1		調査点2		調査点3		
	満潮	干潮	満潮	干潮	満潮	干潮	
採水時刻	-	5:10	11:55	5:30	12:10	5:45	12:23
天候	-	晴	晴	晴	晴	晴	晴
気温	°C	20	25	21	25	21	26
風向	-	北西	南西	北西	南東	北西	南
風速	m/s	1.67	2.89	2.18	2.54	2.18	2.89
波向	-	東	西	東	西	東	西
波高	m	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
水深	m	3.6	3.1	2.5	1.0	1.7	1.1
透明度	m	1.4	1.2	1.4	1.2	1.4	1.1
色相	-	緑褐色	灰色	緑褐色	灰色	緑褐色	灰色



日付	令和4年6月3日			
港名	川崎			
潮時	満潮		干潮	
	5:54	20:02	0:44	13:06
潮位 (cm)	173	166	111	22

○ 調査時間帯

図 1.1 調査当日の潮位 (気象庁データを基に作成)

表 1.5 水質調査結果 (R4 年度春季)

調査地点	項目	単位	調査時期		河川の環境基準 (B類型)	海域の環境基準 (C類型)	底層溶存酸素量に 係る水質環境基準 (生物3類)
			春季(R3.5.20)				
			満潮時	干潮時			
地点1	水温	°C	19.1~22.6	21.8~24.6	—	—	—
	塩分	—	11.4~30.9	8.1~26.4	—	—	—
	pH	—	7.5~8.0	7.4~7.9	6.5以上8.5以下	—	—
	DO	mg/l	7.4~8.1	7.5~7.9	5mg/l以上	—	—
	底層DO	mg/l	7.7	7.5	—	—	2.0mg/L以上
	COD	mg/l	3.6~4.1	3.9~4.9	—	8mg/l以下	—
	BOD	mg/l	0.9~1.2	0.6~2.2	3mg/l以下	—	—
	SS	mg/l	4.0~10.0	5.0~21.0	25mg/l以下	—	—
地点2	濁度	FTU	2.6~5.5	3.1~9.5	—	—	—
	流速	m/s	9.1~24.0	5.4~29.3	—	—	—
	水温	°C	19.6~23.2	23.4~24.8	—	—	—
	塩分	—	11.1~30.6	10.6~21.2	—	—	—
	pH	—	7.5~8.0	7.5~8.0	6.5以上8.5以下	—	—
	DO	mg/l	7.4~8.1	7.5~7.8	5mg/l以上	—	—
	底層DO	mg/l	7.6	7.5	—	—	2.0mg/L以上
	COD	mg/l	3.6~3.8	4.2~4.9	—	8mg/l以下	—
地点3	BOD	mg/l	0.8~0.9	0.8~3.0	3mg/l以下	—	—
	SS	mg/l	3.0~5.0	6.0~14.0	25mg/l以下	—	—
	濁度	FTU	1.8~6.5	3.1~10.2	—	—	—
	流速	m/s	4.5~11.8	9.4~36.6	—	—	—
	水温	°C	22.5~23.3	23.8~25.0	—	—	—
	塩分	—	11.8~27.6	11.9~18.8	—	—	—
	pH	—	7.6~8.1	7.7~7.9	6.5以上8.5以下	—	—
	DO	mg/l	7.3~8.1	7.6~7.7	5mg/l以上	—	—
地点3	底層DO	mg/l	7.3	7.6	—	—	2.0mg/L以上
	COD	mg/l	4.1~4.7	3.7~4.0	—	8mg/l以下	—
	BOD	mg/l	0.7~1.2	0.6~0.9	3mg/l以下	—	—
	SS	mg/l	3.0~4.0	5.0~6.0	25mg/l以下	—	—
	濁度	FTU	2.3~2.9	3.2~11.7	—	—	—
	流速	m/s	6.0~14.8	2.3~26.9	—	—	—

注 1) 当該調査地は多摩川河口域 (0.0kp~2.0kp) であり、河川の環境基準のうち“サケ科魚類・アユ等貧腐水性水域の水産生物が漁獲できる程度”の水域として B 類型に指定されており、それぞれの基準値を記載している。

注 2) 当該調査地は多摩川河口域 (0.0kp~2.0kp) であり、河川と海域の遷移域に位置するため、底層の溶存酸素量及び COD については下流側海域の環境基準を援用し、それぞれ指定されている生物 3 類型及び C 類型の基準値を記載している。

計量方法

- COD_M(化学的酸素要求量) …………… 河川水質試験方法(案)2008年版Ⅱ.10.3(酸性法)
- BOD(生物化学的酸素要求量) …………… 河川水質試験方法(案)2008年版Ⅱ.9.3(隔膜電極法)
- SS(浮遊物質) …………… 河川水質試験方法(案)2008年版Ⅱ.11.1.3(GFP法)

表 1.6 (1) 水温の調査結果 (R4 年度春季)

R4年度春季 (R4. 6. 3) (単位:°C)

水深 (m)	満潮時			干潮時		
	調査点1	調査点2	調査点3	調査点1	調査点2	調査点3
0.0	22.4	22.5	22.5	24.6	24.8	25.0
0.5	22.6	22.8	22.9	24.3	24.3	24.9
1.0	22.2	23.2	23.3	24.0	23.4	23.8
1.5	22.5	22.4	23.3	23.8		
2.0	22.2	21.6		23.0		
2.5	21.8	19.6		22.4		
3.0	19.9			21.8		
3.5	19.1					
4.0						

表 1.6 (2) 塩分の調査結果 (R4 年度春季)

R4年度春季 (R4. 6. 3) (単位:-)

水深 (m)	満潮時			干潮時		
	調査点1	調査点2	調査点3	調査点1	調査点2	調査点3
0.0	11.4	11.1	11.8	8.1	10.6	11.9
0.5	16.8	12.2	17.5	9.5	14.6	13.6
1.0	24.1	24.2	27.4	12.1	21.2	18.8
1.5	26.1	27.1	27.6	14.8		
2.0	27.1	28.3		21.2		
2.5	27.7	30.6		24.2		
3.0	30.0			26.4		
3.5	30.9					
4.0						

表 1.6 (3) 水素イオン濃度 (pH) の調査結果 (R4 年度春季)

R4年度春季 (R4. 6. 3) (単位:pH)

水深 (m)	満潮時			干潮時		
	調査点1	調査点2	調査点3	調査点1	調査点2	調査点3
0.0	7.5	7.6	7.6	7.4	7.6	7.7
0.5	7.5	7.5	7.6	7.4	7.5	7.7
1.0	7.6	7.7	7.9	7.5	8.0	7.9
1.5	7.9	7.9	8.1	7.6		
2.0	8.0	8.0		7.8		
2.5	8.0	7.8		7.8		
3.0	7.9			7.9		
3.5	7.8					
4.0						

表 1.6 (4) 溶存酸素量(DO)及び底層DOの調査結果(R4年度春季)

R4年度春季(R4.6.3)(単位:mg/l)

水深 (m)	満潮時			干潮時		
	調査点1	調査点2	調査点3	調査点1	調査点2	調査点3
0.0	8.1	8.1	8.1	7.9	7.8	7.7
0.5	7.8	8.0	7.8	7.9	7.7	7.6
1.0	7.6	7.4	7.3	7.8	7.5	7.6
1.5	7.4	7.4	7.3	7.7		7.6
2.0	7.4	7.4	7.3	7.6		
2.5	7.5	7.6		7.5		
3.0	7.6			7.5		
3.5	7.7					
4.0						
底層DO	7.7	7.6	7.3	7.5	7.5	7.6

注)底層DOは河底から20cmの位置で測定した結果を示す。

表 1.6 (5) BOD、DOD及びSSの調査結果(R4年度春季)

R4年度春季(R4.6.3)(単位:mg/l)

		COD _{Mn}		BOD		SS	
		満潮時	干潮時	満潮時	干潮時	満潮時	干潮時
No.1	表層	4.1	3.9	1.0	0.6	4	5
	中層	3.9	4.4	1.2	1.3	6	7
	下層	3.6	4.9	0.9	2.2	10	21
No.2	表層	3.7	4.6	0.8	0.8	4	6
	中層	3.8	4.2	0.8	1.0	3	7
	下層	3.6	4.9	0.9	3.0	5	14
No.3	表層	4.3	3.9	0.7	0.6	3	5
	中層	4.1	3.7	1.2	0.7	4	6
	下層	4.7	4.0	1.2	0.9	4	6
定量下限値		0.5	0.5	0.5	0.5	1	1

注)計量方法

COD_{Mn}(化学的酸素要求量):河川水質試験方法(案)2008年版Ⅱ.10.3(酸性法)

BOD(生物化学的酸素要求量):河川水質試験方法(案)2008年版Ⅱ.9.3(隔膜電極法)

SS(浮遊物質):河川水質試験方法(案)2008年版Ⅱ.11.1.3(GFP法)

表 1.6 (6) 濁度の調査結果(R4年度春季)

R4年度春季(R4.6.3)(単位:FTU)

水深 (m)	満潮時			干潮時		
	調査点1	調査点2	調査点3	調査点1	調査点2	調査点3
0.0	2.9	2.6	2.6	3.1	3.1	3.2
0.5	2.6	2.8	2.6	3.4	8.0	5.2
1.0	3.3	1.8	2.3	3.8	10.2	11.7
1.5	3.6	3.9	2.9	4.6		
2.0	3.9	4.5		5.2		
2.5	3.8	6.5		7.0		
3.0	3.5			9.5		
3.5	5.5					
4.0						

表 1.7(1) 流向・流速の調査結果(R4 年度春季・満潮時)

水深 (m)	調査点1		調査点2		調査点3	
	流向 (°)	流速 (cm/s)	流向 (°)	流速 (cm/s)	流向 (°)	流速 (cm/s)
0.5	133.7	12.3	111.8	11.8	132.0	14.8
1.0	141.5	9.1	300.1	5.1	162.7	6.0
1.5	266.5	9.2	259.2	4.5	192.2	6.2
2.0	259.3	19.0	265.3	8.8		
2.5	264.4	24.0				
3.0	263.7	20.2				
3.5	264.3	21.1				
4.0						

表 1.7(2) 流向・流速の調査結果(R4 年度春季・干潮時)

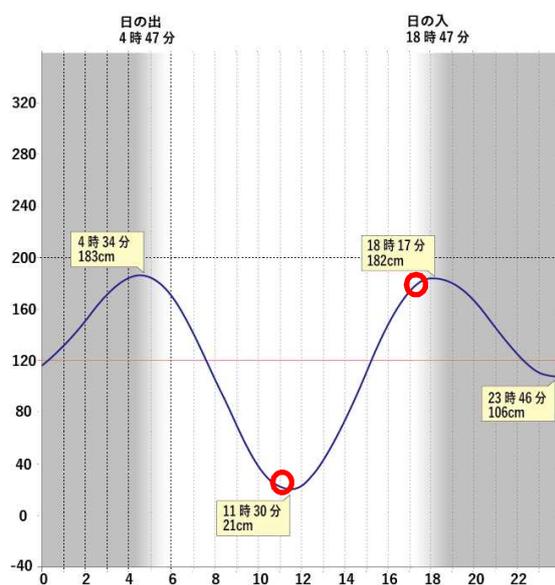
水深 (m)	調査点1		調査点2		調査点3	
	流向 (°)	流速 (cm/s)	流向 (°)	流速 (cm/s)	流向 (°)	流速 (cm/s)
0.5	75.3	29.3	102.6	36.6	120.1	26.9
1.0	84.4	21.9	114.3	9.4	91.7	2.3
1.5	100.7	20.6				
2.0	86.1	14.3				
2.5	73.2	6.8				
3.0	134.0	5.4				
3.5						
4.0						

4) 調査結果 (R4 年度夏季)

表 1.8 調査実施時刻等 (R4 年度夏季)

調査日：令和4年7月29日

項目		調査点1		調査点2		調査点3	
		満潮	干潮	満潮	干潮	満潮	干潮
採水時刻	-	17:34	10:35	17:56	11:01	18:11	11:16
天候	-	晴	晴	晴	晴	晴	晴
気温	°C	32	30	30	30	29	30
風向	-	南	南	南西	南西	南	南
風速	m/s	4.60	4.30	4.10	5.00	4.60	5.70
波向	-	南	南	南西	南西	南	南
波高	m	0.2	0.1	0.2	0.1	0.2	0.1
水深	m	5.0	3.5	2.4	1.0	3.0	1.1
透明度	m	0.5	1.2	0.5	1.0	0.5	1.1
色相	-	赤茶色	茶色	赤茶色	茶色	赤茶色	茶色



日付	令和4年7月29日			
港名	川崎			
潮時	満潮		干潮	
	4:34	18:17	11:20	23:46
潮位 (cm)	183	182	21	106

○ 調査時間帯

図 1.2 調査当日の潮位 (気象庁データを基に作成)

表 1.9 水質調査結果 (R4 年度夏季)

調査地点	項目	単位	調査時期		河川の環境基準 (B類型)	海域の環境基準 (C類型)	底層溶存酸素量に 係る水質環境基準 (生物3類)
			夏季(R3.8.3)				
			満潮時	干潮時			
地点1	水温	°C	28.0~29.6	27.9~29.5	—	—	—
	塩分	—	21.4~25.7	10.0~24.2	—	—	—
	pH	—	8.5~8.6	8.0~8.1	6.5以上8.5以下	—	—
	DO	mg/l	9.0~11.7	5.0~7.1	5mg/l以上	—	—
	底層DO	mg/l	9.4	5.7	—	—	2.0mg/L以上
	COD	mg/l	6.3~6.7	5.0~5.4	—	8mg/l以下	—
	BOD	mg/l	2.8~3.5	0.8~1.0	3mg/l以下	—	—
	SS	mg/l	15.0~17.0	7.0~9.0	25mg/l以下	—	—
	濁度	FTU	5.3~13.0	2.8~10.8	—	—	—
地点2	流速	m/s	2.8~14.0	21.4~31.7	—	—	—
	水温	°C	28.2~29.2	29.4~30.0	—	—	—
	塩分	—	24.3~25.9	11.7~15.6	—	—	—
	pH	—	8.5~8.6	8.1~8.3	6.5以上8.5以下	—	—
	DO	mg/l	10.1~11.5	8.0~8.2	5mg/l以上	—	—
	底層DO	mg/l	9.9	8.2	—	—	2.0mg/L以上
	COD	mg/l	6.1~6.6	5.4~5.5	—	8mg/l以下	—
	BOD	mg/l	3.7~4.1	1.5	3mg/l以下	—	—
	SS	mg/l	14.0~16.0	11.0~12.0	25mg/l以下	—	—
地点3	濁度	FTU	5.1~6.6	4.5~14.2	—	—	—
	流速	m/s	1.4~10.0	7.8~7.8	—	—	—
	水温	°C	27.8~28.7	29.8~30.7	—	—	—
	塩分	—	25.1~26.4	13.1~15.6	—	—	—
	pH	—	8.5~8.6	8.1~8.2	6.5以上8.5以下	—	—
	DO	mg/l	9.3~11.1	8.4~8.9	5mg/l以上	—	—
	底層DO	mg/l	9.4	8.7	—	—	2.0mg/L以上
	COD	mg/l	6.1~6.7	5.3~5.5	—	8mg/l以下	—
	BOD	mg/l	3.4~4.0	0.7~1.5	3mg/l以下	—	—
地点3	SS	mg/l	12.0~15.0	9.0	25mg/l以下	—	—
	濁度	FTU	4.3~14.8	3.8~11.3	—	—	—
	流速	m/s	1.0~5.6	10.6~10.6	—	—	—

注 1) 当該調査地は多摩川河口域 (0.0kp~2.0kp) であり、河川の環境基準のうち“サケ科魚類・アユ等貧腐水性水域の水産生物が漁獲できる程度”の水域として B 類型に指定されており、それぞれの基準値を記載している。

注 2) 当該調査地は多摩川河口域 (0.0kp~2.0kp) であり、河川と海域の遷移域に位置するため、底層の溶存酸素量及び COD については下流側海域の環境基準を援用し、それぞれ指定されている生物 3 類型及び C 類型の基準値を記載している。

計量方法

COD _m (化学的酸素要求量)	河川水質試験方法(案)2008年版II.10.3(酸性法)
BOD(生物化学的酸素要求量)	河川水質試験方法(案)2008年版II.9.3(隔膜電極法)
SS(浮遊物質)	河川水質試験方法(案)2008年版II.11.1.3(GFP法)

表 1.10 (1) 水温の調査結果(R4 年度夏季)

R4年度夏季(R4. 7. 29) (単位:°C)

水深 (m)	満潮時			干潮時		
	調査点1	調査点2	調査点3	調査点1	調査点2	調査点3
0.0	29.6	29.2	28.7	29.5	30.0	29.9
0.5	29.5	29.2	28.7	29.4	30.0	29.8
1.0	29.3	29.0	28.5	29.2	29.4	30.7
1.5	29.3	28.6	28.0	29.1		
2.0	28.9	28.2	27.9	29.0		
2.5	28.7		27.8	28.4		
3.0	28.4		27.8	28.3		
3.5	28.2			27.9		
4.0	28.1					
4.5	28.1					
5.0	28.0					

表 1.10 (2) 塩分の調査結果(R4 年度夏季)

R4年度春季(R4. 7. 29) (単位:-)

水深 (m)	満潮時			干潮時		
	調査点1	調査点2	調査点3	調査点1	調査点2	調査点3
0.0	21.4	24.3	25.1	10.0	11.7	13.1
0.5	22.0	24.3	25.1	10.9	12.4	14.0
1.0	23.6	24.8	25.5	13.3	15.6	15.6
1.5	23.8	25.4	26.1	14.3		
2.0	24.3	25.9	26.3	15.5		
2.5	24.7		26.4	20.9		
3.0	25.2		26.3	22.4		
3.5	25.5			24.2		
4.0	25.7					
4.5	25.7					
5.0	25.7					

表 1.10 (3) 水素イオン濃度(pH)の調査結果(R4 年度夏季)

R4年度春季(R4. 7. 29) (単位:pH)

水深 (m)	満潮時			干潮時		
	調査点1	調査点2	調査点3	調査点1	調査点2	調査点3
0.0	8.6	8.6	8.6	8.0	8.1	8.1
0.5	8.6	8.6	8.6	8.0	8.2	8.2
1.0	8.6	8.6	8.6	8.0	8.3	8.2
1.5	8.6	8.5	8.5	8.0		
2.0	8.5	8.5	8.5	8.1		
2.5	8.5		8.5	8.1		
3.0	8.5		8.5	8.1		
3.5	8.5			8.1		
4.0	8.5					
4.5	8.5					
5.0	8.5					

表 1.10 (4) 溶存酸素量(DO)及び底層DOの調査結果(R4年度夏季)

R4年度夏季(R4.7.29)(単位:mg/l)

水深 (m)	満潮時			干潮時		
	調査点1	調査点2	調査点3	調査点1	調査点2	調査点3
0.0	11.3	11.5	10.9	6.7	8.0	8.5
0.5	10.9	11.5	11.0	6.9	8.0	8.9
1.0	10.9	11.0	11.1	7.1	8.2	8.4
1.5	11.7	10.6	10.1	7.0		
2.0	10.0	10.1	9.7	7.0		
2.5	9.9		9.4	6.2		
3.0	9.9		9.3	5.5		
3.5	9.7			5.0		
4.0	9.5					
4.5	9.5					
5.0	9.0					
底層DO	9.4	9.9	9.4	5.7	8.2	8.7

注)底層 DO は河底から 20cm の位置で測定した結果を示す。

表 1.10 (5) BOD、DOD及びSSの調査結果(R4年度夏季)

R4年度夏季(R4.7.29)(単位:mg/l)

		COD _{Mn}		BOD		SS	
		満潮時	干潮時	満潮時	干潮時	満潮時	干潮時
No.1	表層	6.7	5.3	3.5	1.0	16	7
	中層	6.3	5.4	3.5	0.8	15	8
	下層	6.6	5.0	2.8	1.0	17	9
No.2	表層	6.1	5.5	3.7	1.5	14	11
	中層	6.5	5.5	4.0	1.5	16	11
	下層	6.6	5.4	4.1	1.5	14	12
No.3	表層	6.1	5.5	3.8	1.5	12	9
	中層	6.7	5.5	4.0	0.7	15	9
	下層	6.4	5.3	3.4	0.9	14	9
定量下限値		0.5	0.5	0.5	0.5	1	1

注)計量方法

COD_{Mn}(化学的酸素要求量):河川水質試験方法(案)2008年版Ⅱ.10.3(酸性法)

BOD(生物化学的酸素要求量):河川水質試験方法(案)2008年版Ⅱ.9.3(隔膜電極法)

SS(浮遊物質量):河川水質試験方法(案)2008年版Ⅱ.11.1.3(GFP法)

表 1.10 (6) 濁度の調査結果(R4年度夏季)

R4年度夏季(R4.7.29)(単位:FTU)

水深 (m)	満潮時			干潮時		
	調査点1	調査点2	調査点3	調査点1	調査点2	調査点3
0.0	6.4	5.1	4.5	2.8	4.5	3.8
0.5	6.8	5.3	4.8	3.0	5.9	5.2
1.0	5.8	6.2	4.3	3.9	14.2	11.3
1.5	5.3	5.5	5.5	3.9		
2.0	5.8	6.6	6.6	4.7		
2.5	6.0		8.7	5.1		
3.0	7.8		14.8	6.0		
3.5	6.5			10.8		
4.0	8.4					
4.5	9.2					
5.0	13.0					

表 1.11 (1) 流向・流速の調査結果 (R4 年度夏季・満潮時)

【満潮時】 R4年度夏季 (R4. 7. 29)

水深 (m)	調査点1		調査点2		調査点3	
	流向 (°)	流速 (cm/s)	流向 (°)	流速 (cm/s)	流向 (°)	流速 (cm/s)
0.5	9.8	2.8	120.5	4.2	152.8	1.7
1.0	65.0	10.4	86.5	6.3	63.6	1.6
1.5	76.3	13.2	54.3	10.0	55.3	4.9
2.0	91.6	14.0	71.2	1.4	9.0	4.3
2.5	91.8	11.6			18.2	5.6
3.0	94.3	10.3			124.8	1.0
3.5	91.8	9.4				
4.0	78.0	7.2				
4.5	80.9	8.1				
5.0						

表 1.11 (2) 流向・流速の調査結果 (R4 年度夏季・干潮時)

【干潮時】 R4年度夏季 (R4. 7. 29)

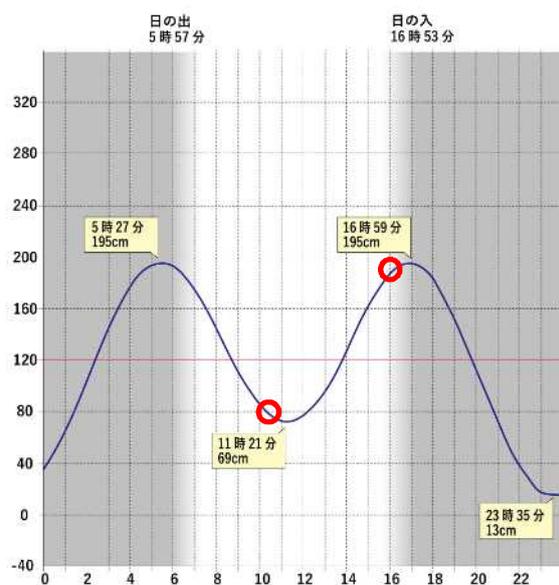
水深 (m)	調査点1		調査点2		調査点3	
	流向 (°)	流速 (cm/s)	流向 (°)	流速 (cm/s)	流向 (°)	流速 (cm/s)
0.5	71.3	31.7	93.8	7.8	116.4	10.6
1.0	84.1	23.8				
1.5	88.1	21.4				
2.0	94.9	22.4				
2.5	88.2	26.9				
3.0	91.7	28.4				
3.5						
4.0						
4.5						
5.0						

5) 調査結果 (R4 年度秋季)

表 1.12 調査実施時刻等 (R4 年度秋季)

調査日：令和4年10月26日

項目		調査点1		調査点2		調査点3	
		満潮	干潮	満潮	干潮	満潮	干潮
採水時刻	-	15:32	10:33	15:49	10:49	16:03	11:03
天候	-	晴	晴	晴	晴	晴	晴
気温	°C	18	18	17	18	17	18
風向	-	北	北北西	北	北	北	北
風速	m/s	2.50	4.70	3.00	5.70	3.20	2.00
波向	-	北	北北西	北	北	北	北
波高	m	0.1	0.2	0.1	0.2	0.1	0.2
水深	m	4.5	3.4	2.1	1.1	2.6	1.4
透明度	m	1.7	2.0	2.1	1.1	2.6	1.4
色相	-	灰黄緑色	灰黄緑色	灰黄緑色	灰黄緑色	灰黄緑色	灰黄緑色



日付	令和4年10月26日			
港名	川崎			
潮時	満潮		干潮	
	5:27	16:59	11:21	23:35
潮位 (cm)	198	195	69	13

○ 調査時間帯

図 1.3 調査当日の潮位 (気象庁データを基に作成)

表 1.13 水質調査結果 (R4 年度秋季)

調査地点	項目	単位	調査時期		河川的环境基準 (B類型)	海域的环境基準 (C類型)	底層溶存酸素量に 係る水質環境基準 (生物3類)
			秋季(R3.10.12)				
			満潮時	干潮時			
地点1	水温	°C	18.9~19.4	17.6~18.9	—	—	—
	塩分	—	18.0~28.5	13.0~28.8	—	—	—
	pH	—	7.6~7.9	7.6~7.8	6.5以上8.5以下	—	—
	DO	mg/l	6.0~6.6	6.0~6.7	5mg/l以上	—	—
	底層DO	mg/l	6.0	5.9	—	—	2.0mg/L以上
	COD	mg/l	3.3~4.5	3.0~3.5	—	8mg/l以下	—
	BOD	mg/l	1.5~1.6	1.4~1.7	3mg/l以下	—	—
	SS	mg/l	3.0~15.0	4.0~5.0	25mg/l以下	—	—
	濁度	FTU	2.2~7.7	2.3~3.6	—	—	—
地点2	流速	m/s	7.7~26.1	3.0~23.3	—	—	—
	水温	°C	18.3~20	17.6~17.6	—	—	—
	塩分	—	20.5~28.2	12.6~13.2	—	—	—
	pH	—	7.8~7.9	7.7~7.7	6.5以上8.5以下	—	—
	DO	mg/l	5.5~7.2	7.1~7.2	5mg/l以上	—	—
	底層DO	mg/l	5.5	7.1	—	—	2.0mg/L以上
	COD	mg/l	2.9~3.1	3.5~3.9	—	8mg/l以下	—
	BOD	mg/l	1.3~1.5	1.0~1.4	3mg/l以下	—	—
	SS	mg/l	3.0~5.0	4.0~5.0	25mg/l以下	—	—
地点3	濁度	FTU	2.1~4.0	2.2~3.4	—	—	—
	流速	m/s	3.6~17.3	7.1~7.1	—	—	—
	水温	°C	18.5~20.8	17.4~17.8	—	—	—
	塩分	—	23.7~30.0	12.1~14.4	—	—	—
	pH	—	7.9~7.9	7.7~7.8	6.5以上8.5以下	—	—
	DO	mg/l	5.0~7.1	7.1~7.3	5mg/l以上	—	—
	底層DO	mg/l	5.0	7.3	—	—	2.0mg/L以上
	COD	mg/l	2.9~3.9	3.2~3.7	—	8mg/l以下	—
	BOD	mg/l	1.8	0.7~1.2	3mg/l以下	—	—
	SS	mg/l	3.0~4.0	3.0~4.0	25mg/l以下	—	—
	濁度	FTU	1.6~2.6	2.1~2.5	—	—	—
	流速	m/s	8.4~15.9	15.7~16.5	—	—	—

注 1) 当該調査地は多摩川河口域 (0.0kp~2.0kp) であり、河川的环境基準のうち“サケ科魚類・アユ等貧腐水性水域の水産生物が漁獲できる程度”の水域として B 類型に指定されており、それぞれの基準値を記載している。

注 2) 当該調査地は多摩川河口域 (0.0kp~2.0kp) であり、河川と海域の遷移域に位置するため、底層の溶存酸素量及び COD については下流側海域の環境基準を援用し、それぞれ指定されている生物 3 類型及び C 類型の基準値を記載している。

計量方法

COD _m (化学的酸素要求量)	河川水質試験方法(案)2008年版II.10.3(酸性法)
BOD(生物化学的酸素要求量)	河川水質試験方法(案)2008年版II.9.3(隔膜電極法)
SS(浮遊物質)	河川水質試験方法(案)2008年版II.11.1.3(GFP法)

表 1.14 (1) 水温の調査結果 (R4 年度秋季)

R4年度秋季 (R4. 10. 26) (単位:°C)

水深 (m)	満潮時			干潮時		
	調査点1	調査点2	調査点3	調査点1	調査点2	調査点3
0.0	19.4	18.3	18.5	17.6	17.6	17.4
0.5	19.4	18.4	18.8	17.7	17.6	17.5
1.0	19.3	20.0	20.6	18.1	17.6	17.8
1.5	19.0	20.0	20.8	18.4		
2.0	18.9	20.0	20.8	18.6		
2.5	18.9		20.8	18.6		
3.0	19.0			18.9		
3.5	19.1					
4.0	19.1					
4.5	19.1					
5.0						

表 1.14 (2) 塩分の調査結果 (R4 年度秋季)

R4年度秋季 (R4. 10. 26) (単位:-)

水深 (m)	満潮時			干潮時		
	調査点1	調査点2	調査点3	調査点1	調査点2	調査点3
0.0	18.0	20.5	23.7	13.0	12.6	12.1
0.5	18.8	20.6	24.2	13.4	12.6	12.2
1.0	19.7	27.7	29.2	17.6	13.2	14.4
1.5	21.6	28.1	29.8	19.6		
2.0	26.0	28.2	29.9	24.8		
2.5	27.4		30.0	26.9		
3.0	28.0			28.8		
3.5	28.4					
4.0	28.5					
4.5	28.5					
5.0						

表 1.14 (3) 水素イオン濃度 (pH) の調査結果 (R4 年度秋季)

R4年度秋季 (R4. 10. 26) (単位:pH)

水深 (m)	満潮時			干潮時		
	調査点1	調査点2	調査点3	調査点1	調査点2	調査点3
0.0	7.7	7.8	7.9	7.8	7.7	7.8
0.5	7.7	7.9	7.9	7.7	7.7	7.8
1.0	7.6	7.8	7.9	7.6	7.7	7.7
1.5	7.6	7.8	7.9	7.6		
2.0	7.6	7.8	7.9	7.6		
2.5	7.7		7.9	7.7		
3.0	7.8			7.8		
3.5	7.9					
4.0	7.9					
4.5	7.9					
5.0						

表 1.14 (4) 溶存酸素量(DO)及び底層DOの調査結果(R4 年度秋季)

R4年度秋季(R4.10.26)(単位:mg/l)

水深 (m)	満潮時			干潮時		
	調査点1	調査点2	調査点3	調査点1	調査点2	調査点3
0.0	6.6	7.2	7.1	6.7	7.2	7.3
0.5	6.6	7.1	6.9	6.6	7.2	7.3
1.0	6.5	5.6	5.9	6.3	7.1	7.1
1.5	6.6	5.6	5.2	6.2		
2.0	6.4	5.5	5.1	6.1		
2.5	6.2		5.0	6.2		
3.0	6.1			6.0		
3.5	6.0					
4.0	6.0					
4.5	6.0					
5.0						
底層DO	6.0	5.5	5.0	5.9	7.1	6.5

注)底層DOは河底から20cmの位置で測定した結果を示す。

表 1.14 (5) BOD、DOD及びSSの調査結果(R4 年度秋季)

R4年度秋季(R4.10.26)(単位:mg/l)

		COD _{Mn}		BOD		SS	
		満潮時	干潮時	満潮時	干潮時	満潮時	干潮時
No.1	表層	4.5	3.5	1.6	1.4	3	4
	中層	3.3	3.0	1.6	1.6	5	5
	下層	3.6	3.0	1.5	1.7	15	5
No.2	表層	3.1	3.5	1.4	1.4	3	4
	中層	3.0	3.9	1.5	1.0	3	4
	下層	2.9	3.7	1.3	1.0	5	5
No.3	表層	3.0	3.7	1.8	0.9	4	4
	中層	2.9	3.2	1.8	0.7	3	3
	下層	3.9	3.5	1.8	1.2	3	4
定量下限値		0.5	0.5	0.5	0.5	1	1

注)計量方法

COD_{Mn}(化学的酸素要求量):河川水質試験方法(案)2008年版Ⅱ.10.3(酸性法)

BOD(生物化学的酸素要求量):河川水質試験方法(案)2008年版Ⅱ.9.3(隔膜電極法)

SS(浮遊物質質量):河川水質試験方法(案)2008年版Ⅱ.11.1.3(GFP法)

表 1.14 (6) 濁度の調査結果(R4 年度秋季)

R4年度秋季(R4.10.26)(単位:FTU)

水深 (m)	満潮時			干潮時		
	調査点1	調査点2	調査点3	調査点1	調査点2	調査点3
0.0	2.2	2.1	2.3	2.3	2.2	2.1
0.5	2.3	2.2	2.4	2.3	2.6	2.3
1.0	2.4	2.7	1.6	2.4	3.4	2.5
1.5	2.6	2.9	1.8	3.3		
2.0	3.2	4.0	1.9	3.2		
2.5	3.4		2.6	3.6		
3.0	3.8			3.1		
3.5	5.3					
4.0	5.5					
4.5	7.7					
5.0						

表 1.15(1) 流向・流速の調査結果 (R4 年度秋季・満潮時)

【満潮時】 R4年度秋季 (R4. 10. 26)

水深 (m)	調査点1		調査点2		調査点3	
	流向 (°)	流速 (cm/s)	流向 (°)	流速 (cm/s)	流向 (°)	流速 (cm/s)
0.5	178.5	7.7	119.3	17.3	119.7	15.9
1.0	75.8	10.2	286.2	10.1	154.1	8.4
1.5	94.3	26.1	267.1	8.9	153.0	8.7
2.0	100.6	24.4	263.5	3.6	130.9	9.5
2.5	96.3	24.5				
3.0	269.7	24.0				
3.5	266.4	20.8				
4.0	262.7	19.4				
4.5						
5.0						

表 1.15(2) 流向・流速の調査結果 (R4 年度秋季・干潮時)

【干潮時】 R4年度秋季 (R4. 10. 26)

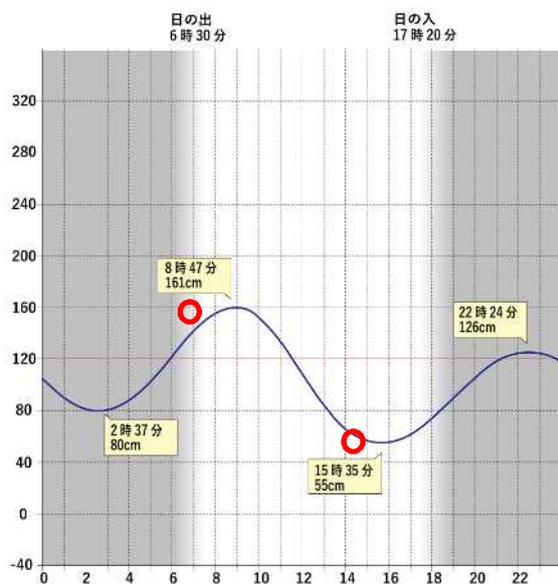
水深 (m)	調査点1		調査点2		調査点3	
	流向 (°)	流速 (cm/s)	流向 (°)	流速 (cm/s)	流向 (°)	流速 (cm/s)
0.5	79.4	23.3	136.3	7.1	100.4	16.5
1.0	70.9	14.0			122.7	15.7
1.5	89.2	7.9				
2.0	77.0	5.1				
2.5	97.9	3.0				
3.0	85.1	4.5				
3.5						
4.0						
4.5						
5.0						

6) 調査結果 (R4 年度冬季)

表 1.16 調査実施時刻等 (R4 年度冬季)

調査日：令和5年2月13日

項目		調査点1		調査点2		調査点3	
		満潮	干潮	満潮	干潮	満潮	干潮
採水時刻	-	8:08	15:04	8:30	15:23	8:45	15:39
天候	-	曇	雨	曇	雨	曇	雨
気温	°C	10	10	10	10	10	10
風向	-	北	北	北	北	北北東	北
風速	m/s	1.30	2.80	1.80	3.60	1.40	3.10
波向	-	北	北	北	北	北	北
波高	m	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
水深	m	4.5	3.3	2.5	1.1	2.5	1.4
透明度	m	1.7	1.6	2.0	1.1	2.2	1.4
色相	-	暗緑色	暗緑色	暗緑色	暗緑色	暗緑色	暗緑色



日付	令和5年2月13日			
港名	川崎			
潮時	満潮		干潮	
	8:47	22:24	2:37	15:35
潮位 (cm)	161	126	80	55

○ 調査時間帯

図 1.4 調査当日の潮位 (気象庁データを基に作成)

表 1.17 水質調査結果 (R4 年度冬季)

調査地点	項目	単位	調査時期		河川の環境基準 (B類型)	海域の環境基準 (C類型)	底層溶存酸素量に 係る水質環境基準 (生物3類)
			冬季(R4.2.14)				
			満潮時	干潮時			
地点1	水温	°C	10.3~11.4	10.6~11.4	—	—	—
	塩分	—	12.1~31.2	16.1~30.8	—	—	—
	pH	—	7.7~8.2	7.8~8.1	6.5以上8.5以下	—	—
	DO	mg/l	8.4~9.2	8.2~9.5	5mg/l以上	—	—
	底層DO	mg/l	8.6	8.2	—	—	2.0mg/L以上
	COD	mg/l	3.2~5.2	4.6~5.3	—	8mg/l以下	—
	BOD	mg/l	0.7~2.7	3.0~3.5	3mg/l以下	—	—
	SS	mg/l	4.0~8.0	4.0~6.0	25mg/l以下	—	—
	濁度	FTU	1.5~2.9	1.7~2.9	—	—	—
地点2	流速	m/s	4.0~13.3	2.5~9.0	—	—	—
	水温	°C	10.7~12.8	11.2~11.4	—	—	—
	塩分	—	11.9~31.3	14~28.9	—	—	—
	pH	—	7.7~8.1	7.7~8.0	6.5以上8.5以下	—	—
	DO	mg/l	8.3~9.3	8.5~9.2	5mg/l以上	—	—
	底層DO	mg/l	8.3	8.6	—	—	2.0mg/L以上
	COD	mg/l	2.9~4.7	4.8~6.0	—	8mg/l以下	—
	BOD	mg/l	1.0~1.3	1.7~2.6	3mg/l以下	—	—
	SS	mg/l	2.0~3.0	3.0~4.0	25mg/l以下	—	—
地点3	濁度	FTU	1.3~2.7	2.4~3.0	—	—	—
	流速	m/s	0.7~7.4	5.7~5.7	—	—	—
	水温	°C	10.5~13.0	11.3~11.5	—	—	—
	塩分	—	8.0~31.5	13.1~27.6	—	—	—
	pH	—	7.6~8.1	7.6~7.7	6.5以上8.5以下	—	—
	DO	mg/l	8.2~9.1	8.5~9.0	5mg/l以上	—	—
	底層DO	mg/l	8.4	8.5	—	—	2.0mg/L以上
	COD	mg/l	2.6~4.6	5.0~5.8	—	8mg/l以下	—
	BOD	mg/l	0.9~1.9	1.0~4.4	3mg/l以下	—	—
	SS	mg/l	3.0	2.0~5.0	25mg/l以下	—	—
	濁度	FTU	1.1~2.6	2.1~3.6	—	—	—
	流速	m/s	0.7~5.7	5.7~6.8	—	—	—

注 1) 当該調査地は多摩川河口域 (0.0kp~2.0kp) であり、河川の環境基準のうち“サケ科魚類・アユ等貧腐水性水域の水産生物が漁獲できる程度”の水域として B 類型に指定されており、それぞれの基準値を記載している。

注 2) 当該調査地は多摩川河口域 (0.0kp~2.0kp) であり、河川と海域の遷移域に位置するため、底層の溶存酸素量及び COD については下流側海域の環境基準を援用し、それぞれ指定されている生物 3 類型及び C 類型の基準値を記載している。

計量方法

- COD_m(化学的酸素要求量) …………… 河川水質試験方法(案)2008年版Ⅱ.10.3(酸性法)
- BOD(生物化学的酸素要求量) …………… 河川水質試験方法(案)2008年版Ⅱ.9.3(隔膜電極法)
- SS(浮遊物質) …………… 河川水質試験方法(案)2008年版Ⅱ.11.1.3(GFP法)

表 1.18 (1) 水温の調査結果(R4 年度冬季)

水深 (m)	満潮時			干潮時		
	調査点1	調査点2	調査点3	調査点1	調査点2	調査点3
0.0	11.4	11.2	11.2	11.4	11.4	11.4
0.5	11.2	12.3	10.9	11.4	11.3	11.5
1.0	10.8	12.6	12.3	11.0	11.2	11.3
1.5	11.1	12.8	13.0	10.8		
2.0	10.5	11.5	11.0	10.8		
2.5	10.6	10.7	10.5	10.7		
3.0	10.6			10.6		
3.5	10.4					
4.0	10.3					
4.5	10.3					
5.0						

表 1.18 (2) 塩分の調査結果(R4 年度冬季)

R4年度冬季(R5.2.13)(単位:-)

水深 (m)	満潮時			干潮時		
	調査点1	調査点2	調査点3	調査点1	調査点2	調査点3
0.0	12.1	11.9	8.0	16.1	14.0	13.1
0.5	25.3	21.9	27.1	21.7	24.6	15.1
1.0	28.9	28.9	29.8	26.4	28.9	27.6
1.5	30.4	31.0	31.3	29.0		
2.0	30.6	31.1	31.4	29.2		
2.5	31.0	31.3	31.5	30.5		
3.0	31.0			30.8		
3.5	31.2					
4.0	31.2					
4.5	31.2					
5.0						

表 1.18 (3) 水素イオン濃度(pH)の調査結果(R4 年度冬季)

R4年度冬季(R5.2.13)(単位:pH)

水深 (m)	満潮時			干潮時		
	調査点1	調査点2	調査点3	調査点1	調査点2	調査点3
0.0	7.7	7.7	7.6	7.8	7.7	7.6
0.5	7.7	7.7	7.7	7.8	7.8	7.6
1.0	8.0	8.0	8.0	7.9	8.0	7.7
1.5	8.1	8.1	8.1	8.0		
2.0	8.1	8.1	8.1	8.1		
2.5	8.1	8.1	8.1	8.1		
3.0	8.2			8.1		
3.5	8.2					
4.0	8.2					
4.5	8.2					
5.0						

表 1.18 (4) 溶存酸素量(DO)及び底層DOの調査結果(R4年度冬季)

R4年度冬季(R5.2.13)(単位:mg/l)

水深 (m)	満潮時			干潮時		
	調査点1	調査点2	調査点3	調査点1	調査点2	調査点3
0.0	9.2	9.3	9.1	9.5	9.2	9.0
0.5	8.6	8.7	8.6	8.9	8.7	9.0
1.0	8.8	8.5	8.6	8.4	8.5	8.5
1.5	8.6	8.3	8.2	8.2		
2.0	8.5	8.3	8.3	8.2		
2.5	8.4	8.4	8.4	8.2		
3.0	8.5			8.2		
3.5	8.6					
4.0	8.6					
4.5	8.6					
5.0						
底層DO	8.6	8.3	8.4	8.2	8.6	8.5

注)底層 DO は河底から 20cm の位置で測定した結果を示す。

表 1.18 (5) BOD、DOD及びSSの調査結果(R4年度冬季)

R4年度冬季(R5.2.13)(単位:mg/l)

		COD _{Mn}		BOD		SS	
		満潮時	干潮時	満潮時	干潮時	満潮時	干潮時
No.1	表層	5.2	4.6	2.7	3.0	5	4
	中層	3.3	5.3	1.3	3.5	4	6
	下層	3.2	5.3	0.7	3.4	8	5
No.2	表層	4.7	4.8	1.3	1.7	3	3
	中層	3.8	6.0	1.0	2.0	2	4
	下層	2.9	5.4	1.1	2.6	3	4
No.3	表層	4.6	5.0	1.9	1.0	3	2
	中層	3.5	5.6	1.1	2.3	3	4
	下層	2.6	5.8	0.9	4.4	3	5
定量下限値		0.5	0.5	0.5	0.5	1	1

注)計量方法

COD_{Mn}(化学的酸素要求量):河川水質試験方法(案)2008年版Ⅱ.10.3(酸性法)

BOD(生物化学的酸素要求量):河川水質試験方法(案)2008年版Ⅱ.9.3(隔膜電極法)

SS(浮遊物質):河川水質試験方法(案)2008年版Ⅱ.11.1.3(GFP法)

エラー! 参照元が見つかりません。(6) 濁度の調査結果(R4年度冬季)

R4年度冬季(R5.2.13)(単位:FTU)

水深 (m)	満潮時			干潮時		
	調査点1	調査点2	調査点3	調査点1	調査点2	調査点3
0.0	2.9	2.7	2.6	2.6	2.4	2.1
0.5	2.5	1.5	1.7	2.8	2.8	2.6
1.0	2.0	1.3	1.2	2.6	3.0	3.6
1.5	1.7	1.4	1.1	2.9		
2.0	1.7	1.5	1.6	2.5		
2.5	1.6	1.7	1.8	2.0		
3.0	1.7			1.7		
3.5	1.5					
4.0	1.5					
4.5	2.2					
5.0						

表 1.19 (1) 流向・流速の調査結果 (R4 年度冬季・満潮時)

【満潮時】 R4年度冬季 (R5. 2. 13)

水深	調査点1					
	流向	流速	流向	流速	流向	流速
(m)	(°)	(cm/s)	(°)	(cm/s)	(°)	(cm/s)
0.5	135.7	4.0	176.5	0.7	119.0	5.7
1.0	89.4	13.3	321.9	7.4	163.7	4.5
1.5	93.8	9.7	260.9	5.2	199.1	0.7
2.0	100.0	7.1	242.2	1.9	119.4	3.0
2.5	108.9	7.9				
3.0	102.6	6.8				
3.5	257.3	7.4				
4.0	249.9	4.4				
4.5						
5.0						

表 1.19 (2) 流向・流速の調査結果 (R4 年度冬季・干潮時)

【干潮時】 R4年度冬季 (R5. 2. 13)

水深	調査点1					
	流向	流速	流向	流速	流向	流速
(m)	(°)	(cm/s)	(°)	(cm/s)	(°)	(cm/s)
0.5	70.3	2.5	148.3	5.7	109.5	6.8
1.0	80.3	9.0			156.7	5.7
1.5	90.7	5.8				
2.0	114.9	8.2				
2.5	91.0	6.7				
3.0						
3.5						
4.0						
4.5						
5.0						

(2) 地形変動(広域調査)

1) 調査方法

地形変動調査は、対象事業実施範囲周辺における干潟の分布状況、地盤高等を把握するため、地形測量を実施した。測量は、既設基準点よりトータルステーション(ソキア社製)を用いて計測を行い、0.0kp~2.0kp間を100m間隔で実施した。

調査員は3名とし、1名が陸地(測量機器操作員)、2名が干潟内(測量ポールを使用し、位置を確認する作業員及び、巻尺による距離確認する補助作業員)で作業を実施した。

また、河道内は深淺測量を実施した。

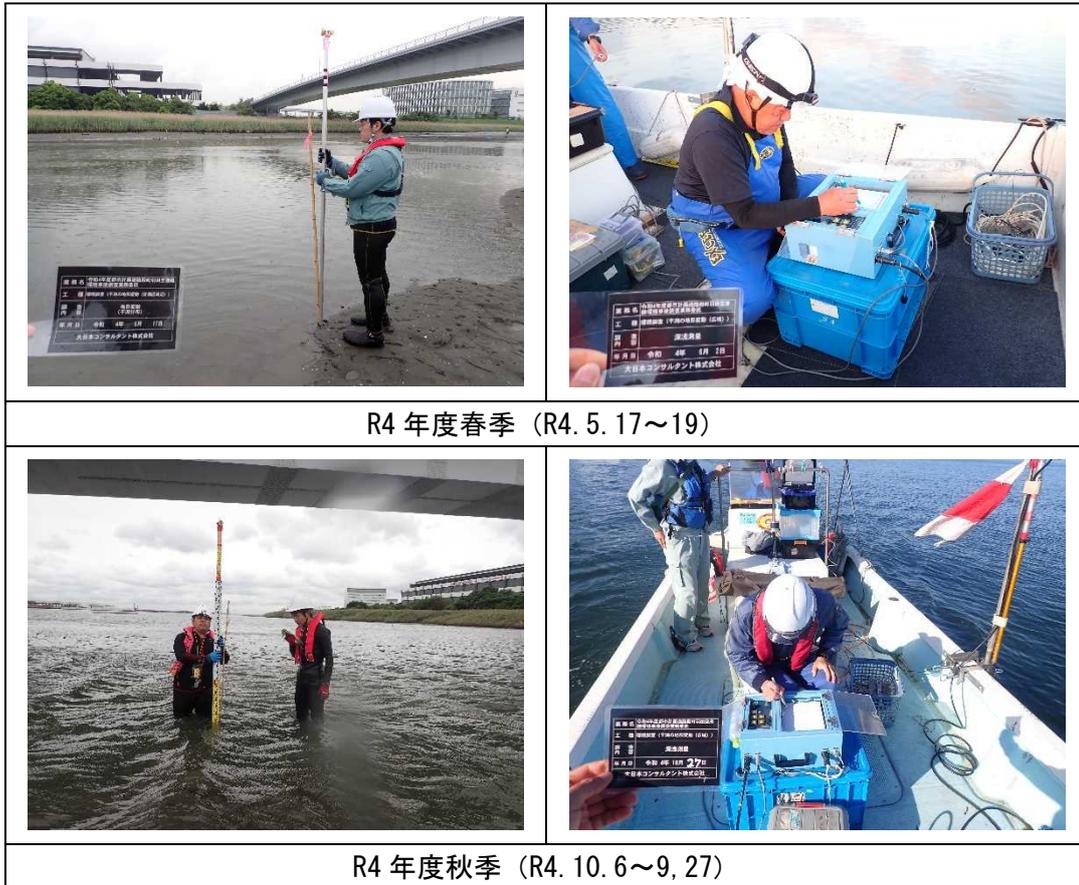


図 2.1 干潟調査の状況

2) 調査結果

調査結果は、次頁以降に示すとおりである。

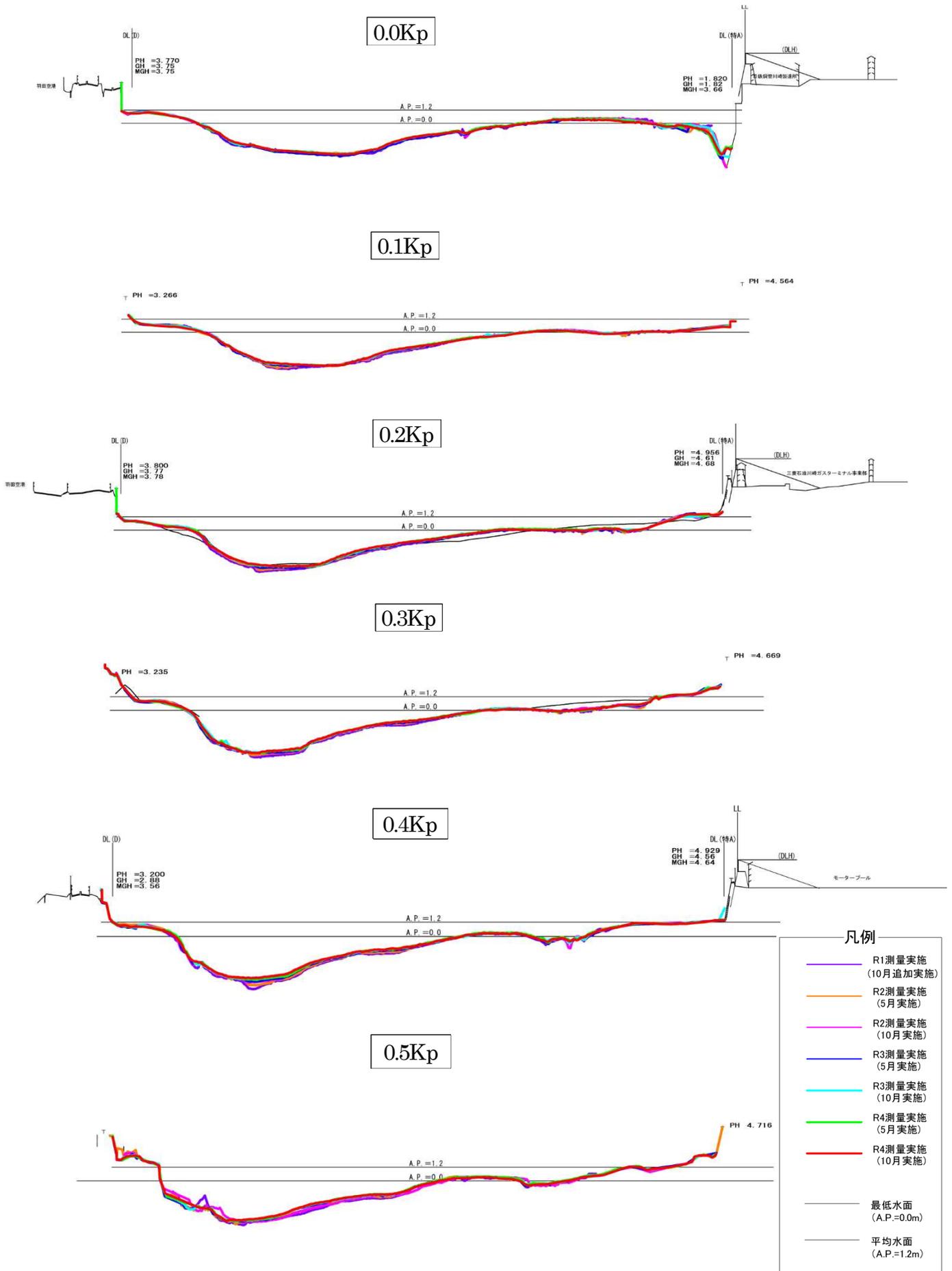


図 2.2(1) 河川横断面図(0.0kp~0.5kp 地点)

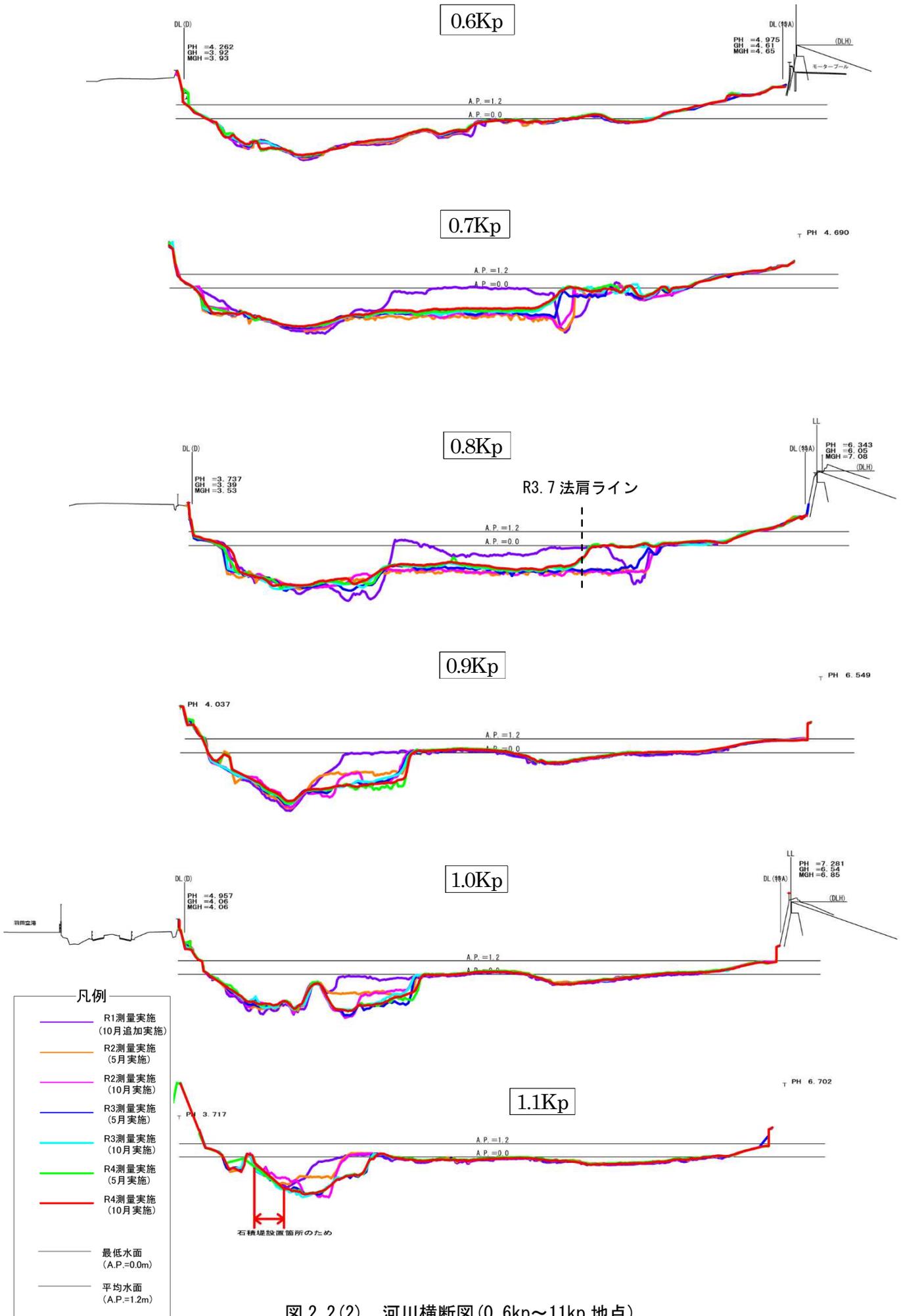
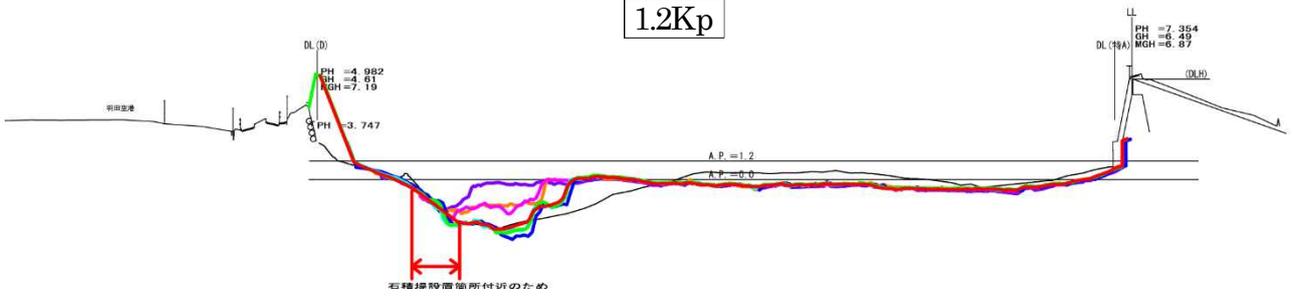
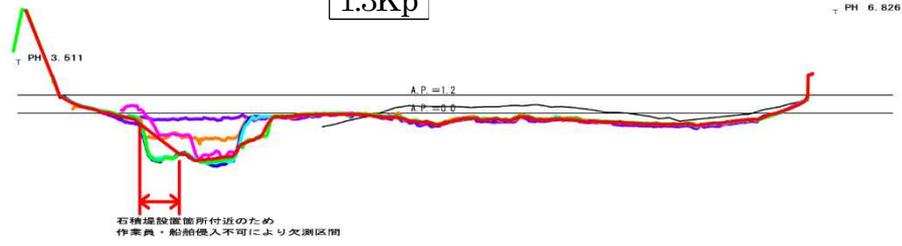


図 2.2(2) 河川横断面図(0.6kp~11kp 地点)

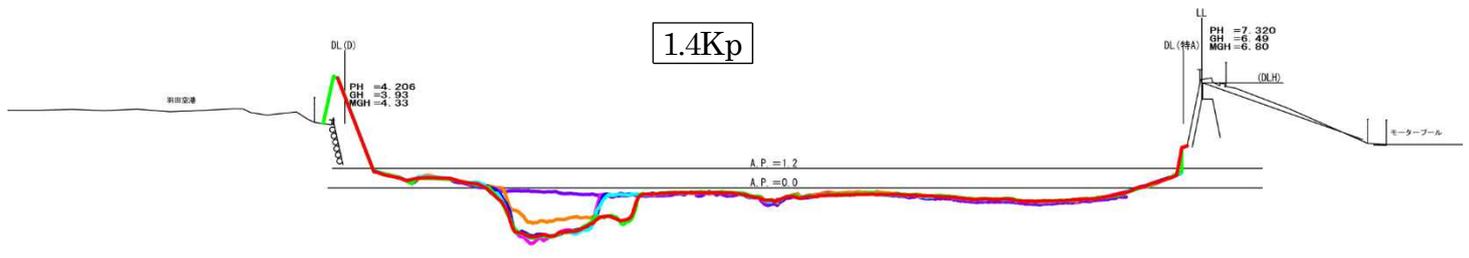
1.2Kp



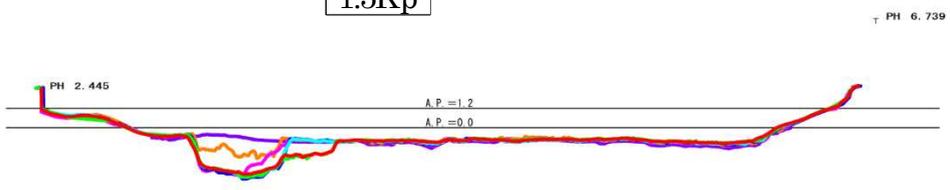
1.3Kp



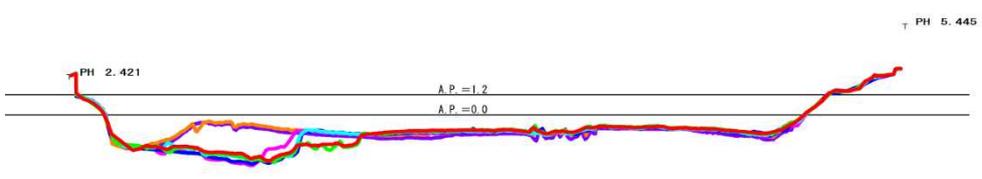
1.4Kp



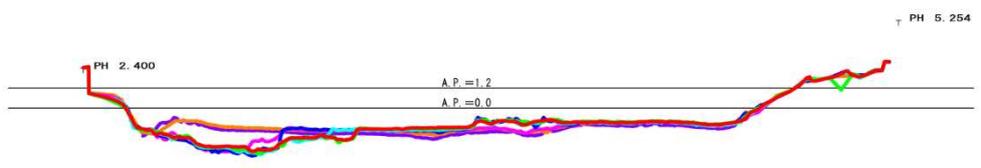
1.5Kp



1.6Kp



1.7Kp



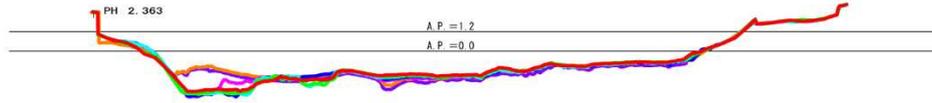
凡例

- R1測量実施 (10月追加実施)
- R2測量実施 (5月実施)
- R2測量実施 (10月実施)
- R3測量実施 (5月実施)
- R3測量実施 (10月実施)
- R4測量実施 (5月実施)
- R4測量実施 (10月実施)
- 最低水面 (A.P.=0.0m)
- 平均水面 (A.P.=1.2m)

(3) 河川横断面図(1.2kp~1.7kp 地点)

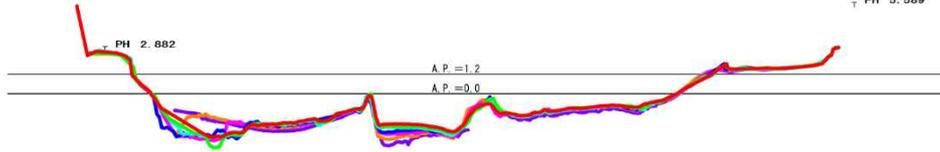
1.8Kp

PH 6.024



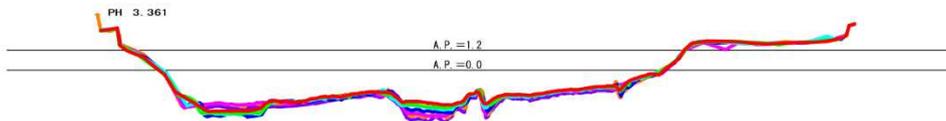
1.9Kp

PH 5.569



2.0Kp

PH 6.621



凡例

- R1測量実施 (10月追加実施)
- R2測量実施 (5月実施)
- R2測量実施 (10月実施)
- R3測量実施 (5月実施)
- R3測量実施 (10月実施)
- R4測量実施 (5月実施)
- R4測量実施 (10月実施)
- 最低水面 (A.P.=0.0m)
- 平均水面 (A.P.=1.2m)

图 2.2(4) 河川横断面图(1.8kp~2.0kp 地点)

(3) 植物調査(広域調査)

1) 調査方法

植物調査は、図 3.1 に示すとおり調査員が調査範囲内を踏査し、目視観察によって計画路線及びその周辺において確認されている重要種(ハマボウ、カワヂシャ、ニガカシュウ、アイアシ、ジョウロウスゲ等)について確認を行い、分布位置と生息状況について記録を行った。

また、ヨシ群落範囲の推移状況確認は、群落範囲を踏査し、GPS によって軌跡を確認し、整理した。

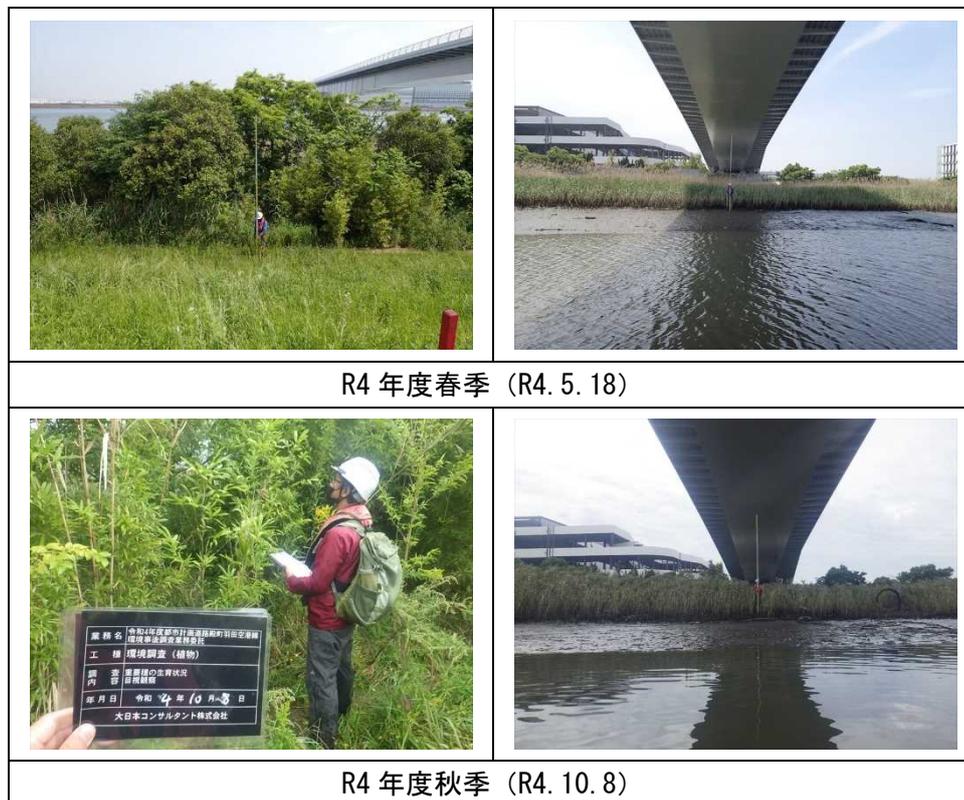


図 3.1 植物調査の状況

表 3.1 使用機器の仕様(植物調査)

機種	名称	項目	規格及び性能
GNSS (GPS)	GPSmap 62s (GARMIN 社製)	本体サイズ(幅 x 高さ x 奥行)	6.0 x 15.5 x 3.6 cm
		ディスプレイサイズ(幅 x 高さ)	3.6 x 5.5 cm、 対角 2.6 インチ (6.6 cm)
		解像度(幅 x 高さ)	160 x 240 ピクセル
		ディスプレイタイプ	透過型、65,000 色カラー TFT
		重量	216.0 g (電池含む)
		電池	単 3 乾電池 2 本(別売)、 アルカリ/ニッケル水素/リチウム
		バッテリー寿命	16 時間(単 3 電池 2 本)
		防水性	あり(IPX7)
		浮水性	無し
		高感受信機	有り
		インターフェース	高速 USB および NMEA 0183 互換
		測位精度	3~4mRMS
		更新時間	1 秒

2) 重要種の選定基準

現地調査によって生息が確認された種のうち、表 3.2 に示す選定基準に基づいて重要種を選定した。

表 3.2 重要種の選定基準

No.	区分	表記	法律・文献名	制定機関・ 発行者	制定・発 行年	カテゴリー(カッコ内は略号)
①	法律	文化財保護法	「文化財保護法」(昭和25年5月30日法律第214号)に基づく天然記念物及び特別天然記念物に指定されている種	文化庁	1950	天然記念物(天) 特別天然記念物(特天)
②		種の保存法	「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成4年6月5日法律第75号)に基づく国内希少野生動植物種及び緊急指定種に指定されている種	環境庁	1992	国内希少野生動植物種(国内)
③	文献	環境省RL	「環境省レッドリスト2020」(環境省、2020年)に記載されている種	環境省	2020	絶滅(EX) 野生絶滅(EW) 絶滅危惧 I 類(CR+EN) 絶滅危惧 I A類(CR) 絶滅危惧 I B類(EN) 絶滅危惧 II 類(VU) 準絶滅危惧(NT) 情報不足(DD) 絶滅のおそれのある地域個体群(LP)
④	文献	東京都RDB	「東京都の保護上重要な野生動物種(本土部)～レッドデータブック東京2013～」(東京都環境局、平成25年)に記載されている種 ※本調査では、「区部」の地域区分該当種が対象となる。	東京都	2020	絶滅(EX) 野生絶滅(EW) 絶滅危惧 I 類(CR+EN) 絶滅危惧 I A類(CR) 絶滅危惧 I B類(EN) 絶滅危惧 II 類(VU) 準絶滅危惧(NT) 情報不足(DD) 留意種(*1～*8) *1: 準絶滅危惧(NT)に準ずる(現時点では絶滅のおそれはないが、生息環境が減少していることから動向に留意する必要がある) *2: 過去の環境変化により、生息地が限定されていたり、孤立個体群がある *3: 人為的な環境配慮により個体群が維持されている *4: 外来種の影響に注意する必要がある *5: 生活史の一部または全部で特殊な環境条件を必要としている *6: 自然の回復状況をあらわしている *7: 良好な環境の指標となる *8: タイプロカリティ(基準産地、模式産地)
⑤	文献	神奈川県RDB	動物: 「神奈川県レッドデータブック生物調査報告書2006(神奈川県立生命の星・地球博物館、平成18年)に記載されている種 植物: 神奈川県レッドリスト2020	神奈川県	動物: 2006 植物: 2020	絶滅(EX) 野生絶滅(EW) 絶滅危惧 I 類(CR+EN) 絶滅危惧 I A類(CR) 絶滅危惧 I B類(EN) 絶滅危惧 II 類(VU) 準絶滅危惧(NT) 減少種(減少) 希少種(希少) 要注目種(要注) 注目種(注目) 情報不足(DD) 不明種(不明) 絶滅のおそれのある地域個体群(LP)

3) 調査結果

重要種の確認状況は表 3.3 に示すとおりである。

表 3.3 (1) 種別確認状況(ハマボウ)

項目	内容
種名	ハマボウ
一般的生態	<p>樹高 1~3m、本種は、アオイ科の落葉低木で、西日本から奄美大島まで分布する。内湾沿岸に自生する塩生植物である。花期は、7~8 月で直径 7cm 程度の花をつける。</p> <p>県内では、三浦半島の天神島と本調査範囲内で生育する川崎市殿町に生育する株のみであり、国内では本種の北限に当たる。自生している個体の株数は少なく、両産地の株数は合わせて 50 株未満である。神奈川県レッドデータブックでは、産地が極めて限定的として、絶滅危惧 IA 類と評価している。</p>
重要種の選定状況	⑤神奈川県 RDB : CR
確認状況	<p>春季、秋季調査時において 3 株確認した。確認された個体は全て、平成 30 年度春季以降継続的に確認された株であった。確認された個体の樹高は 2~3m 程度で、生育状態は良好であった。このうち 2 株は、実を多くつけており、生育株の林床に実生（双葉）が多数みられた。</p>
築造工事による影響	<p>確認された個体の生育状況は良好であり、築造工事による本種に対する影響はないものと考えられる。</p>
<p><個体写真></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;">  <p>個体写真 (撮影日時：令和 4 年 10 月 8 日)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>本種の確認環境 (撮影日時：令和 4 年 10 月 8 日)</p> </div> </div>	

表 3.3 (2) 種別確認状況(ニガカシュウ)

項目	内容
種名	ニガカシュウ
一般的生態	本種は、多年草のつる性植物で、地下に大型、扁球形の塊根があり、ひげ根が多い。葉は互生し、円心形で鋭尖し、径5～13cm、長柄がある。葉腋にむかごがつく。花被片は黄緑色で紫色を帯びる。雄花序、雌花序ともに下垂するが雌株はごく少ない。花期は8～9月。沿岸部の林縁や草地に生育する。
重要種の選定状況	④東京都RDB：EX
確認状況	<p>秋季調査時において、371株確認された。確認された株は、全て右岸ヨシ原内で確認された。</p> <p>確認された個体の多くの個体は、ヨシ、アイアシ、及びセイタカアワダチソウ等の植物に絡みついており、生育状態は良好であった。</p>
築造工事による影響	確認された個体の生育状況は良好であり、築造工事による本種に対する影響はないものと考えられる。
<p><個体写真></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;">  <p>個体写真 (撮影日時：令和4年10月8日)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>本種の確認環境 (撮影日時：令和4年10月8日)</p> </div> </div>	

表 3.3 (3) 種別確認状況(アイアシ)

項目	内容
種名	アイアシ
一般的生態	高さ 60～150cm、本種は主に河口や海岸の塩性湿地等に生育する多年草である。国内では、北海道から九州の各地に分布する。海岸では、塩性湿地でない海岸でも群落を形成することがある。果実期は 6～10 月で、幅 1.4～1.5mm の長楕円形、褐色で光沢はない。
重要種の選定状況	④東京都 RDB : VU ⑤神奈川県 RDB:VU
確認状況	<p>秋季調査時に計 3,230 株程度を確認した。確認された個体の多くは、右岸のヨシ群落の縁辺部に群生していた。群生している範囲は、平成 29 年度の秋季とほぼ変化はみられない。</p> <p>生育している個体の草丈は最大 1.8m 程度であり、結実している個体はみられなかったが、いずれも生育状況は良好であった。</p>
築造工事による影響	確認された個体の生育状況は良好であり、築造工事による本種に対する影響はないものと考えられる。
<p><個体写真></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;">  <p>個体写真 (撮影日時：令和 4 年 10 月 8 日)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>本種の確認環境 (撮影日時：令和 4 年 10 月 8 日)</p> </div> </div>	

表 3.3 (4) 種別確認状況(ジョウロウスゲ)

項目	内容
種名	ジョウロウスゲ
一般的生態	高さ 40～70cm、本種は主に湖沼や河川の水辺に生育する多年草である。国内では、北海道、本州(関東、中部以北)に分布する。花期は5～7月で、上部に4～6個密集した小穂をつける。 神奈川県 RDB では、河川改修や産地が限定的な種として絶滅危惧 IA 類と評価している。
重要種の選定状況	③環境省 RL : VU ⑤神奈川県 RDB:CR
確認状況	秋季に3株を確認した。草丈は、いずれも40～50cm程度。結実しており、生育状態は良好であった。
〈個体写真〉	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>個体写真 (撮影日時：令和4年10月8日)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>本種の確認環境 (撮影日時：令和4年10月8日)</p> </div> </div>	

表 3.3 (5) 種別確認状況(イセウキヤガラ)

項目	内容
種名	イセウキヤガラ
一般的生態	高さ 25～80cm、本種はやや塩分の低い河口付近の塩湿地に生育する多年草である。北海道、本州、四国、九州に分布する。花期は7～10月で、小穂は1～6粒、長さ1～2cm、花序は苞が目立つため側生状となる。 地下茎は太く、先に塊茎をつくり群生する。
重要種の選定状況	③環境省 RL : NT ⑤神奈川県 RDB:EN
確認状況	秋季に500株を確認した。草丈は、いずれも60～80cm程度。生育状態は良好であった。
〈個体写真〉	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>個体写真 (撮影日時：令和4年10月8日)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>本種の確認環境 (撮影日時：令和4年10月8日)</p> </div> </div>	

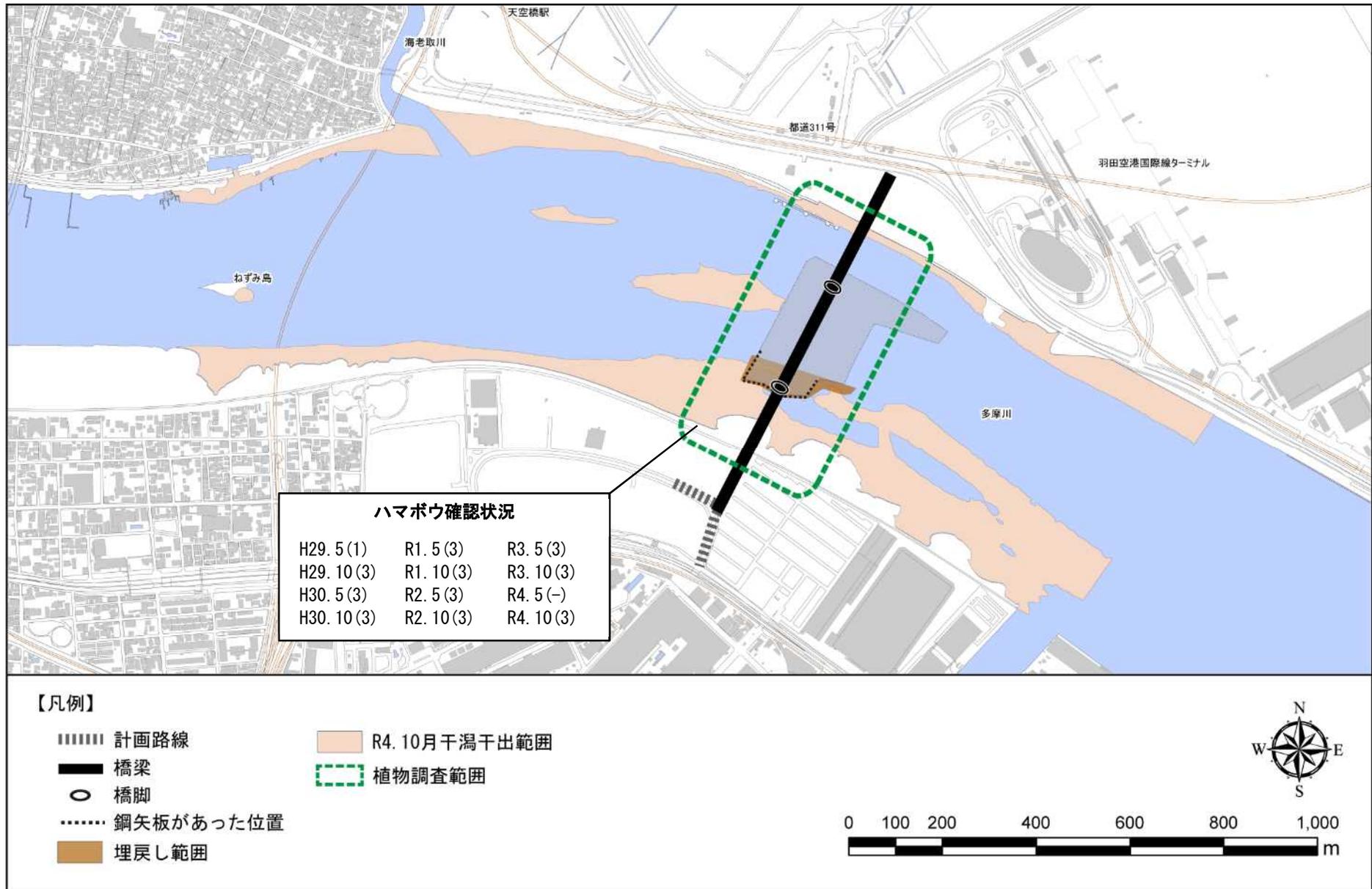


図 3. 2 (1) 植物重要種確認状況 (H29~R4 年度 ハマボウ)

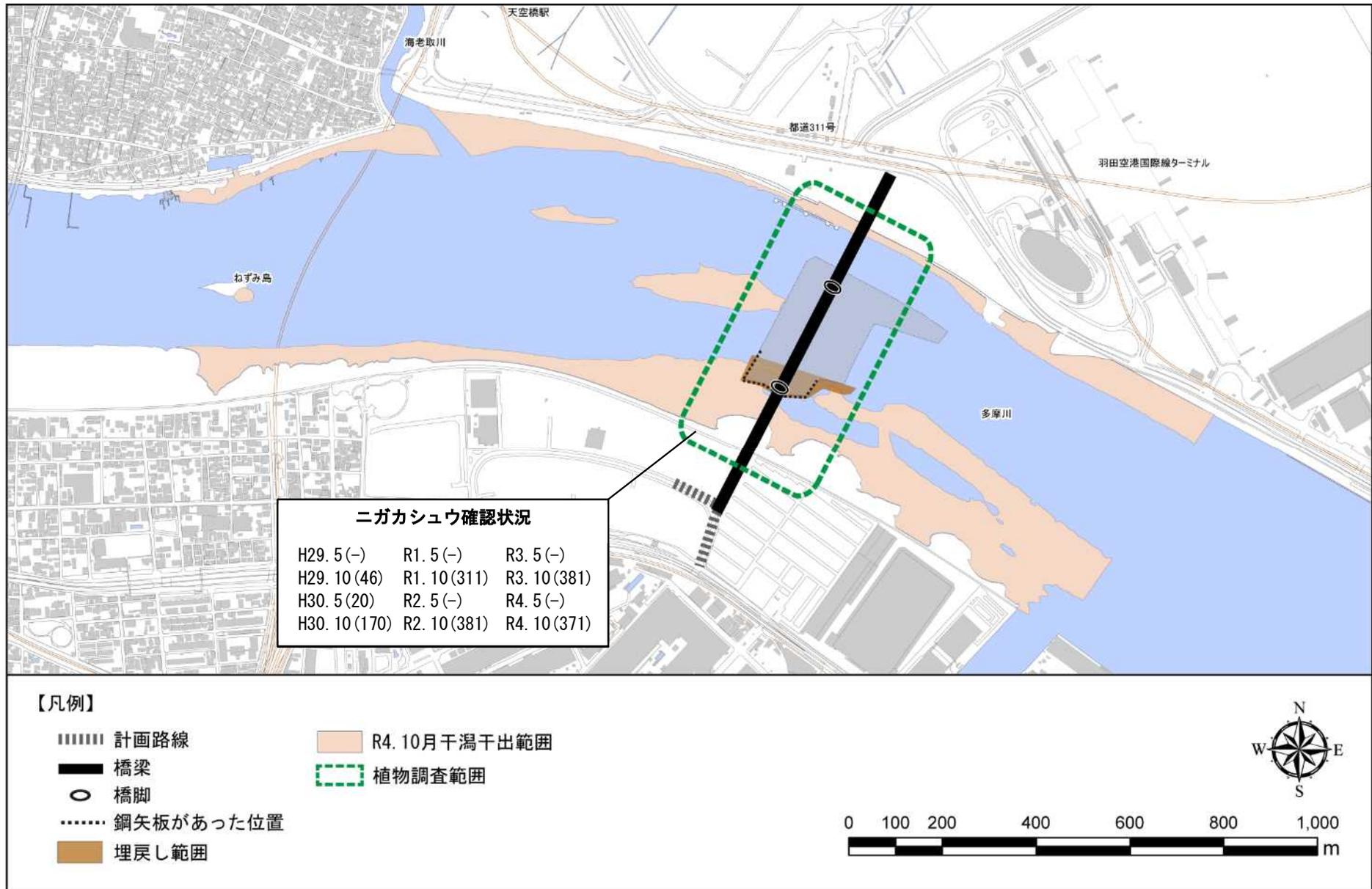


図 3.2 (2) 植物重要種確認状況 (H29~R4 年度 ニガカシュウ)

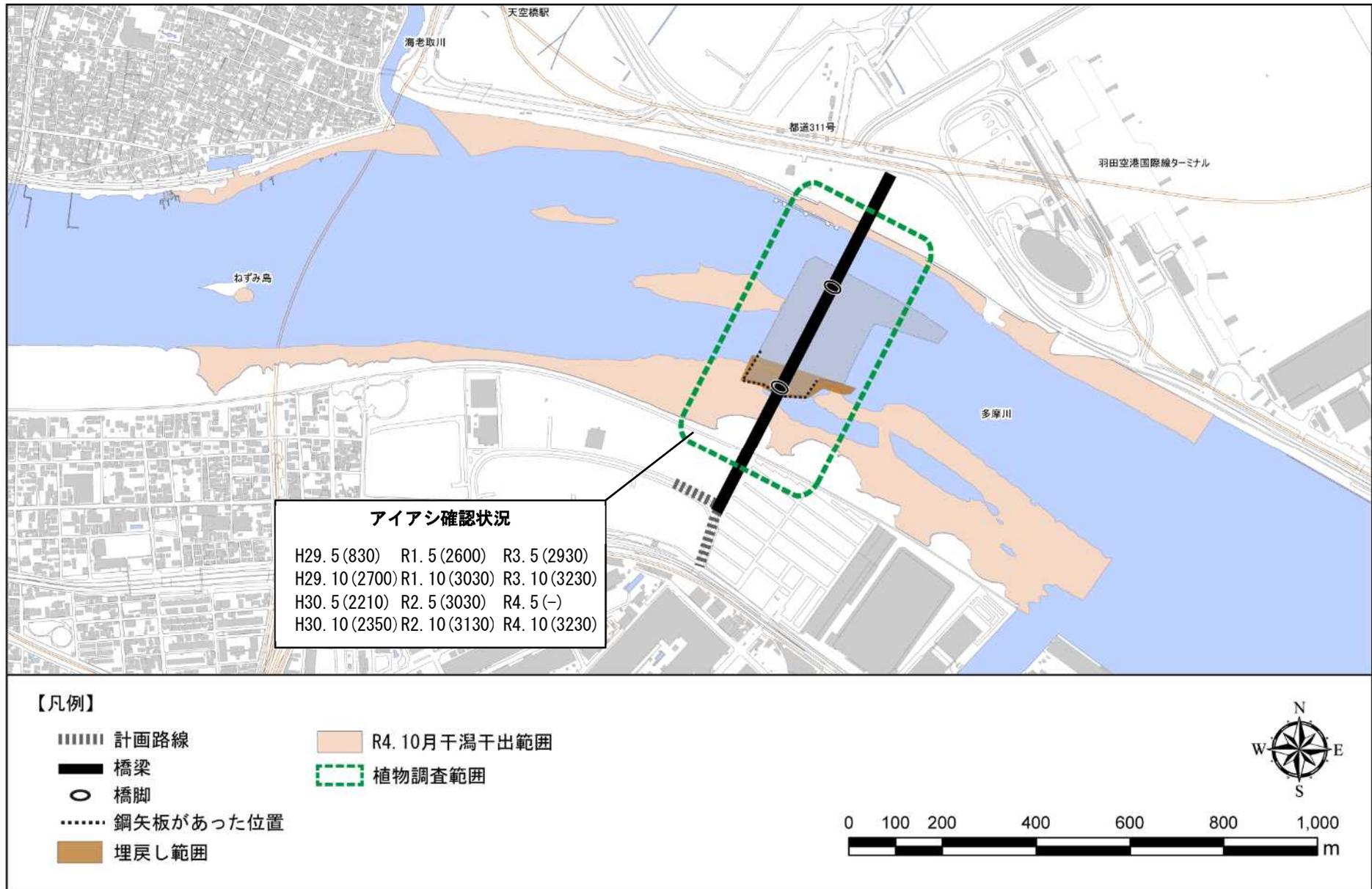


図 3.2 (3) 植物重要種確認状況 (H29～R4 年度 アイアシ)

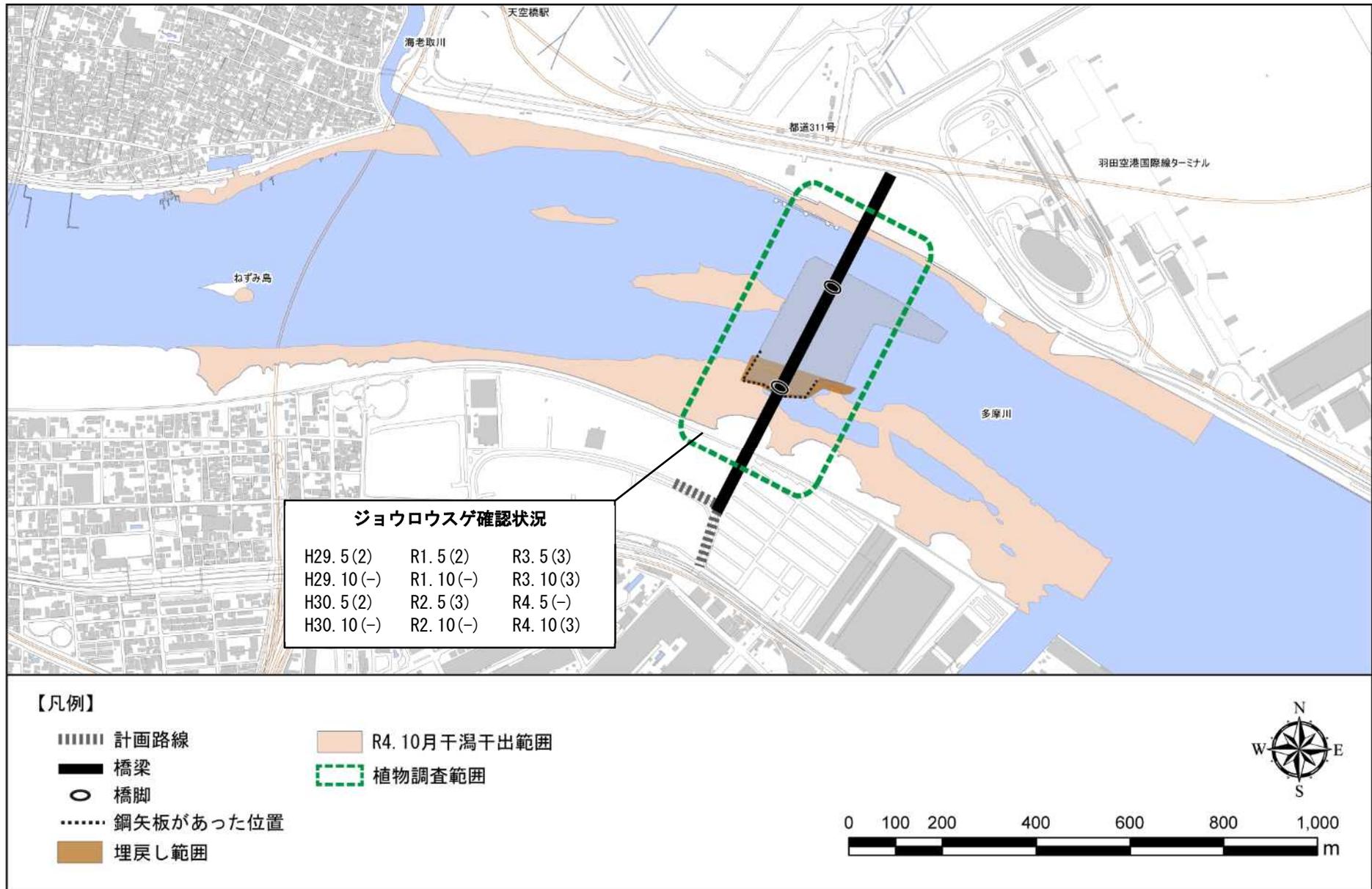


図 3.2 (4) 植物重要種確認状況 (H29～R4 年度 ジョウロウスゲ)

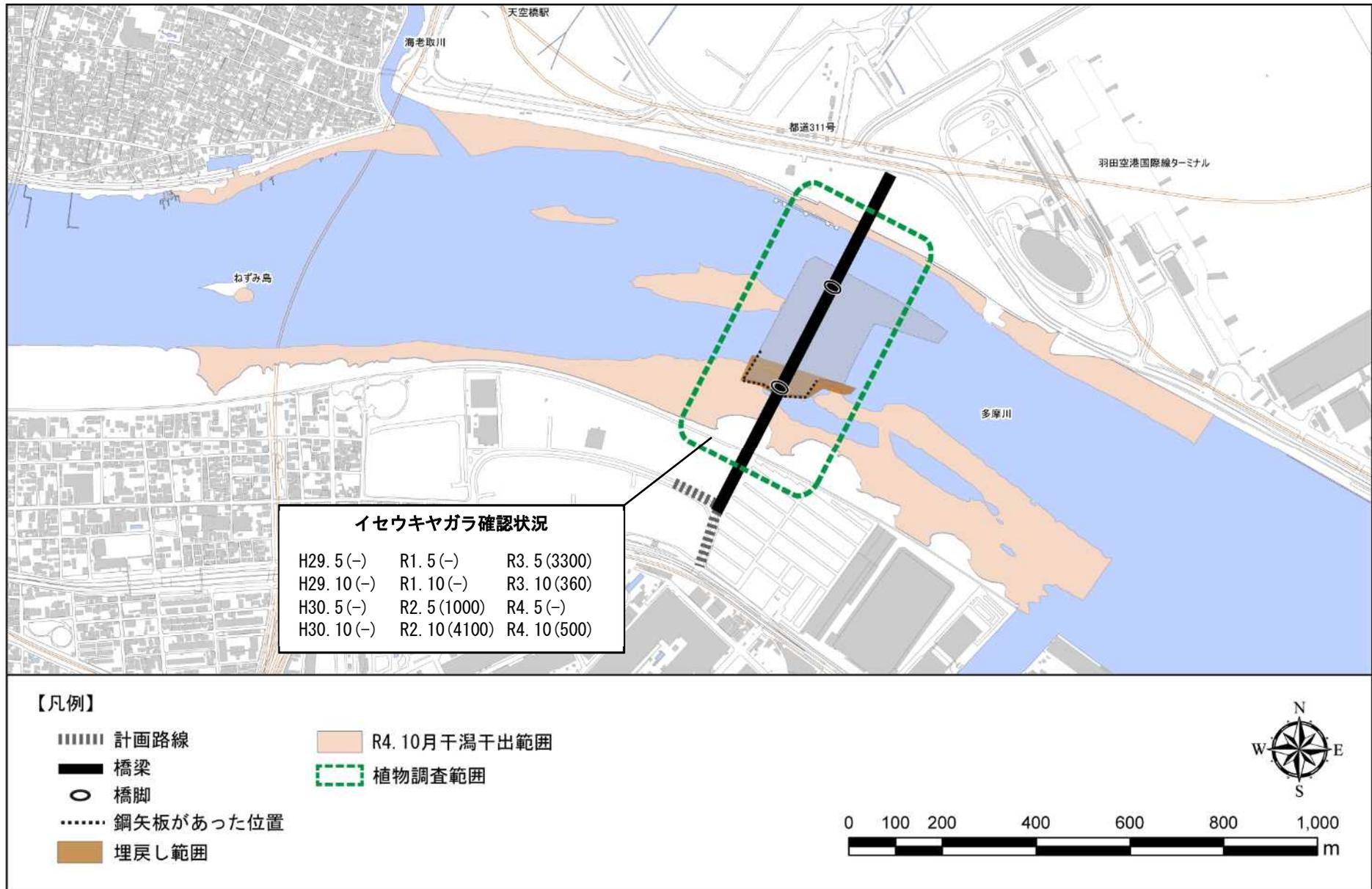


図 3.2 (5) 植物重要種確認状況 (H29~R4 年度 イセウキヤガラ)

(4) 藻類調査(アサクサノリ)(広域調査)

1) 調査方法

アサクサノリの生育数は、25cm×25cm コドラートを用いて確認し、1m²当たりの生育数を算出するとともに、生育基盤、最大伸長も記録した。

表 4.1 藻類調査地点諸元一覧

No.	左右岸	地点名	採取位置緯度(°)	採取位置経度(°)
1	右岸 (川崎側)	右岸-1	35.32252	139.453573
2		右岸-2	35.322484	139.453776
3		右岸-3	35.322468	139.453924
4		右岸-4	35.322428	139.454074
5		右岸-5	35.322404	139.454274
6		右岸-6	35.322351	139.454408
7		右岸-7	35.322314	139.454552
8		右岸-8	35.322207	139.454663
9	左岸 (羽田側)	左岸-1	35.323884	139.454591
10		左岸-2	35.32383	139.45473
11		左岸-3	35.323741	139.454899
12		左岸-4	35.323689	139.455039
13		左岸-5	35.323633	139.455188
14		左岸-6	35.323576	139.455316
15		左岸-7	35.323505	139.455454
16		左岸-8	35.323433	139.45559



図 4.1 藻類調査実施状況 (R5. 2. 13)

2) 調査結果

表 4.2(1) アサクサノリ調査結果 (H30. 2. 7)

No.	左右岸	地点名	生育数 (0.125m ²)	生育数 (1m ² 当たり)	生育基盤 1	生育基盤 2	最大葉長 (cm)
1	右岸 (川崎側)	右岸-1	10	80	ヨシ	カキ殻	7
2		右岸-2	11	88	ヨシ		6
3		右岸-3	9	72	ヨシ	カキ殻	10
4		右岸-4	7	56	ヨシ		10
5		右岸-5	6	48	ヨシ		7
6		右岸-6	15	120	ヨシ		10
7		右岸-7	19	152	ヨシ		9
8		右岸-8	35	280	ヨシ	カキ殻	17
9	左岸 (羽田側)	左岸-1	0	0			
10		左岸-2	0	0			
11		左岸-3	0	0			
12		左岸-4	0	0			
13		左岸-5	0	0			
14		左岸-6	0	0			
15		左岸-7	0	0			
16		左岸-8	0	0			

表 4.2(2) アサクサノリ調査結果 (H31. 2. 5)

No.	左右岸	地点名	生育数 (0.125m ²)	生育数 (1m ² 当たり)	生育基盤 1	生育基盤 2	最大葉長 (cm)
1	右岸 (川崎側)	右岸-1	13	104	ヨシ		14.9
2		右岸-2	13	104	ヨシ		13.5
3		右岸-3	5	40	ヨシ		10.5
4		右岸-4	4	32	ヨシ		9.4
5		右岸-5	6	48	ヨシ	倒木	12.4
6		右岸-6	16	128	ヨシ	倒木	11.9
7		右岸-7	12	96	ヨシ		11.7
8		右岸-8	27	216	ヨシ	カキ殻	20.4
9	左岸 (羽田側)	左岸-1	0	0			
10		左岸-2	0	0			
11		左岸-3	0	0			
12		左岸-4	0	0			
13		左岸-5	0	0			
14		左岸-6	0	0			
15		左岸-7	0	0			
16		左岸-8	0	0			

表 4.2(3) アサクサノリ調査結果 (R2. 2. 11)

No.	左右岸	地点名	生育数 (0.125m ²)	生育数 (1m ² 当たり)	生育基盤 1	生育基盤 2	最大葉長 (cm)
1	右岸 (川崎側)	右岸-1	0	0			
2		右岸-2	5	40	ヨシ		4.0
3		右岸-3	1	8	ヨシ		3.0
4		右岸-4	0	0			
5		右岸-5	0	0			
6		右岸-6	0	0			
7		右岸-7	0	0			
8		右岸-8	0	0			
9	左岸 (羽田側)	左岸-1	0	0			
10		左岸-2	0	0			
11		左岸-3	0	0			
12		左岸-4	0	0			
13		左岸-5	0	0			
14		左岸-6	0	0			
15		左岸-7	0	0			
16		左岸-8	0	0			

表 4.2(3) アサクサノリ調査結果 (R3. 2. 16)

No.	左右岸	地点名	生育数 (0.125m ²)	生育数 (1m ² 当たり)	生育基盤 1	生育基盤 2	最大葉長 (cm)
1	右岸 (川崎側)	右岸-1	1	8	ヨシ		7.0
2		右岸-2	4	32	ヨシ		1.8
3		右岸-3	0	0			
4		右岸-4	0	0			
5		右岸-5	0	0			
6		右岸-6	0	0			
7		右岸-7	0	0			
8		右岸-8	1	8	生育基盤 なし		3.0
9	左岸 (羽田側)	左岸-1	0	0			
10		左岸-2	0	0			
11		左岸-3	0	0			
12		左岸-4	0	0			
13		左岸-5	0	0			
14		左岸-6	0	0			
15		左岸-7	0	0			
16		左岸-8	0	0			

表 4.2(4) アサクサノリ調査結果 (R4. 2. 4)

No.	左右岸	地点名	生育数 (0.125m ²)	生育数 (1m ² 当たり)	生育基盤 1	生育基盤 2	最大葉長 (cm)
1	右岸 (川崎側)	右岸-1	16	128	ヨシ		8.8
2		右岸-2	16	128	ヨシ		2.8
3		右岸-3	0	0	ヨシ		0
4		右岸-4	0	0	ヨシ		0
5		右岸-5	8	64	ヨシ		5.1
6		右岸-6	0	0	ヨシ		0
7		右岸-7	0	0			0
8		右岸-8	0	0	ヨシ		0
9	左岸 (羽田側)	左岸-1	0	0	ヨシ		
10		左岸-2	0	0			
11		左岸-3	0	0			
12		左岸-4	0	0			
13		左岸-5	0	0			
14		左岸-6	0	0			
15		左岸-7	0	0			
16		左岸-8	0	0			

表 4.2(5) アサクサノリ調査結果 (R5. 2. 13)

No.	左右岸	地点名	生育数 (0.125m ²)	生育数 (1m ² 当たり)	生育基盤 1	生育基盤 2	最大葉長 (cm)
1	右岸 (川崎側)	右岸-1	5	40	ヨシ		8.5
2		右岸-2	3	24	ヨシ		4.4
3		右岸-3	1	8	ヨシ		3.6
4		右岸-4	2	16	ヨシ		2.0
5		右岸-5	1	8	ヨシ		1.2
6		右岸-6	5	40	ヨシ		2.7
7		右岸-7	0	0			
8		右岸-8	0	0	ヨシ		
9	左岸 (羽田側)	左岸-1	0	0	ヨシ		
10		左岸-2	0	0			
11		左岸-3	0	0			
12		左岸-4	0	0			
13		左岸-5	0	0			
14		左岸-6	0	0			
15		左岸-7	0	0			
16		左岸-8	0	0			

(5) 鳥類調査(広域調査)

1) 調査地点

表 5.1 鳥類調査時の調査位置一覧

No.	調査点	緯度	経度
1	St. 1	35° 32' 17.46"	139° 45' 50.19"
2	St. 2	35° 32' 26.68"	139° 45' 26.72"
3	St. 3	35° 32' 29.37"	139° 44' 29.70"
4	St. 4	35° 32' 42.15"	139° 44' 29.86"
5	St. 5	35° 32' 44.88"	139° 45' 7.13"
6	St. 6	35° 32' 38.24"	139° 45' 47.88"
7	St. 7	35° 32' 26.38"	139° 44' 53.83"

2) 調査方法

表 5.2 鳥類の調査手法

調査方法	定点観察法	
概要		
	R4年度春季 (R4. 4. 19, R4. 5. 15)	
		
	R4年度秋季 (R4. 8. 26, 9. 9)	
		
	R4年度冬季 (R5. 2. 7)	
	<p>定点観察法は、調査範囲内に設定した調査定点に留まり、8～10倍程度の双眼鏡及び20～40倍程度の望遠鏡を用いて周辺に出現する鳥類を目視、または鳴き声等によって確認する手法である。</p> <p>本調査では、視野の範囲内で識別できる典型種(カモメ類、カモ類、シギ・チドリ類)を対象とし、出現した典型種の種名・個体数・確認箇所・行動・飛翔高度等を記録した。なお、定点は、調査範囲内全域を視認できるように5地点を設定した。</p>	
備考	<p>定点観察の時間帯は、調査日の潮回りを考慮し、満潮時、下げ潮時、干潮時、上げ潮時の4回を設定した。</p>	

3) 重要種の選定基準

表 5.3 重要種の選定基準

No.	区分	表記	法律・文献名	制定機関・ 発行者	制定・発 行年	カテゴリー(カッコ内は略号)
①		文化財保護法	「文化財保護法」(昭和25年5月30日法律第214号)に基づく天然記念物及び特別天然記念物に指定されている種	文化庁	1950	天然記念物(天) 特別天然記念物(特天)
②	法律	種の保存法	「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成4年6月5日法律第75号)に基づく国内希少野生動植物種及び緊急指定種に指定されている種	環境庁	1992	国内希少野生動植物種(国内) 絶滅(EX) 野生絶滅(EW) 絶滅危惧Ⅰ類(CR+EN) 絶滅危惧ⅠA類(CR) 絶滅危惧ⅠB類(EN) 絶滅危惧Ⅱ類(VU) 準絶滅危惧(NT) 情報不足(DD) 絶滅のおそれのある地域個体群(LP)
③	文献	環境省RL	「環境省レッドリスト2020」(環境省、2020年)に記載されている種	環境省	2020	絶滅(EX) 野生絶滅(EW) 絶滅危惧Ⅰ類(CR+EN) 絶滅危惧ⅠA類(CR) 絶滅危惧ⅠB類(EN) 絶滅危惧Ⅱ類(VU) 準絶滅危惧(NT) 情報不足(DD) 絶滅のおそれのある地域個体群(LP)
④	文献	東京都RDB	「東京都の保護上重要な野生動物種(本土部)～レッドデータブック東京2013～」(東京都環境局、平成25年)に記載されている種 ※本調査では、「区部」の地域区分該当種が対象となる。	東京都	2020	絶滅(EX) 野生絶滅(EW) 絶滅危惧Ⅰ類(CR+EN) 絶滅危惧ⅠA類(CR) 絶滅危惧ⅠB類(EN) 絶滅危惧Ⅱ類(VU) 準絶滅危惧(NT) 情報不足(DD) 留意種(*1～*8) *1: 準絶滅危惧(NT)に準ずる(現時点では絶滅のおそれはないが、生息環境が減少していることから動向に留意する必要がある) *2: 過去の環境変化により、生息地が限定されていたり、孤立個体群がある *3: 人為的な環境配慮により個体群が維持されている *4: 外来種の影響に注意する必要がある *5: 生活史の一部または全部で特殊な環境条件を必要としている *6: 自然の回復状況をあらわしている *7: 良好な環境の指標となる *8: タイプロカリティ(基準産地、模式産地)
⑤	文献	神奈川県RDB	動物: 「神奈川県レッドデータブック生物調査報告書2006(神奈川県立生命の星・地球博物館、平成18年)に記載されている種 植物: 神奈川県レッドリスト2020	神奈川県	動物: 2006 植物: 2020	絶滅(EX) 野生絶滅(EW) 絶滅危惧Ⅰ類(CR+EN) 絶滅危惧ⅠA類(CR) 絶滅危惧ⅠB類(EN) 絶滅危惧Ⅱ類(VU) 準絶滅危惧(NT) 減少種(減少) 希少種(希少) 要注目種(要注) 注目種(注目) 情報不足(DD) 不明種(不明) 絶滅のおそれのある地域個体群(LP)

表 5.4 重要種の選定基準

No.	区分	表記	法律・文献名	制定機関・ 発行者	制定・発 行年	カテゴリー(カッコ内は略号)
①		文化財保護法	「文化財保護法」(昭和25年法律第214号、最終改正:令和3年4月23日)に基づく天然記念物及び特別天然記念物に指定されている種	文化庁	1950	天然記念物(天) 特別天然記念物(特天)
②	法律	種の保存法	「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成4年 法律第75号、最終改正:令和元年6月14日)及び「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律施行令」(平成5年 政令第17号、最終改正:令和5年1月13日)に基づく国内希少野生動植物種に指定されている種	環境庁	1992	国内希少野生動植物種(国内) 特一: 特定第一種国内希少野生動植物種 特二: 特定第二種国内希少野生動植物種
③	文献	環境省RL	「環境省レッドリスト2020」(環境省、令和2年)の掲載種	環境省	2020	絶滅(EX) 野生絶滅(EW) 絶滅危惧I類(CR+EN) 絶滅危惧IA類(CR) 絶滅危惧IB類(EN) 絶滅危惧II類(VU) 準絶滅危惧(NT) 情報不足(DD) 絶滅のおそれのある地域個体群(LP)
④	文献	東京都RDB	「東京都の保護上重要な野生動物種(本土部)～レッドデータブック東京2020～」(東京都環境局、平成25年)に記載されている種	東京都	2020	絶滅(EX) 野生絶滅(EW) 絶滅危惧I類(CR+EN) 絶滅危惧IA類(CR) 絶滅危惧IB類(EN) 絶滅危惧II類(VU) 準絶滅危惧(NT) 情報不足(DD) 留意種(*1～*6) *1: 生育、生息環境が減少もしくは悪化することで、個体数が減少するおそれがある。生育、生息環境が減少もしくは悪化することで、個体数が減少するおそれがある。 *2: 生息地の限定もしくは分断による個体群の縮小あるいは孤立化により、個体数が減少するおそれがある。 *3: 人為的な環境配慮により個体群が維持されているが、人為的な環境配慮が失われた場合、個体数が減少するおそれがある。 *4: 外来種の影響により、個体数が減少するおそれがある。 *5: 生活史の一部または全部で特殊な環境条件を必要としている種であり、これら特殊な環境が失われた場合、個体数が減少するおそれがある。 *6: かつて悪化していた環境の回復にともない個体群規模が戻ったが、その状況は不安定であり、環境が変化すれば個体数が減少するおそれがある。 絶滅(EX) 野生絶滅(EW) 絶滅危惧I類(CR+EN) 絶滅危惧IA類(CR) 絶滅危惧IB類(EN) 絶滅危惧II類(VU) 準絶滅危惧(NT)
⑤	文献	神奈川県RDB	「神奈川県レッドデータブック生物調査報告書2006(神奈川県立生命の星・地球博物館、平成18年)に記載されている種	神奈川県	2006	準絶滅危惧(NT) 減少種(減少) 希少種(希少) 要注目種(要注) 注目種(注目) 情報不足(DD) 不明種(不明) 絶滅のおそれのある地域個体群(LP)

3) 調査結果

調査結果は、次頁以降に示すとおりである。

表 5.6 鳥類重要種一覧

No.	分類			渡り区分 *2	調査年度及び調査実施時期										重要種選定基準						
	目名	科名	種名		H27	H28d	H29d	H30d	R1d	R2d	R3d	R4d			R4 集計	①	②	③	④	⑤	⑥
					(アセス時)								春季	秋季		冬季	文化財 保護法	種の 保存法	環境省 RL2020	東京都 (区部) 2020	神奈川県 (繁殖期)
1	キジ	キジ	キジ	留鳥				○											EN		
2	カモ	カモ	ホシハジロ	冬鳥	○		○	○	○	○				○					VU		
3			スズガモ	冬鳥	○	○	○	○	○	○				○					*		
4			ビロードキンクロ	冬鳥					○										DD		
5			クロガモ	冬鳥					○										DD		
6			ホオジロガモ	冬鳥	○					○									VU		
7			ウミアイサ	冬鳥		○	○		○	○									DD		NT
8	カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ	留鳥	○	○	○	○	○	○									NT		
9			カンムリカイツブリ	冬鳥	○	○	○	○	○	○				○					*		
10			ハジロカイツブリ	冬鳥	○		○	○	○	○									NT		
11	カツオドリ	ウ	ウミウ	留鳥			○														NT
12	ペリカン	サギ	ヨシゴイ	夏鳥	○		○										NT		CR	VU	
13			ゴイサギ	留鳥								○	○						VU		
14			ササゴイ	夏鳥			○												CR	VU	
15			アマサギ	旅鳥	○																減少
16			ダイサギ	留鳥	○	○	○	○	○	○				○					NT		
17			チュウサギ	旅鳥	○		○	○	○	○				○				NT	NT		
18			コサギ	留鳥	○	○	○	○	○	○				○					VU		
19			カラシラサギ	旅鳥						○								NT			
20	ツル	クイナ	クイナ	冬鳥	○				○										DD		VU
21			ヒクイナ	留鳥									○					NT	CR	CR+EN	
22			バン	留鳥				○											EN		
23			オオバン	冬鳥	○		○	○	○	○				○					CR		
24	アマツバメ	アマツバメ	ヒメアマツバメ	夏鳥		○													VU		減少
25	チドリ	チドリ	ムナグロ	旅鳥	○				○	○									VU		減少
26			ダイゼン	旅鳥	○	○	○	○	○	○									VU		減少
27			コチドリ	夏鳥	○	○	○	○	○	○				○					CR		注目
28			シロチドリ	旅鳥	○	○	○	○	○	○				○					CR	VU	NT
29			メダイチドリ	旅鳥	○	○	○	○	○	○							国際		VU		NT
30		ミヤコドリ	ミヤコドリ	旅鳥			○												VU		
31		セイタカシギ	セイタカシギ	旅鳥		○													VU		EN
32		シギ	タシギ	旅鳥	○	○		○	○	○									VU		注目
33			オオソリハシシギ	旅鳥	○				○	○									VU		VU
34			チュウシャクシギ	旅鳥	○			○	○	○				○					VU		VU
35			ダイシャクシギ	旅鳥	○	○													CR		EN
36			ホウロクシギ	旅鳥		○											国際		VU		EN
37			アオアシシギ	旅鳥		○			○										NT		NT
38			クサシギ	旅鳥						○									CR		NT
39			キアシシギ	旅鳥	○	○	○	○	○	○				○					VU		VU
40			ソリハシシギ	旅鳥	○	○	○	○	○	○				○					VU		VU
41			イソシギ	留鳥	○	○	○	○	○	○				○					VU		希少 注目
42			キョウジョシギ	旅鳥	○	○	○	○	○	○				○					VU		VU
43			オバシギ	旅鳥										○			国際		CR		VU
44			トウネン	旅鳥		○	○												VU		VU
45			ハマシギ	旅鳥	○	○			○	○									VU		VU
46		カモメ	ウミネコ	留鳥	○		○	○	○	○				○				NT		*	
47			オオセグロカモメ	冬鳥	○		○	○	○	○				○					NT		
48			コアジサシ	夏鳥	○	○	○	○	○	○				○					VU	EN	CR+EN
49	タカ	ミサゴ	ミサゴ	留鳥	○	○	○	○	○	○				○					NT	EN	VU
50		タカ	トビ	留鳥	○	○	○	○	○	○				○					NT		NT
51			チュウヒ	旅鳥		○		○											国内	EN	EN
52			ハイタカ	留鳥															NT	EN	DD
53			ノスリ	留鳥			○			○									CR	VU	希少
54	フクロウ	フクロウ	コムミズク	冬鳥				○											CR		EN
55	ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ	留鳥	○		○		○	○				○					VU		
56	ハヤブサ	ハヤブサ	チョウゲンボウ	留鳥	○	○	○	○	○	○				○					EN		
57			ハヤブサ	留鳥	○	○	○	○	○	○				○			国内・国際		VU	EN	CR+EN
58	スズメ	モズ	モズ	留鳥	○	○	○	○	○	○				○					CR		減少
59		カラス	オナガ	留鳥	○		○	○	○	○				○					NT		
60		ヒバリ	ヒバリ	留鳥	○	○	○	○	○	○				○					VU		減少
61		ツバメ	ツバメ	夏鳥	○	○	○	○	○	○				○					VU		減少
62			イワツバメ	夏鳥			○		○	○				○					DD		
63		ムシクイ	センダイムシクイ	夏鳥					○										EX		NT
64		ヨシキリ	オオヨシキリ	夏鳥	○	○	○	○	○	○				○					CR		VU
65		セッカ	セッカ	留鳥	○	○	○	○	○	○				○					CR		減少
66		ヒタキ	アカハラ	冬鳥		○															減少
67			イソヒヨドリ	留鳥	○	○	○	○	○	○				○					NT		
68		セキレイ	セグロセキレイ	留鳥	○	○	○	○	○	○				○					VU		減少
69		アトリ	カワラヒワ	留鳥	○	○	○	○	○	○				○							減少
70		ホオジロ	ホオジロ	留鳥	○		○	○	○	○				○					EN		
71			カシラダカ	冬鳥	○		○	○	○	○									VU		
72			アオジ	留鳥	○	○	○	○	○	○				○							VU
73			オオジュリン	冬鳥															NT		VU
合計	13目	28科	73種	確認種数	46種	41種	48種	41種	43種	45種	46種	31種	24種	24種	44種	1種	4種	15種	65種	23種	29種

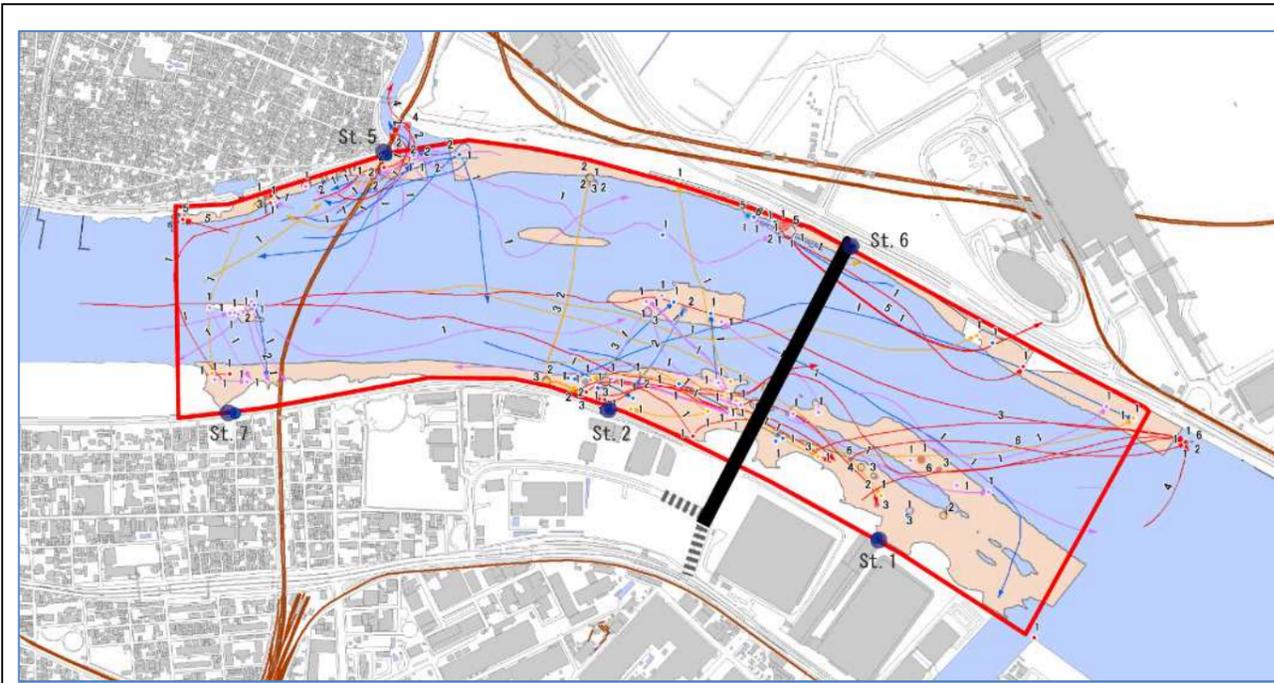
*種名及び配列は「日本産鳥類目録改訂第7版(編 日本鳥学会 2012年)」に基本的に準拠した。

表 5.7 シギ・チドリ類の確認状況 (調査日別)

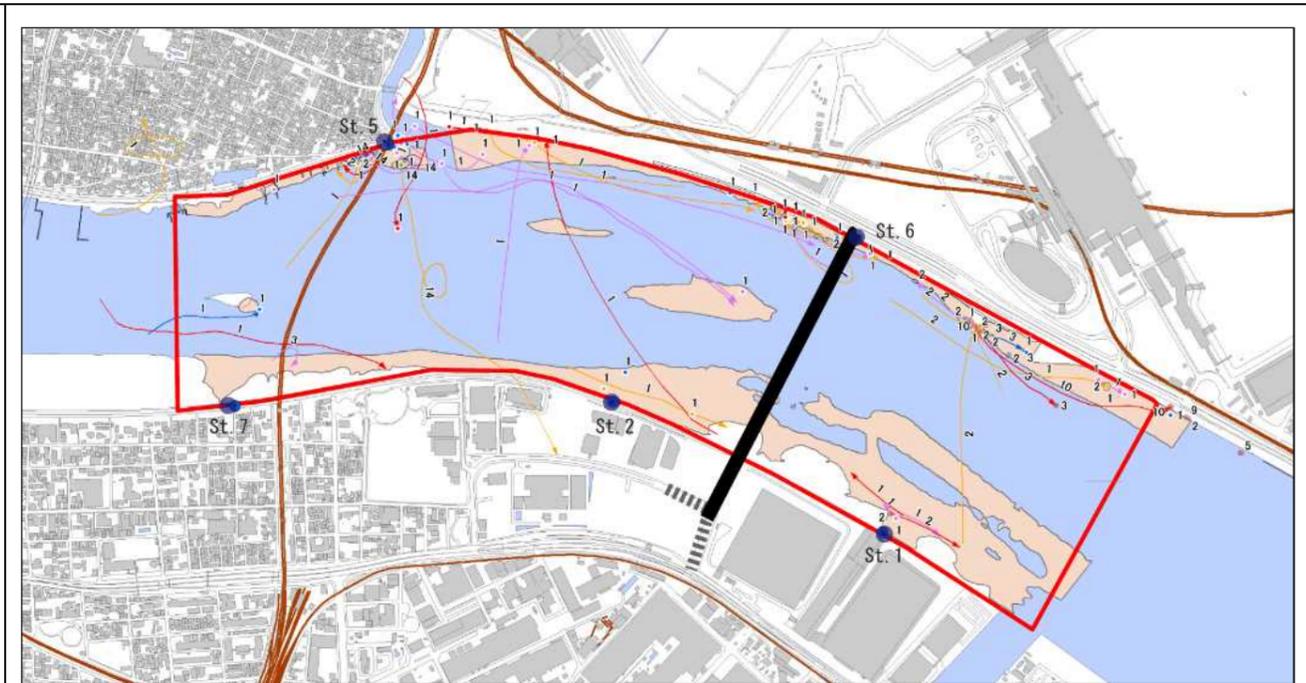
No.	分類			調査実施年度および調査実施日					
				春季		秋季		冬季	
	目名	科名	種名	R4. 4. 19	R4. 5. 15	R4. 8. 26	R4. 9. 9	R5. 2. 7	
1	チドリ	チドリ	コチドリ	10		1			
2			シロチドリ		1		42		
3		シギ	チュウシャクシギ	1	88				
4			キアシシギ		51	30	23		
2			ソリハシシギ			1	1		
3			イソシギ	4	25	17	36	13	
4			キョウジョシギ		48	10			
5			オバシギ				1		
合計		1目	2科	6種	15例 3種	213例 5種	59例 5種	102例 4種	13例 1種

*1：種名及び配列は「日本産鳥類目録改訂第7版(編 日本鳥学会 2012年)」に基本的に準拠した。

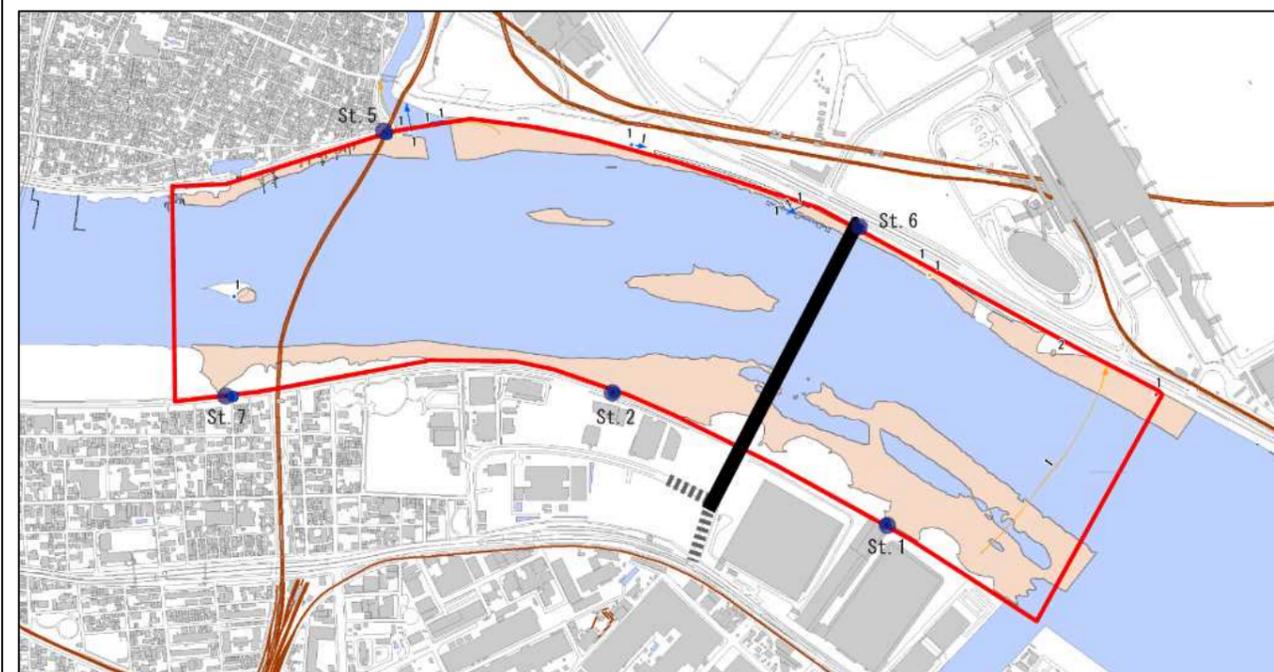
*2：欄内に数値を入力した種が当該調査日に確認されていることを示し、値は確認された回数を示している。



シギ・チドリ類/R4 年度春季(R4. 4. 19, 5. 15)



シギ・チドリ類/R4 年度秋季(R4. 8. 26, 9. 9)



シギ・チドリ類/R4 年度冬季(R5. 2. 7)

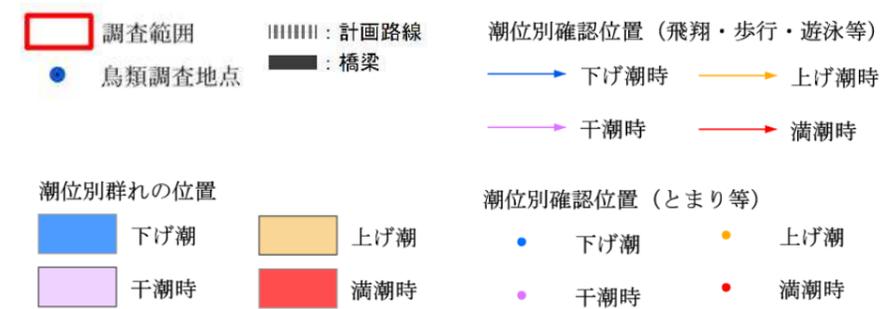


図 5.1 シギ・チドリ類確認位置(移動経路集積図)【R4 年度春季・秋季・冬季】

表 5.8 (1) 種別確認状況

項目	内容
種名	コチドリ
一般的生態	全長 14-17cm。本州中部以北では夏鳥として、日本の河原、水田、干潟等に渡来する。
重要種の選定状況	④東京都 RDB (区部) : VU ⑤神奈川県 RDB (繁殖期) : 注目
確認状況	令和 4 年 4 月 19 日に 10 例、8 月 26 日に 1 例確認された。
築造工事による影響	築造工事に伴う騒音による本種の忌避行動や異常な行動は見られず、昨年度から継続して確認されていることから、本種に対する築造工事の影響はないものと考えられる。
<p><個体写真></p>  <p>(撮影日 : 令和 4 年 4 月 19 日)</p>	
項目	内容
種名	チュウシャクシギ
一般的生態	全長 40-46cm。旅鳥として、国内の農耕地、湿地、干潟、河口、岩礁等に飛来する。干潟に生息するカニ類等の甲殻類を捕食する。
重要種の選定状況	④東京都 RDB (区部) : VU ⑤神奈川県 RDB (非繁殖期) : VU
確認状況	令和 4 年 4 月 19 日に 10 例、8 月 26 日に 1 例が確認された。
築造工事による影響	築造工事に伴う騒音による本種の忌避行動や異常な行動は見られず、昨年度から継続して確認されていることから、本種に対する築造工事の影響はないものと考えられる。
<p><個体写真></p>  <p>(撮影日 : 令和 4 年 4 月 19 日)</p>	

表 5.8 (2) 種別確認状況

項目	内容
種名	キアシシギ
一般的生態	全長 23-27cm。旅鳥として、国内の干潟、河口、岩礁等に飛来する。岩礁や干潟に生息するカニ類や底生動物等を採食する。
重要種の選定状況	④東京都 RDB (区部) : VU ⑤神奈川県 RDB (非繁殖期) : VU
確認状況	令和 4 年 5 月 15 日に 51 例、8 月 26 日に 146 例、8 月 20 日に 30 例、9 月 9 日に 23 例が確認された。
築造工事による影響	築造工事に伴う騒音による本種の忌避行動や異常な行動は見られず、昨年度から継続して確認されていることから、本種に対する築造工事の影響はないものと考えられる。
<p><個体写真></p>  <p>(撮影日 : 令和 4 年 9 月 9 日)</p>	
項目	内容
種名	ソリハシシギ
一般的生態	全長 22-25cm。旅鳥として、国内の干潟、河口、砂浜等に飛来する。底生動物や小型の昆虫類等を採食する。
重要種の選定状況	④東京都 RDB (区部) : VU ⑤神奈川県 RDB (非繁殖期) : VU
確認状況	令和 4 年 8 月 26 日に 1 例、9 月 9 日に 1 例が確認された。
築造工事による影響	築造工事に伴う騒音による本種の忌避行動や異常な行動は見られず、昨年度から継続して確認されていることから、本種に対する築造工事の影響はないものと考えられる。
<p><個体写真></p>  <p>(撮影日 : 令和元年 9 月 1 日)</p>	

表 5.8 (3) 種別確認状況

項目	内容
種名	イソシギ
一般的生態	全長 19-22cm。留鳥として、主に淡水～汽水の水辺に生息する。 底生動物や小型の昆虫類等を採食する。
重要種の選定状況	④東京都 RDB (区部) : VU ⑤神奈川県 RDB (繁殖期) : 希少 (非繁殖期) : 注目
確認状況	令和 4 年 4 月 19 日に 4 例、5 月 15 日に 25 例、8 月 26 日に 17 例、9 月 9 日に 36 例、令和 5 年 2 月 7 日に 13 例が確認された。
築造工事による影響	築造工事に伴う騒音による本種の忌避行動や異常な行動は見られず、昨年度から継続して確認されていることから、本種に対する築造工事の影響はないものと考えられる。
<p><個体写真></p>  <p>(撮影日 : 令和 4 年 9 月 9 日)</p>	
項目	内容
種名	キョウジョシギ
一般的生態	全長 21-25.5cm。旅鳥として、主に水田、海岸、干潟、埋立地、岩礁等に渡来する。短い嘴で転石を起こして底生動物や小型の昆虫類等を採食する。
重要種の選定状況	④東京都 RDB (区部) : VU ⑤神奈川県 RDB (非繁殖期) : VU
確認状況	令和 4 年 5 月 15 日に 48 例、8 月 26 日に 10 例が確認された。
<p><個体写真></p>  <p>(撮影日 : 令和 4 年 5 月 15 日)</p>	

表 5.8 (4) 種別確認状況

項目	内容
種名	オバシギ
一般的生態	全長 29cm。旅鳥として、春秋に海岸や河口の泥質の干潟で見られる。餌は泥の中の底生生物で、ゴカイ、甲殻類、貝類を採食する。
重要種の選定状況	①種の保存法：国際 ④東京都 RDB（区部）：CR ⑤神奈川県 RDB（非繁殖期）：VU
確認状況	令和 4 年 5 月 15 日に 48 例、8 月 26 日に 10 例が確認された。
<p data-bbox="225 459 347 488">〈個体写真〉</p> <div data-bbox="609 495 1056 831" style="text-align: center;">  </div> <p data-bbox="671 842 994 871">（撮影日：令和 4 年 8 月 26 日）</p>	

表 5.8 鳥類の飛翔高度 (R4 年度シギ・チドリ類)

調査日	潮位 カテゴリ	左右岸	種名	飛翔高度区分(m)						総計
				0m (地上)	1~5m 未満	5~10m 未満	10~20m 未満	20~30m 未満	30~50m 未満	
R4.4.19	下げ潮	右岸	チュウシャクシギ	1						1
		左岸	イソシギ		1					1
	干潮時	右岸	イソシギ		1					1
		左岸	コチドリ		4					4
	満潮時	左岸	イソシギ	1						1
			コチドリ	2	4					6
R4.5.15	下げ潮	右岸	チュウシャクシギ	5	3	1				9
			キアシシギ	1	3					4
			キョウジョシギ	2			1			3
		左岸	チュウシャクシギ	2	4					6
			キアシシギ	3						3
			イソシギ	1	2					3
	干潮時	右岸	チュウシャクシギ	10	6					16
			キアシシギ	3	4					7
			イソシギ		2					2
		左岸	キョウジョシギ	3	2					5
			シロチドリ		1					1
			チュウシャクシギ	1	10					11
	上げ潮	右岸	キアシシギ	2						2
			イソシギ		2					2
			キョウジョシギ	4	1					5
		左岸	チュウシャクシギ	10	8					18
			キアシシギ	3	3					6
			チュウシャクシギ		5					5
	満潮時	右岸	キアシシギ		1					1
			イソシギ	1						1
			キョウジョシギ	2						2
		左岸	チュウシャクシギ	8	8	4	3			23
			キアシシギ	12	10	1	3			26
			イソシギ	17						17
満潮時	左岸	キョウジョシギ	16						16	
		キアシシギ		2					2	
満潮時	左岸	キョウジョシギ		4	5				9	
		キアシシギ								

調査日	潮位 カテゴリ	左右岸	種名	飛翔高度区分(m)						総計	
				0m (地上)	1~5m 未満	5~10m 未満	10~20m 未満	20~30m 未満	30~50m 未満		50m 以上
R4.8.26	下げ潮	右岸	キアシシギ	4							4
			イソシギ	1							1
		左岸	キアシシギ	3							3
			イソシギ	1							1
	干潮時	右岸	キアシシギ	2	1						3
			イソシギ	1	1						2
		左岸	キアシシギ	1	1						2
			イソシギ	1							1
	上げ潮	右岸	コチドリ							1	1
			キアシシギ		2						2
			イソシギ		2						2
		左岸	キアシシギ	1							1
イソシギ			1	1						2	
イソシギ			1							1	
満潮時	右岸	キアシシギ	15							15	
		イソシギ	2	2						4	
		キョウジョシギ		10						10	
	左岸	オバシギ			1					1	
		イソシギ	1	3						4	
		イソシギ	1							1	
R4.9.9	下げ潮	右岸	キアシシギ	1							1
			イソシギ	3	1						4
			シロチドリ	14							14
		左岸	キアシシギ	1	1						2
			ソリハシギ	1							1
			イソシギ	2	1						3
	干潮時	右岸	キアシシギ	3	3						6
			イソシギ		1						1
		左岸	シロチドリ		14						14
			キアシシギ		4						4
	上げ潮	右岸	イソシギ	1	3						4
			キアシシギ	3	2						5
イソシギ			2	4						6	
左岸		シロチドリ					14			14	
		キアシシギ	2	2						4	
		イソシギ	4	2						6	
満潮時	右岸	イソシギ		5						5	
	左岸	キアシシギ	1							1	
満潮時	左岸	イソシギ	7							7	
		キアシシギ	1							1	

調査日	潮位 カテゴリ	左右岸	種名	飛翔高度区分(m)						総計	
				0m (地上)	1~5m 未満	5~10m 未満	10~20m 未満	20~30m 未満	30~50m 未満		50m 以上
R5.2.7	下げ潮	右岸	イソシギ	1							1
		左岸	イソシギ	2	3						5
	上げ潮	右岸	イソシギ	2							2
		左岸	イソシギ	2	2						4
満潮時	右岸	イソシギ	1							1	
R4.4.19			確認例数	5	10	0	0	0	0	0	15
			構成比	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	-
R4.5.15			確認例数	111	84	11	7	0	0	0	213
			構成比	52.1%	39.4%	5.2%	3.3%	0.0%	0.0%	0.0%	-
R4.8.26			確認例数	34	23	1	0	0	0	1	59
			構成比	57.6%	39.0%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%	1.7%	-
R4.9.9			確認例数	45	43	0	0	14	0	0	102
			構成比	44.1%	42.2%	0.0%	0.0%	13.7%	0.0%	0.0%	-
R5.2.7			確認例数	8	5	0	0	0	0	0	13
			構成比	61.5%	38.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	-

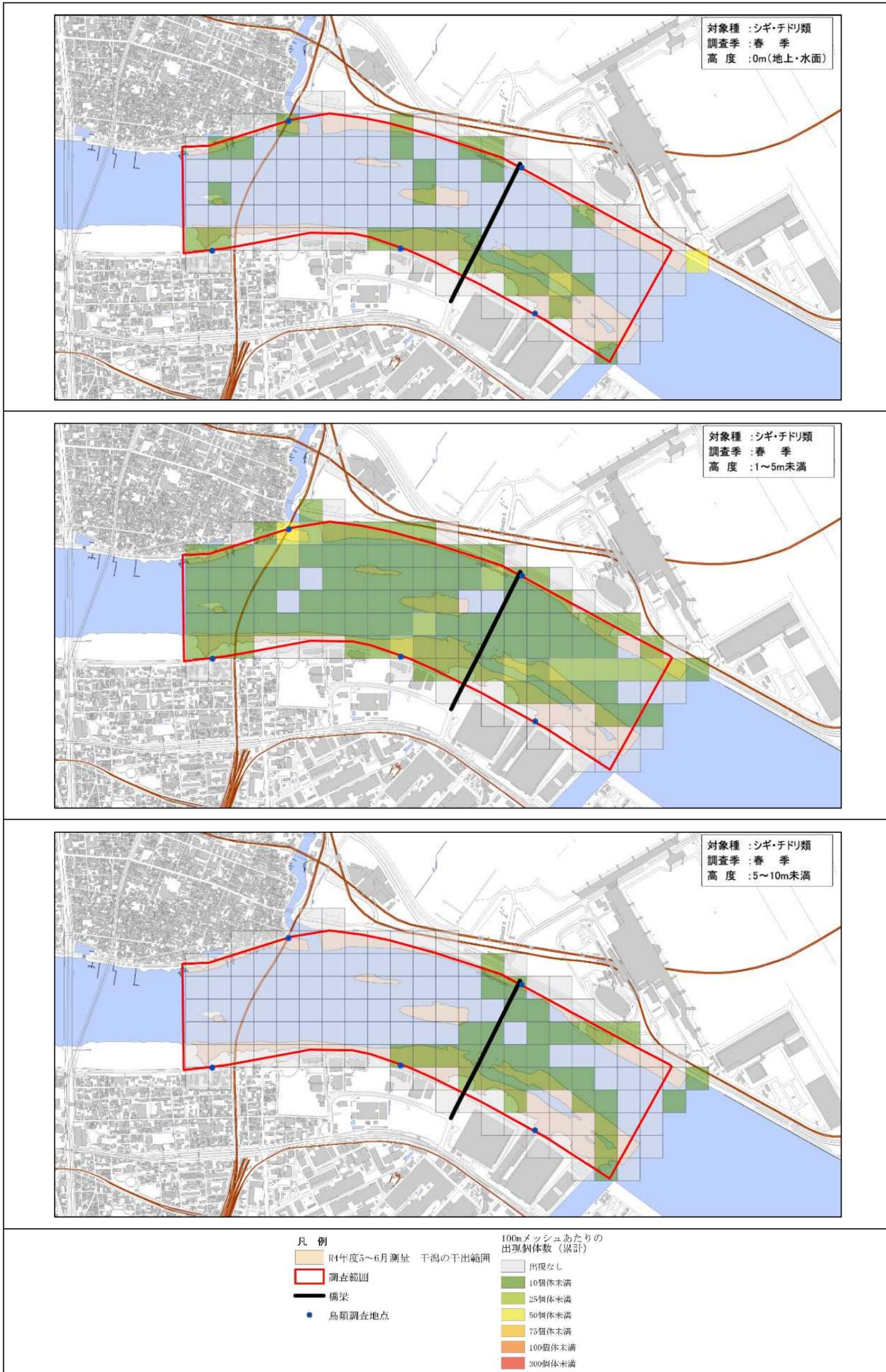
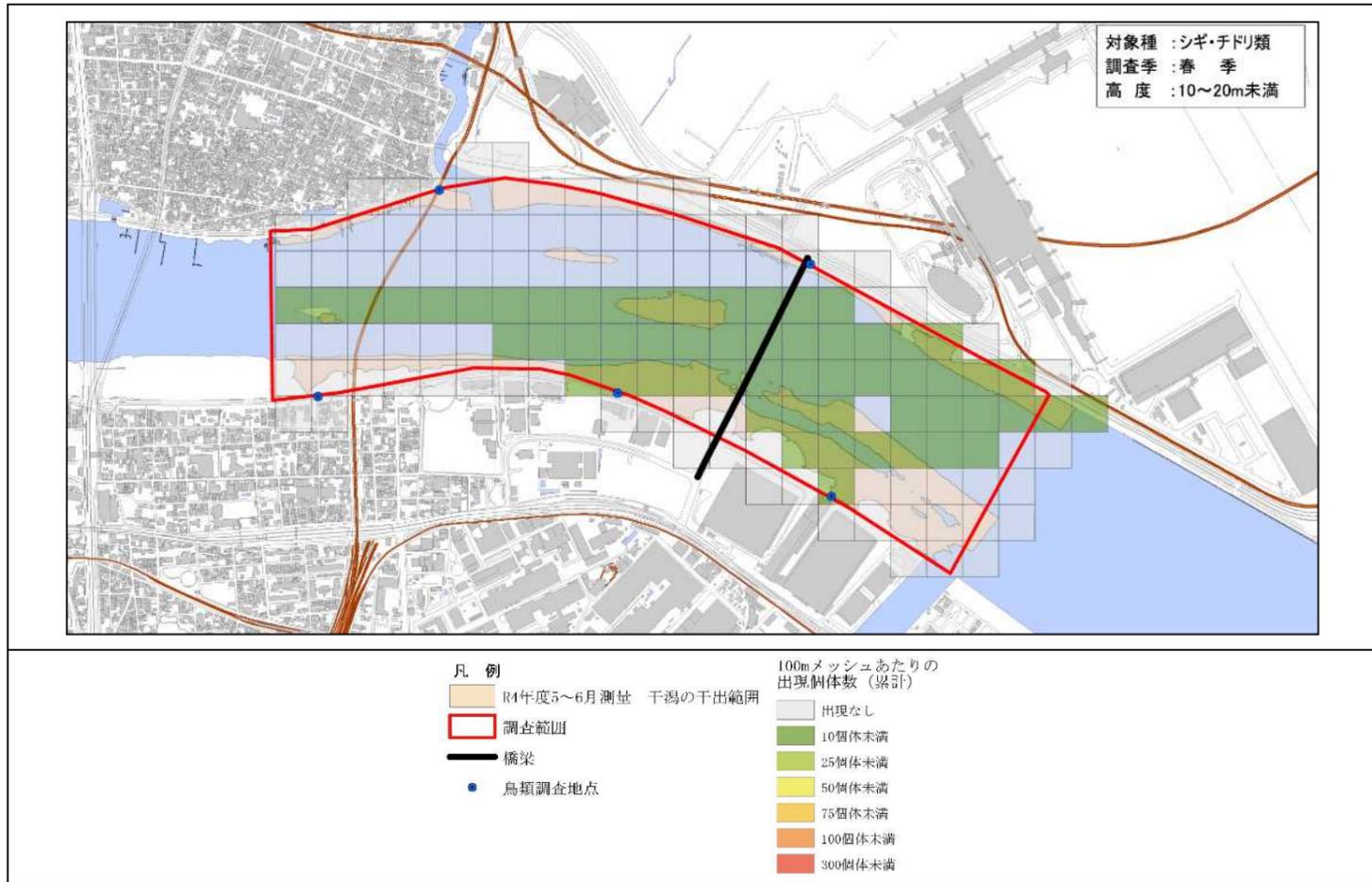


図 5.2 (1) 平面分布図(シギ・チドリ類 : R4 年度春季 0m, 1~5m, 5~10m)



※R4 年度春季は 10~20m以上の高度区分での飛翔は確認されなかった。

図 5.2 (2) 平面分布図(シギ・チドリ類 : R4 年度春季 10~20m)

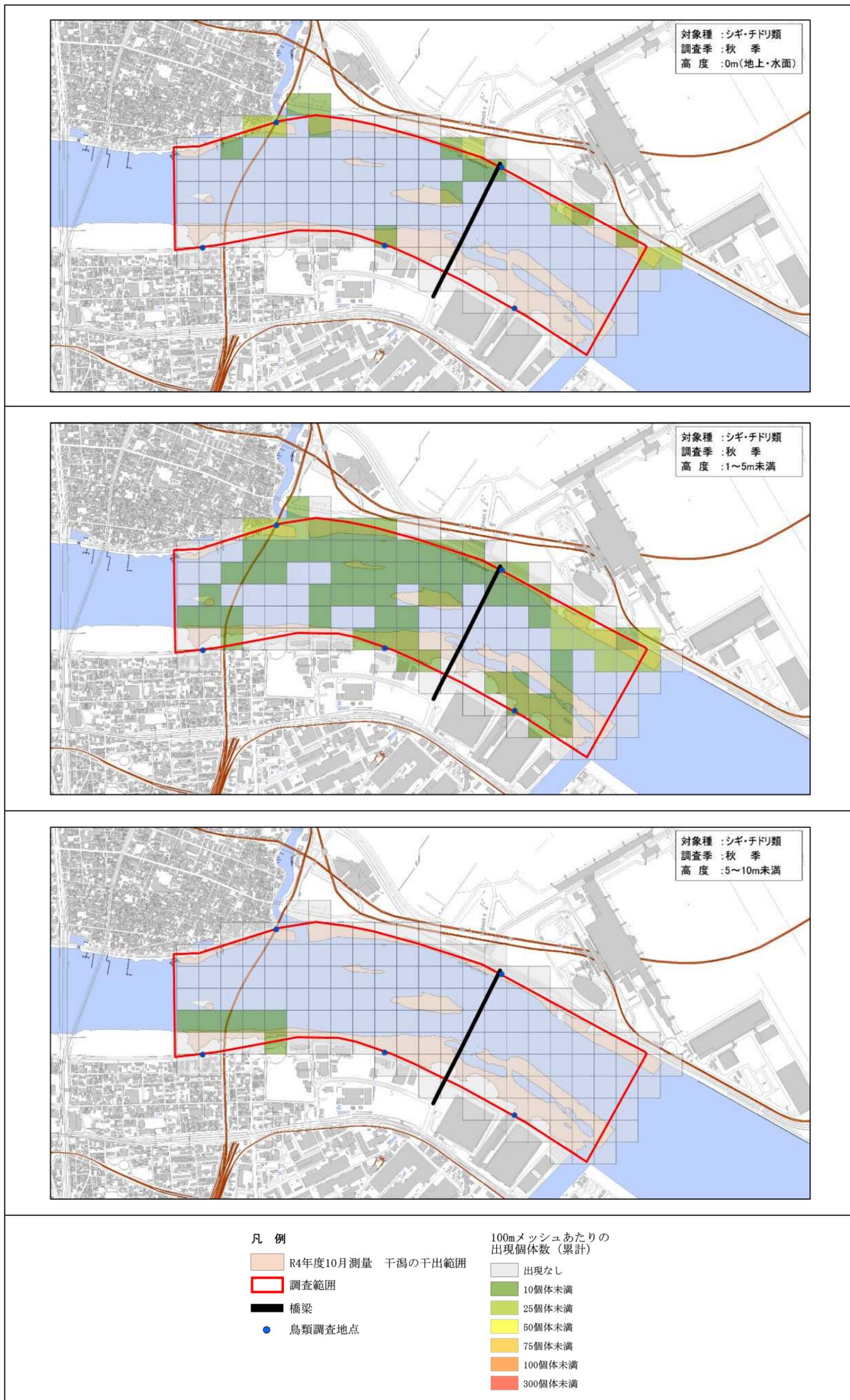
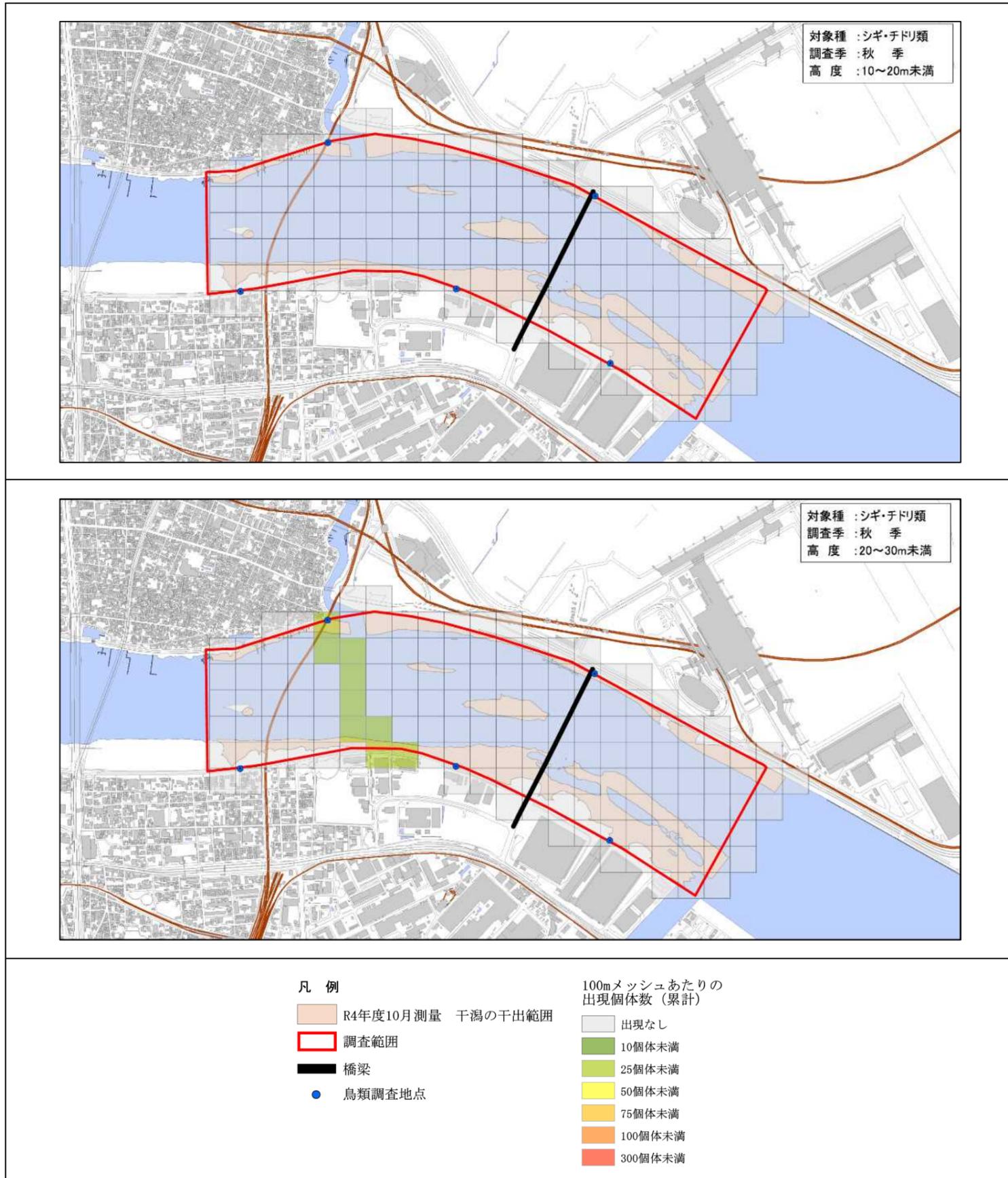
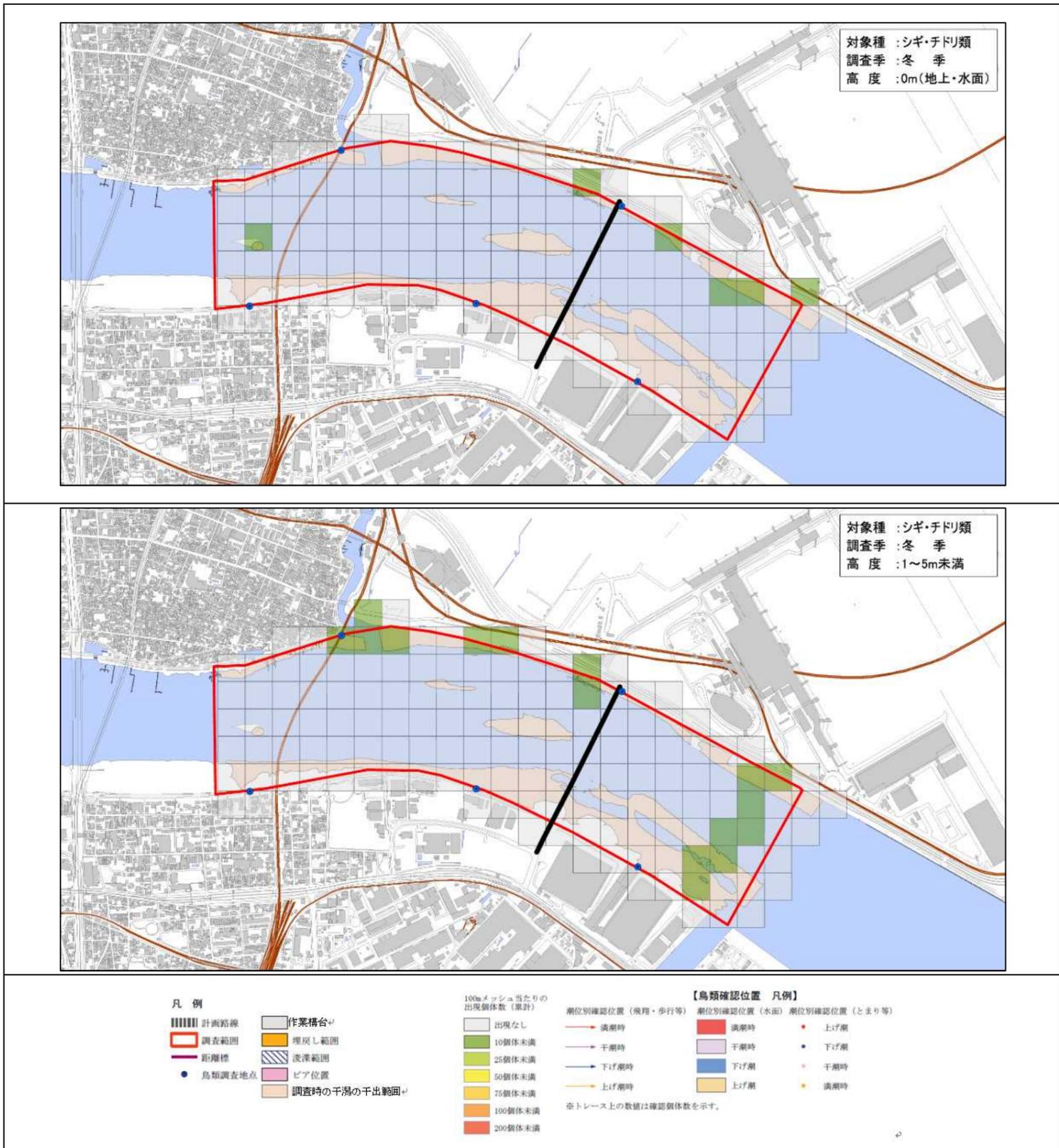


図 5.2(3) 平面分布図(シギ・チドリ類 : R4 年度秋季 0m, 1~5m, 5~10m)



※R4 年度秋季は 20~30m以上の高度区分での飛翔は確認されなかった。

図 5.2(4) 平面分布図(シギ・チドリ類 : R4 年度秋季 10~20m, 20~30m)



※R4年度冬季は1~5m以上の高度区分での飛翔は確認されなかった。

図 5.2(5) 平面分布図(シギ・チドリ類 : R4年度冬季 0m, 1~5m)

表 5.9 カモメ類の確認状況(調査日別)

No.	分類			調査実施年度および調査実施日				
				春季		秋季		冬季
	目名	科名	種名	R4. 4. 19	R4. 5. 15	R4. 8. 26	R4. 9. 9	R5. 2. 7
1	チドリ	カモメ	ユリカモメ	19				199
2			ウミネコ	37	39	457	501	1
3			カモメ					8
4			セグロカモメ	11				30
5			オオセグロカモメ	8		75	65	1
合計	1目	1科	5種	75例	39例	532例	566例	239例
				4種	1種	2種	2種	5種

*1：種名及び配列は「日本産鳥類目録改訂第7版(編 日本鳥学会 2012年)」に基本的に準拠した。

*2：欄内に数値を入力した種が当該調査日に確認されていることを示し、値は確認された回数を示している。

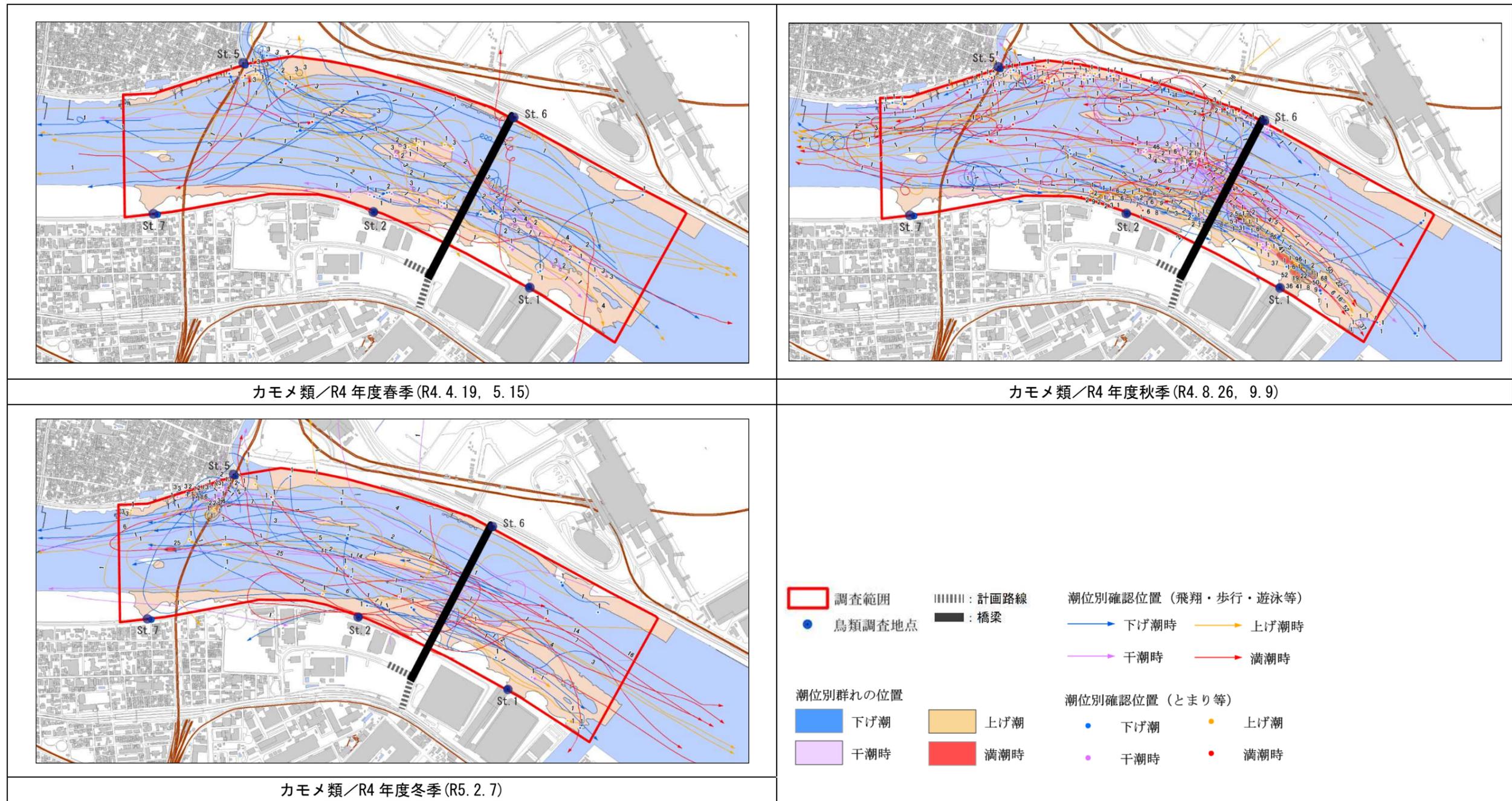


図 5.6 カモメ類確認位置(移動経路集積図)【R4 年度春季・秋季・冬季】

表 5.10 鳥類の飛翔高度(カモメ類)

調査日	潮位 カテゴリ	左右岸	種名	飛翔高度区分(m)						総計		
				0m (地上)	1~5m 未満	5~10m 未満	10~20m 未満	20~30m 未満	30~50m 未満		50m 以上	
R4. 4. 19	下げ潮	右岸	ユリカモメ	3	1		1				5	
			ウミネコ				5	1			6	
			オオセグロカモメ					1			1	
		左岸	ウミネコ			1					1	
			セグロカモメ			1					1	
			オオセグロカモメ				1		3		4	
	干潮時	右岸	ユリカモメ	1	1		5				7	
			ウミネコ	5	7						12	
	上げ潮	右岸	ウミネコ		4						4	
			ユリカモメ					5			5	
			ウミネコ	1	2						3	
			セグロカモメ					1	1		2	
			オオセグロカモメ				1				1	
			左岸	ユリカモメ					2			2
		ウミネコ					3	3			6	
		セグロカモメ			1		3				4	
		オオセグロカモメ						1			1	
		満潮時	右岸	ウミネコ						2		2
オオセグロカモメ							1			1		
左岸	ウミネコ				3				3			
	セグロカモメ		1		2		1		4			
R4. 5. 15	下げ潮	右岸	ウミネコ	1	4	2					7	
			ウミネコ		2	3					5	
	干潮時	右岸	ウミネコ	8	2	3		2			15	
			ウミネコ		2						2	
	上げ潮	右岸	ウミネコ		1	1	2				4	
			ウミネコ		3				1		4	
満潮時	右岸	ウミネコ	2							2		
R4. 8. 26	下げ潮	右岸	ウミネコ	106	8	3	2	1			120	
			オオセグロカモメ	19	3	2					24	
			ウミネコ	2	1		2		1		6	
		左岸	オオセグロカモメ	1					1		2	
			ウミネコ	107	12	3	1				123	
			オオセグロカモメ	15	2	2					19	
	干潮時	右岸	ウミネコ	12	5		3				20	
			オオセグロカモメ	2	1	2	1				6	
			ウミネコ	2	20	72	3	5			102	
	上げ潮	右岸	オオセグロカモメ		3	9	2				14	
			ウミネコ	4	2		2		1		9	
			オオセグロカモメ	2							2	
			ウミネコ		53	2	4	6	3		68	
	満潮時	右岸	オオセグロカモメ		6			1			7	
			ウミネコ	2	4		3				9	
			オオセグロカモメ	1							1	
	R4. 9. 9	下げ潮	右岸	ウミネコ	33	99	6	2	3			143
				オオセグロカモメ	2	5	1					8
ウミネコ				6	7		1				14	
干潮時		右岸	ウミネコ	77	34	1	5	1			118	
			オオセグロカモメ	10	1						11	
			ウミネコ	5	7		1				13	
上げ潮		右岸	ウミネコ		5						5	
			ウミネコ	66	80	1	8	2			157	
			オオセグロカモメ	5	15		3				23	
満潮時		右岸	ウミネコ	4	1	5	1				11	
			オオセグロカモメ		1	1					2	
			ウミネコ			37	2	1			40	
左岸	オオセグロカモメ			16					16			
	ウミネコ		3	1			1		5			
	ウミネコ											
R4. 4. 19			確認例数	10	17	2	24	9	13	0	75	
			構成比	13.3%	22.7%	2.7%	32.0%	12.0%	17.3%	0.0%	-	
R4. 5. 15			確認例数	11	14	9	2	2	1	0	39	
			構成比	28.2%	35.9%	23.1%	5.1%	5.1%	2.6%	0.0%	-	
R4. 8. 26			確認例数	275	120	95	23	15	4	0	532	
			構成比	51.7%	22.6%	17.9%	4.3%	2.8%	0.8%	0.0%	-	
R4. 9. 9			確認例数	208	258	69	23	7	1	0	566	
			構成比	36.7%	45.6%	12.2%	4.1%	1.2%	0.2%	0.0%	-	
R5. 2. 7			確認例数	30	29	7	55	24	89	5	239	
			構成比	12.6%	12.1%	2.9%	23.0%	10.0%	37.2%	2.1%	-	

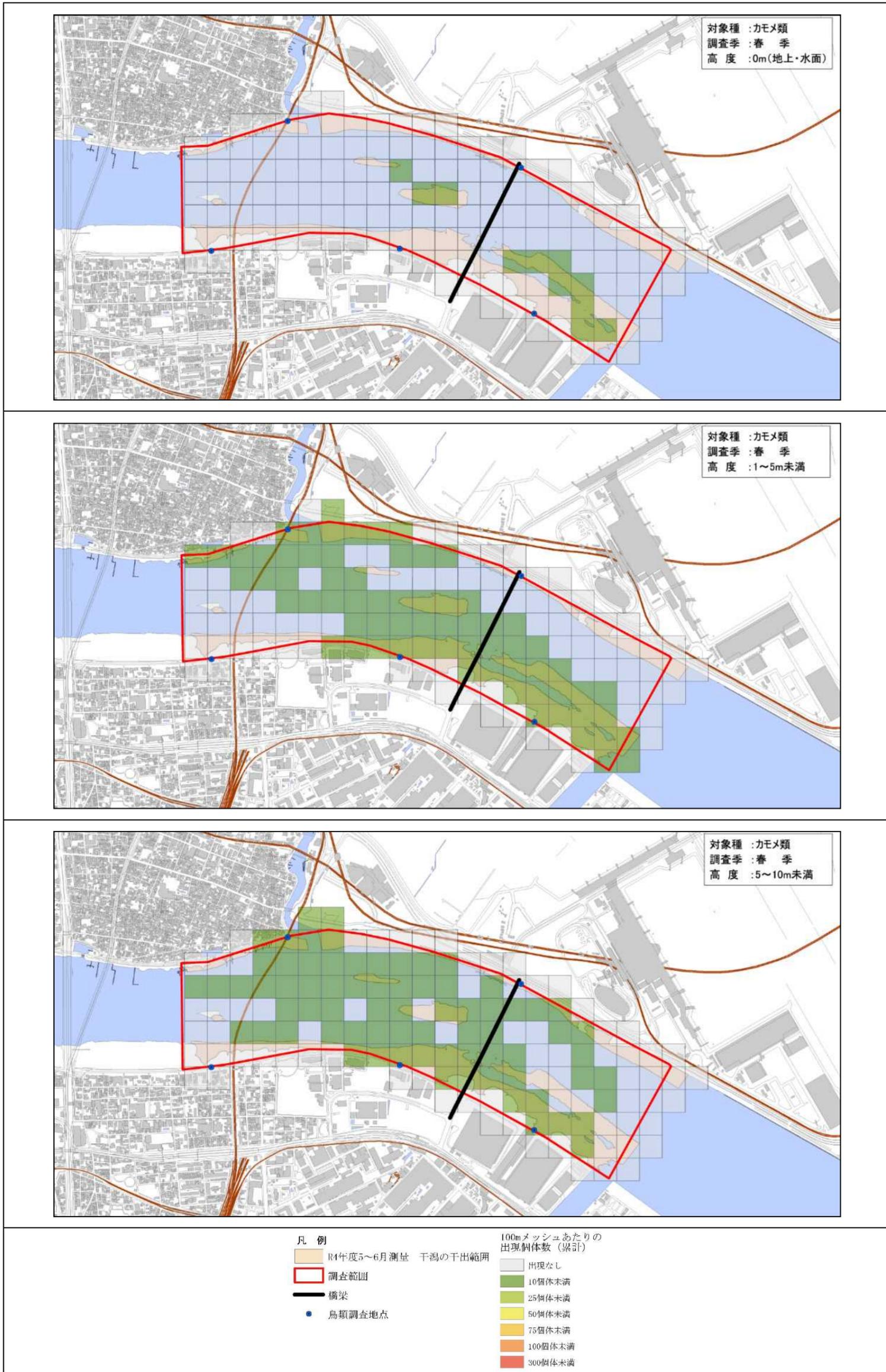


図 5.7 (1) 平面分布図(カモメ類 : R4 年度春季 0m, 1~5m, 5~10m)

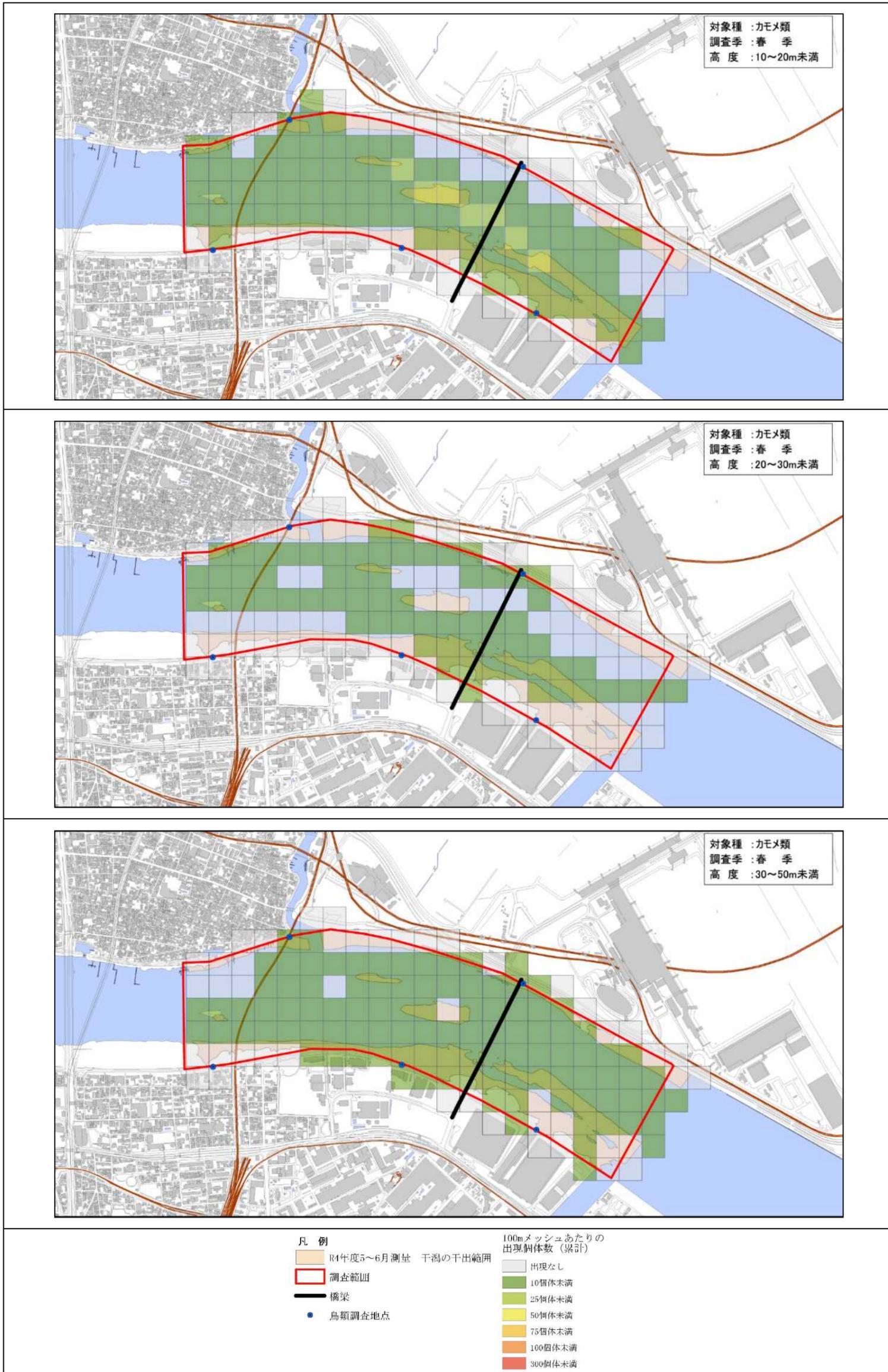


図 5.7 (2) 平面分布図(カモメ類 : R4 年度春季 10~20m, 20~30m, 30~50m)

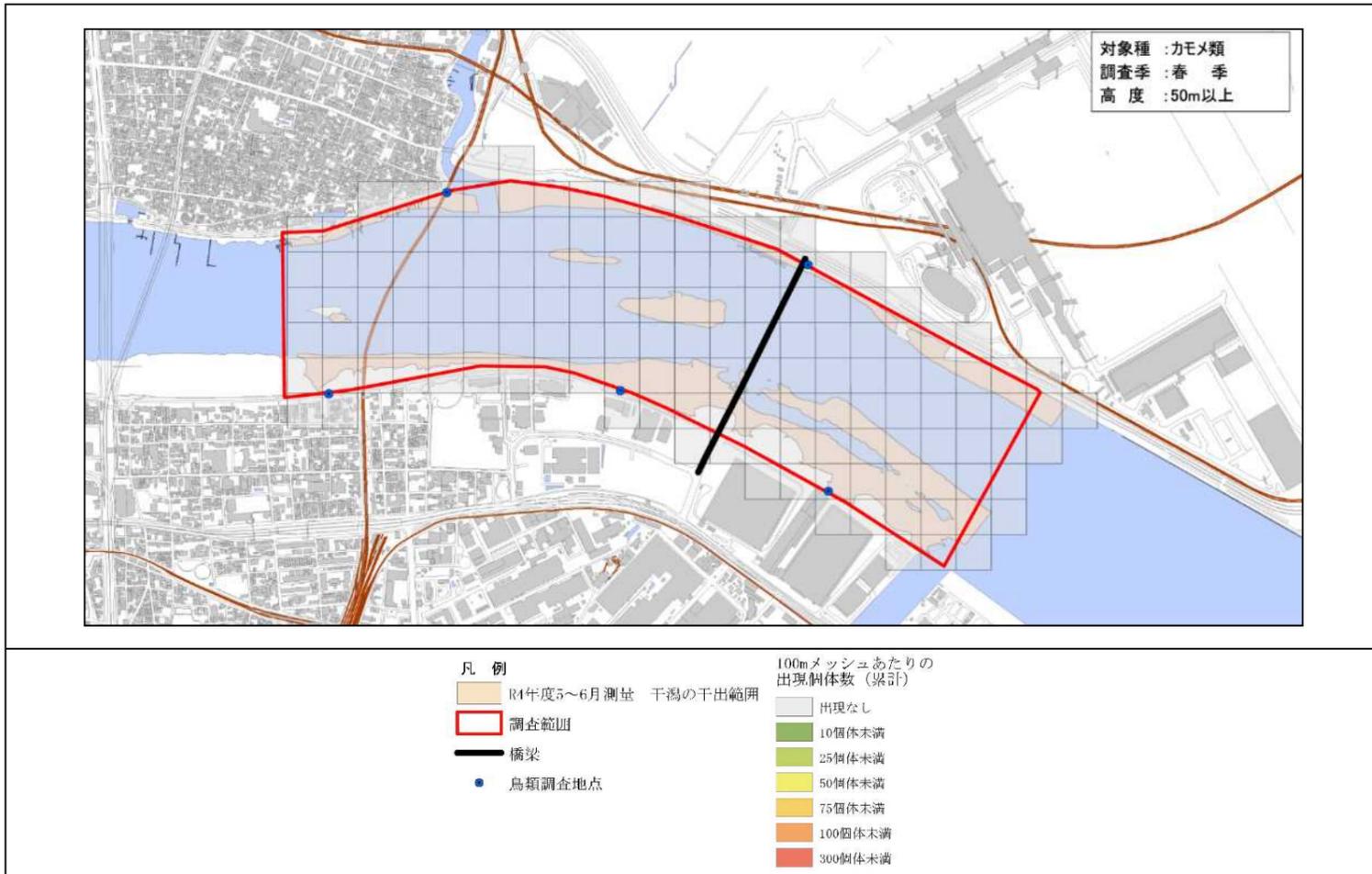


図 5.7 (3) 平面分布図(カモメ類 : R4 年度春季 50m以上)

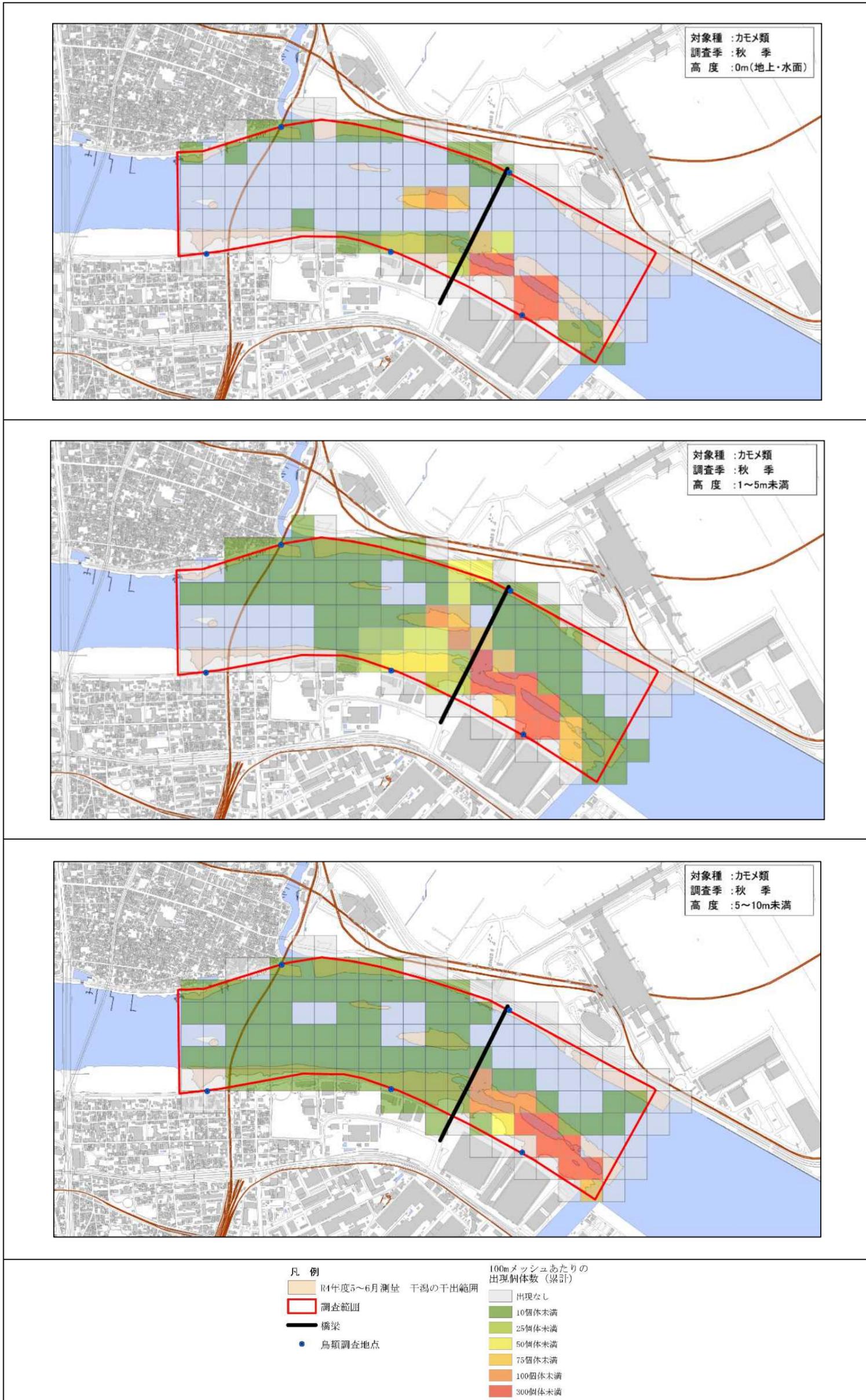


図 5.7 (4) 平面分布図(カモメ類 : R4 年度秋季 0m, 1~5m, 5~10m)

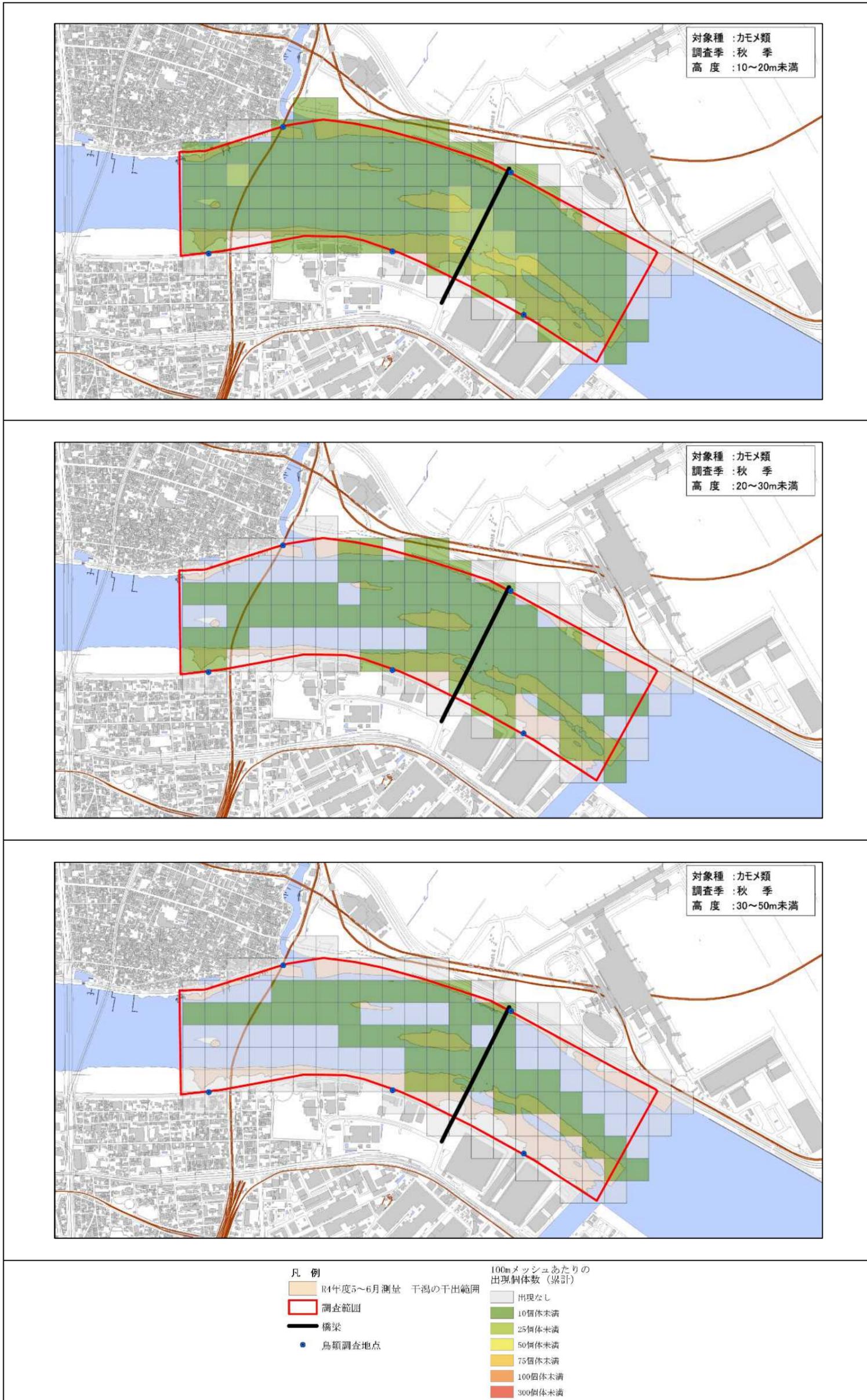


図 5.7 (5) 平面分布図(カモメ類: R4 年度秋季 10~20m, 20~30m, 30~50m)

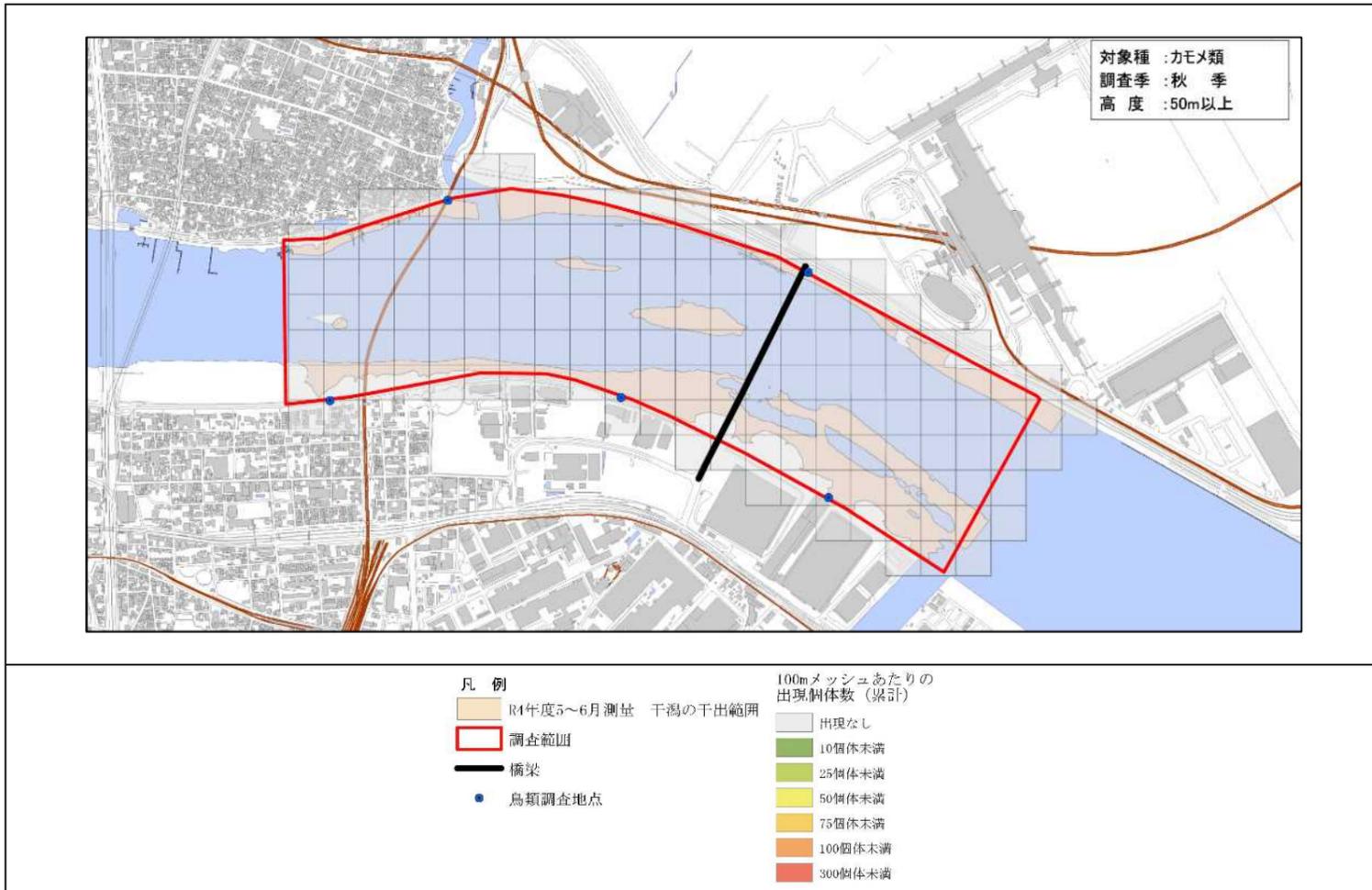


図 5.7 (6) 平面分布図(カモメ類 : R4 年度秋季 50m以上)

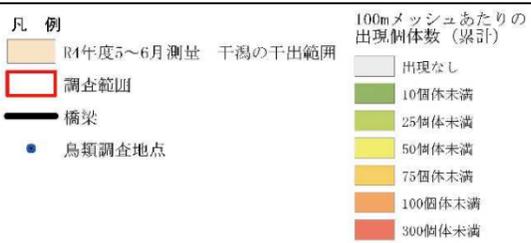
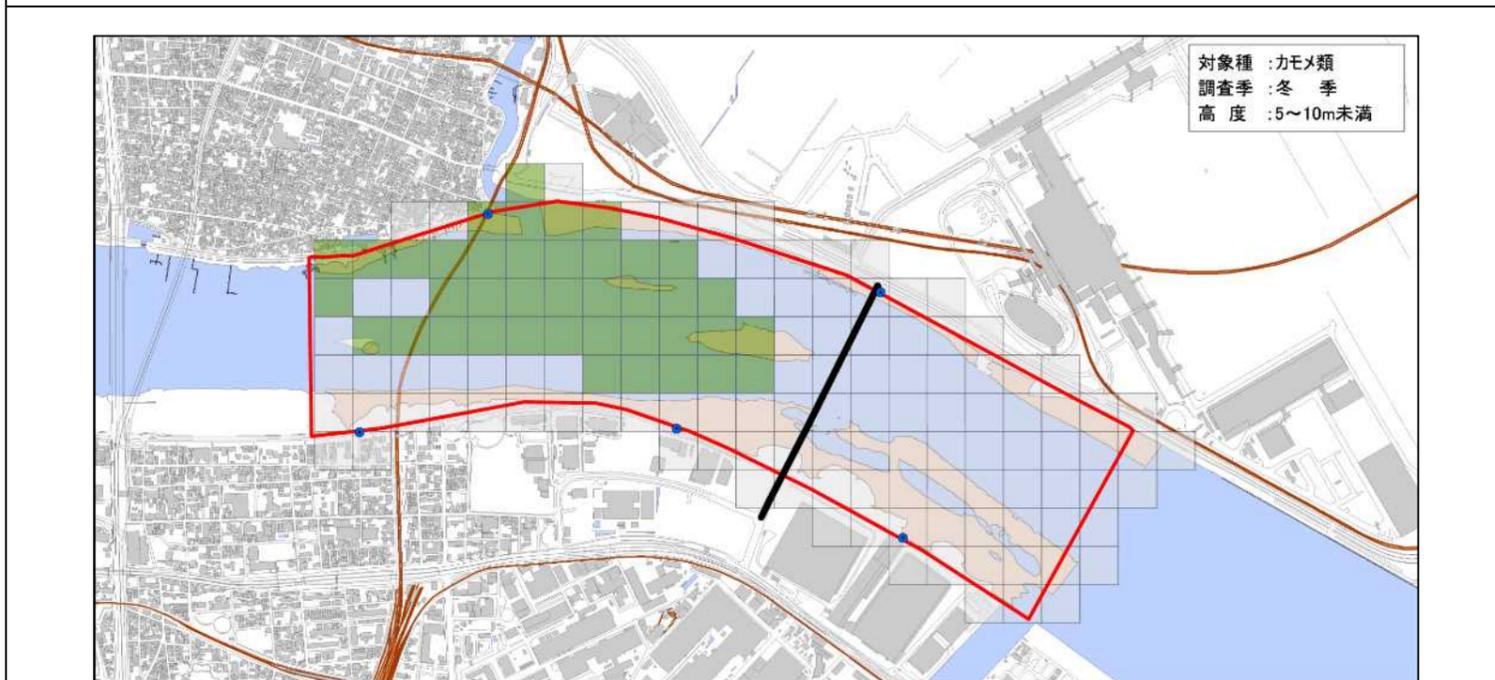
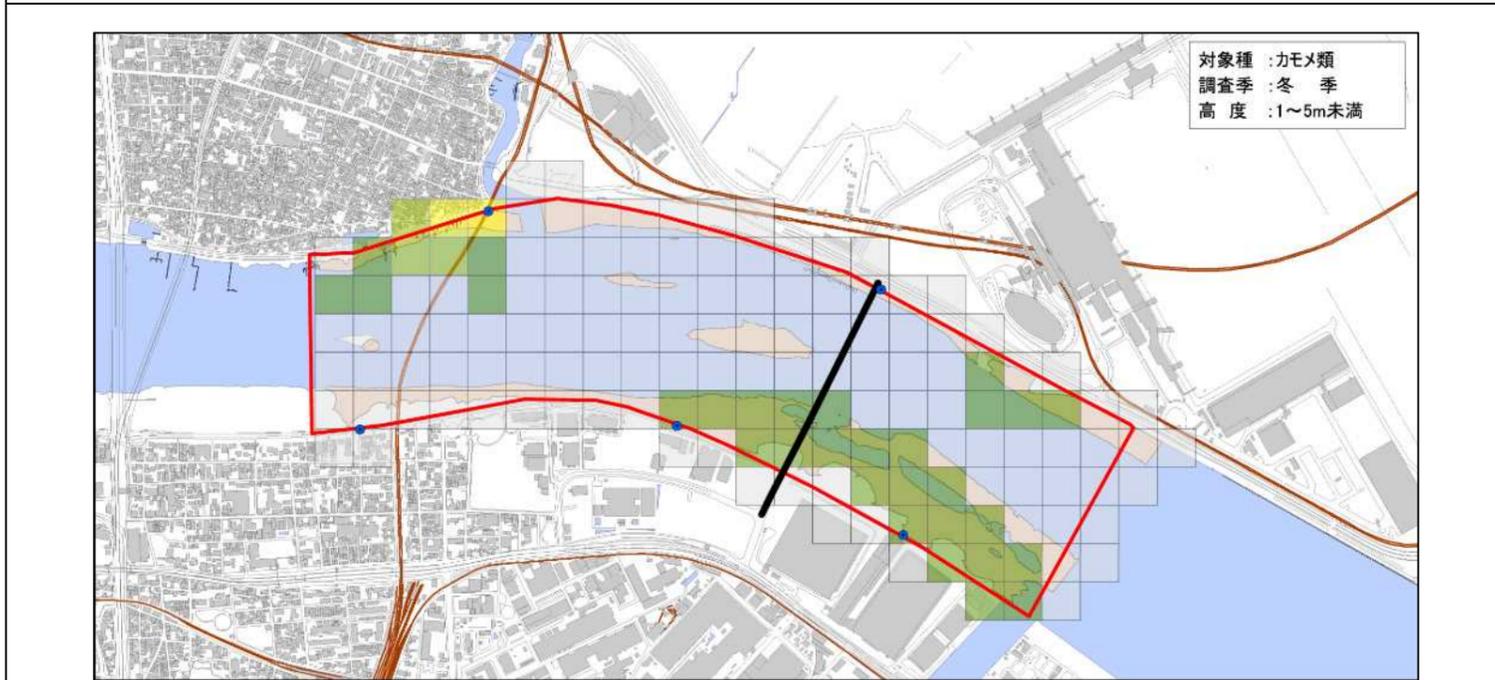
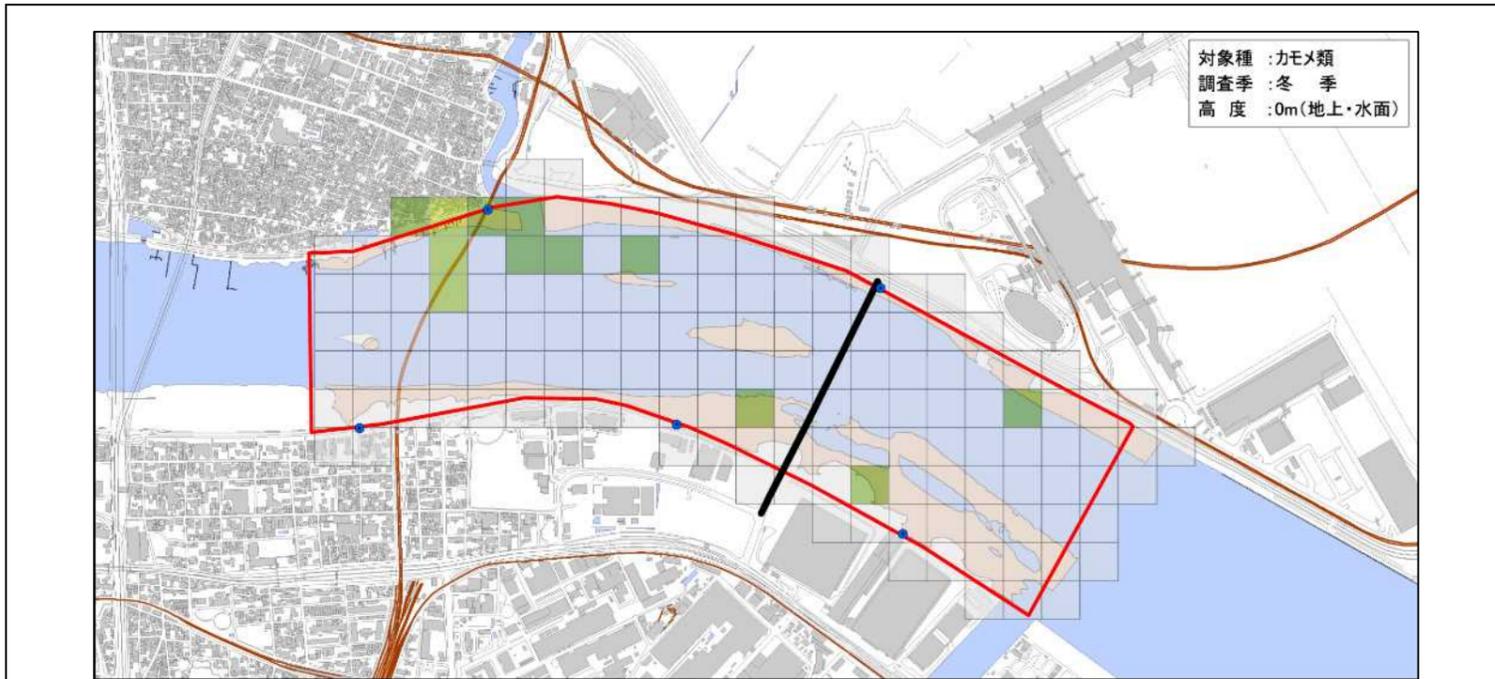


図 5.7 (7) 平面分布図(カモメ類 : R4 年度冬季 0m, 1~5m, 5~10m)

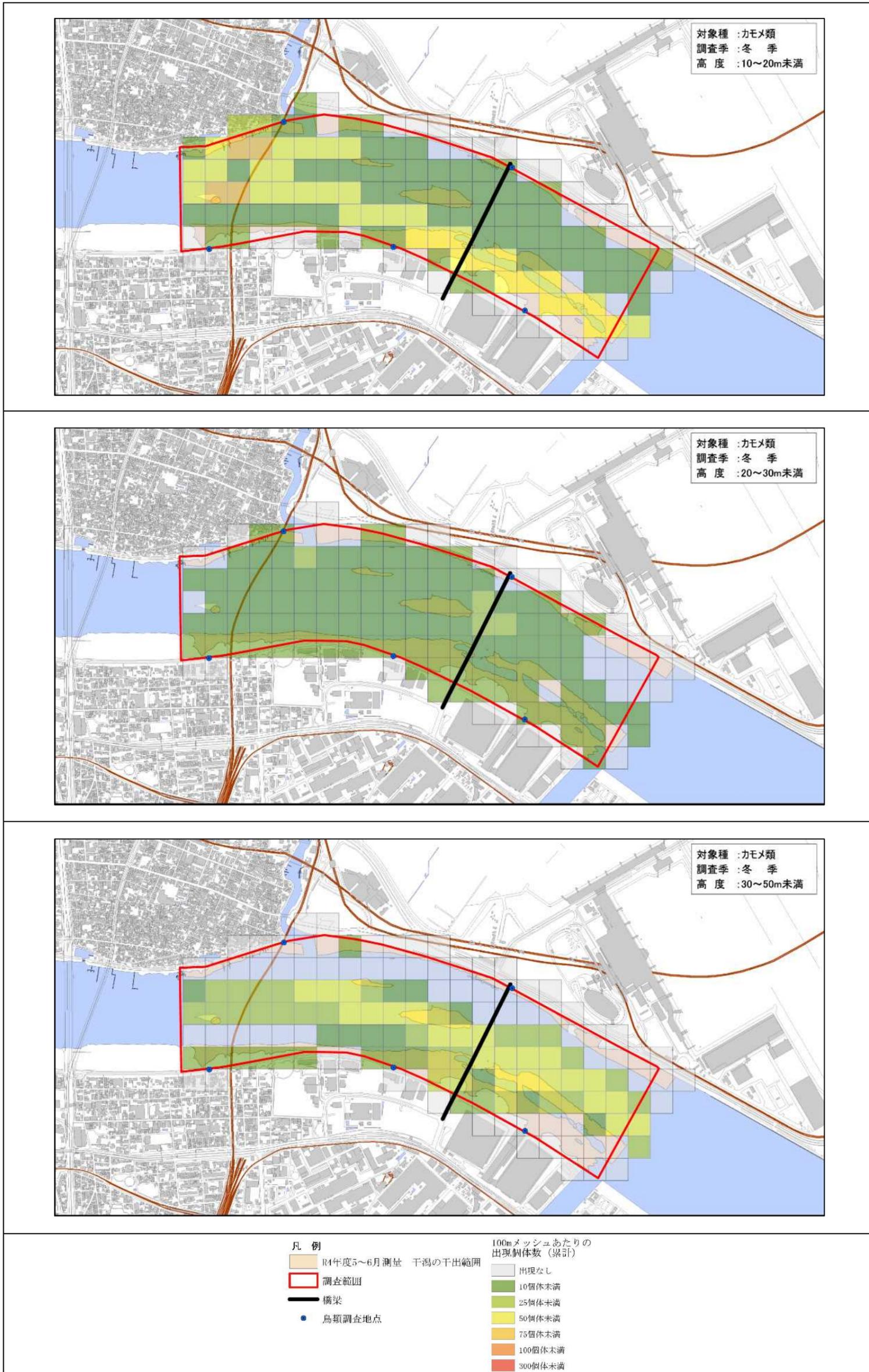


図 5.7 (8) 平面分布図(カモメ類 : R4 年度冬季 10~20m, 20~30m, 30~50m)

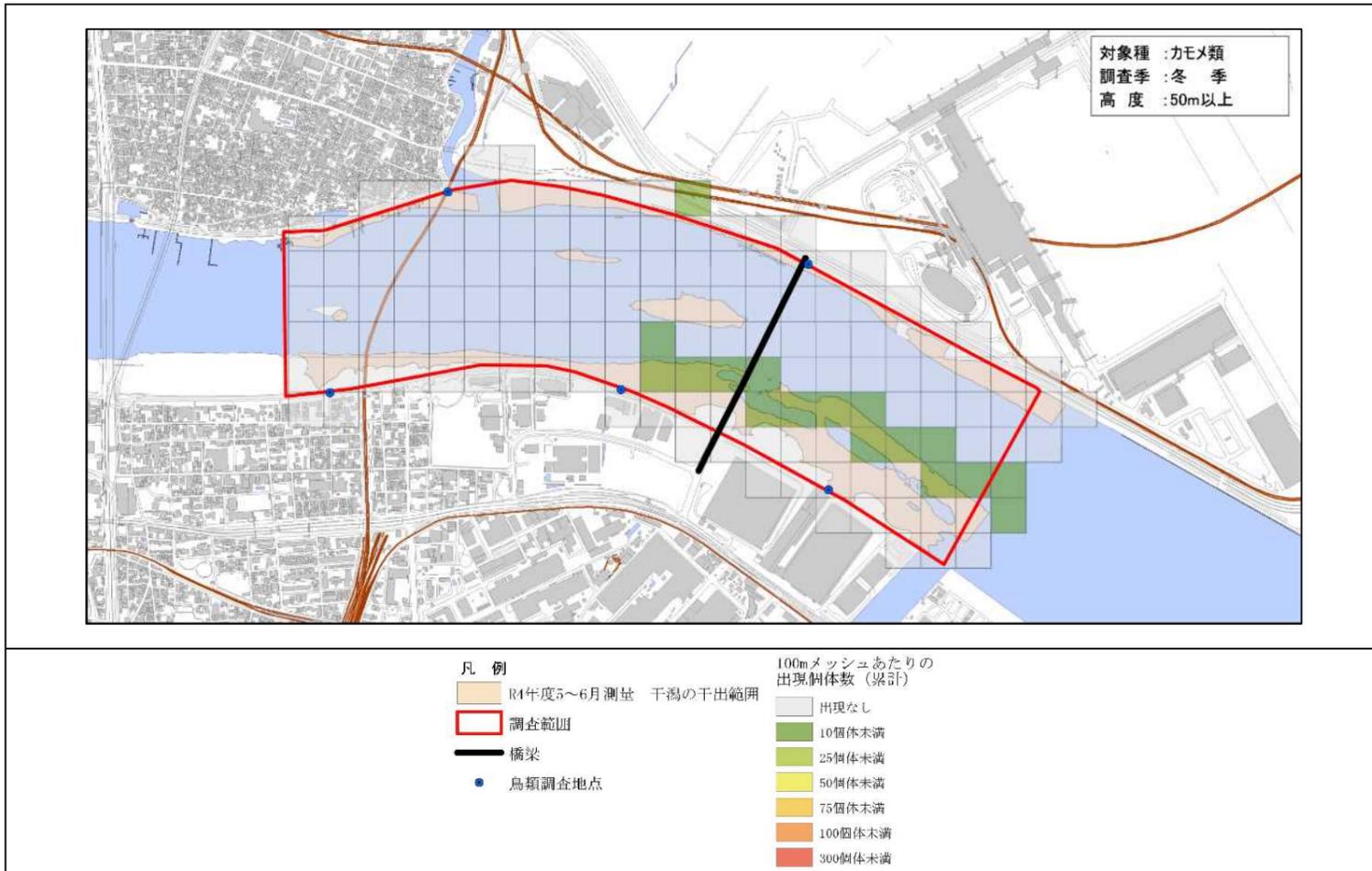


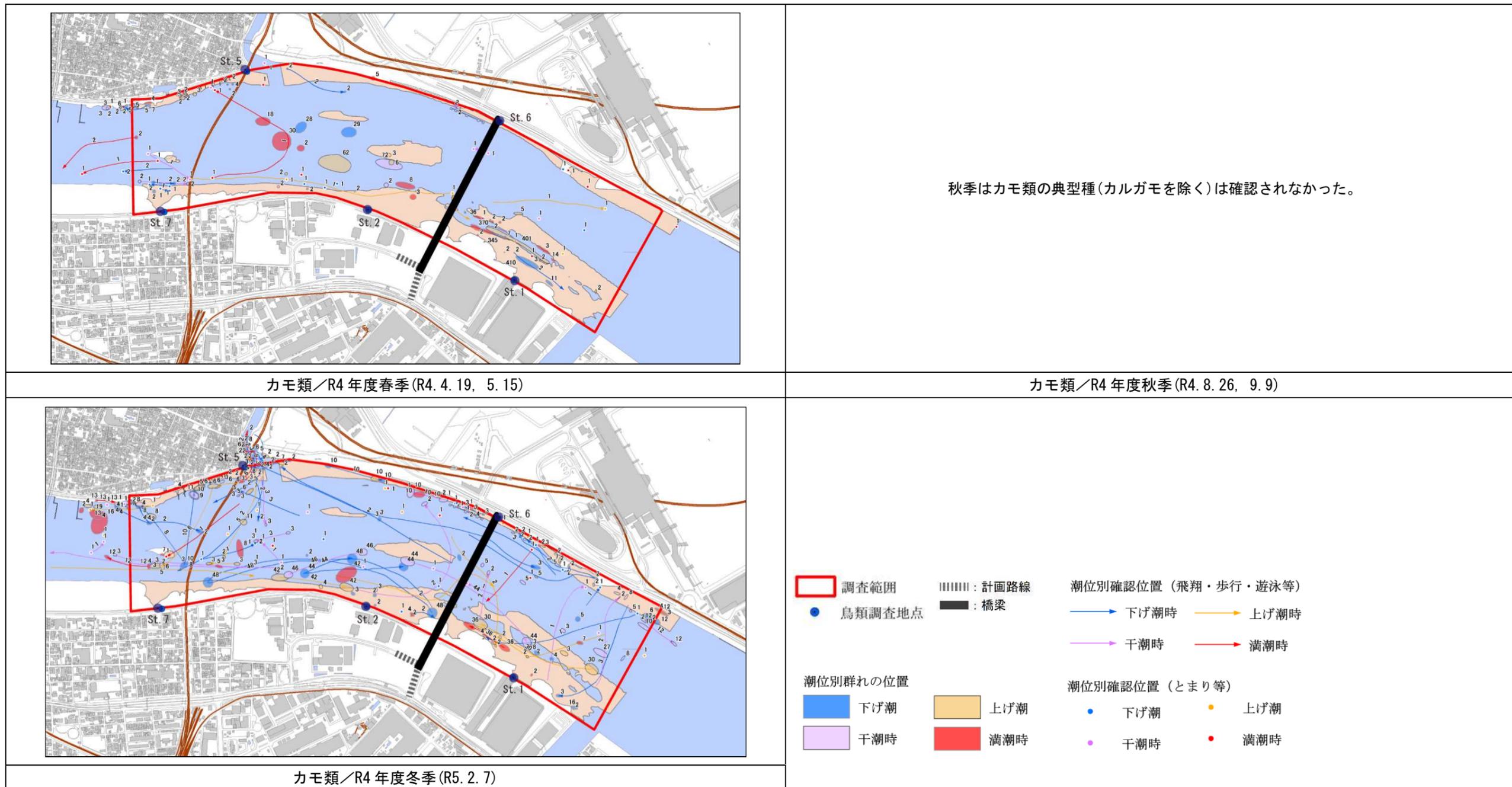
図 5.7 (9) 平面分布図(カモメ類 : R4 年度冬季 50m以上)

表 5.11 カモ類の確認状況(調査日別)

No.	分類			調査実施年度および調査実施日				
				春季		秋季		冬季
	目名	科名	種名	R4. 4. 19	R4. 5. 15	R5. 8. 26	R4. 9. 9	R5. 2. 7
1	カモ	カモ	オカヨシガモ					52
2			ヒドリガモ					133
3			マガモ					11
4			オナガガモ					45
5			コガモ	16	8			11
6			ホシハジロ					44
7			キンクロハジロ		4			85
8			スズガモ	1848	2			447
9			ウミアイサ					4
10	カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ					8
11			カンムリカイツブリ	7				72
12			ハジロカイツブリ					27
13	ツル	クイナ	オオバン	106	7			86
合計	3目	3科	9種	1977例	21例	0例	0例	784例
				4種	4種	0種	0種	9種

*1：種名及び配列は「日本産鳥類目録改訂第7版(編 日本鳥学会 2012年)」に基本的に準拠した。

*2：欄内に数値を入力した種が当該調査日に確認されていることを示し、値は確認された回数を示している。



秋季はカモ類の典型種(カルガモを除く)は確認されなかった。

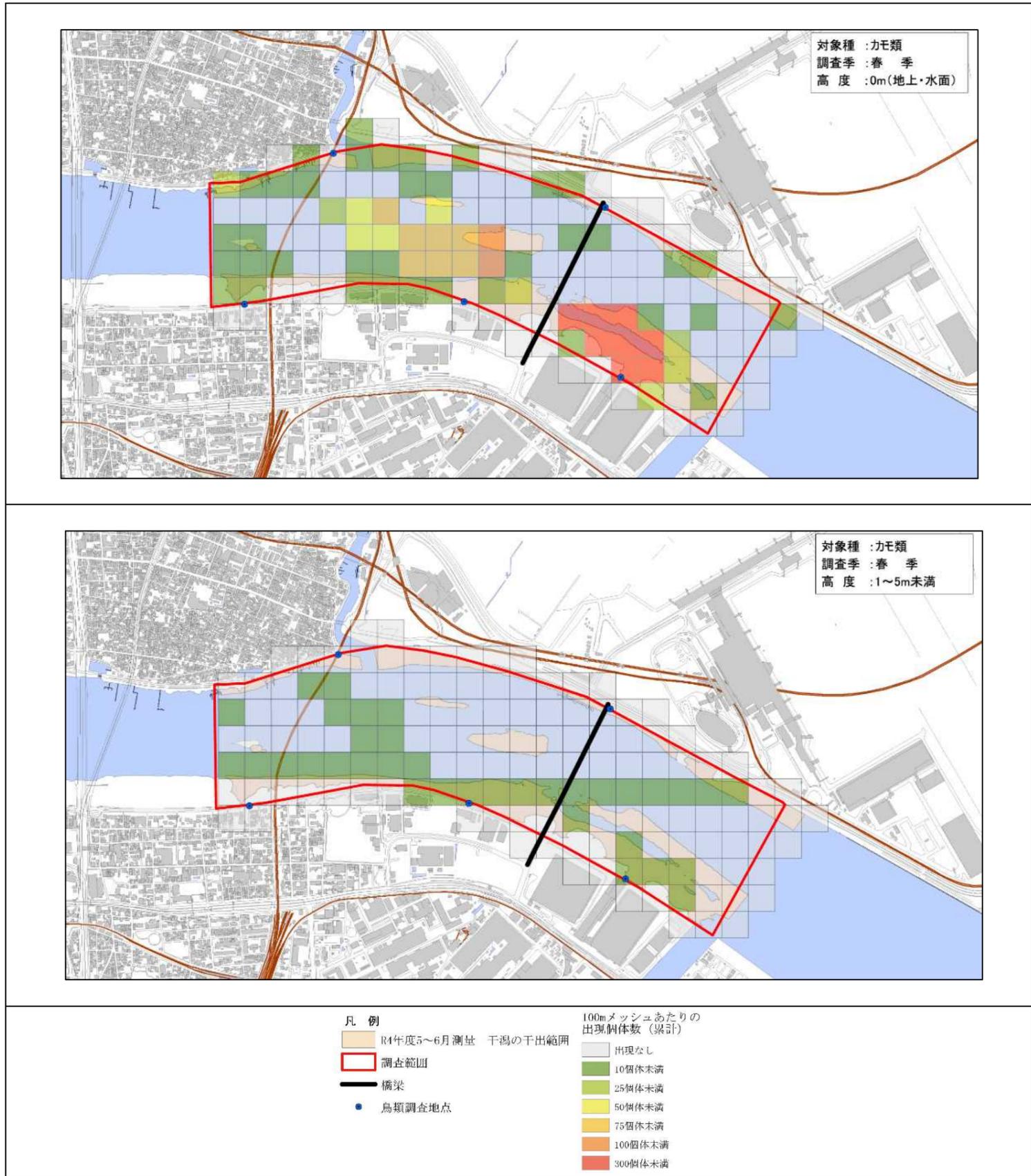
図 5.8 カモ類確認位置(移動経路集積図)【R4 年度春季・秋季・冬季】

表 5.12 鳥類の飛翔高度(カモ類)

調査日	潮位 カテゴリ	左右岸	種名	飛翔高度区分(m)						総計	
				0m (地上)	1~5m 未満	5~10m 未満	10~20m 未満	20~30m 未満	30~50m 未満		50m 以上
R4.4.19	下げ潮	右岸	コガモ	2							2
			スズガモ	478							478
			カンムリカイツブリ	7							7
			オオバン	20	2						22
	干潮時	右岸	オオバン	7							7
			コガモ	3							3
			スズガモ	418							418
			オオバン	16							16
	上げ潮	右岸	コガモ	4							4
			オオバン	12							12
			コガモ	3							3
			スズガモ	476							476
	満潮時	右岸	オオバン	18							18
			オオバン	1	1						2
			コガモ	2							2
			スズガモ	476							476
満潮時	左岸	オオバン	22							22	
		コガモ	2							2	
		オオバン	7							7	
		コガモ	2							2	
R4.5.15	下げ潮	右岸	コガモ	2							2
			キンクロハジロ		2						2
			スズガモ	1							1
			オオバン	1							1
	干潮時	右岸	コガモ	2							2
			キンクロハジロ		2						2
			オオバン	2							2
			コガモ	2							2
	上げ潮	右岸	オオバン		1						1
			コガモ		2						2
			スズガモ	1							1
			オオバン	2	1						3
R4.8.26	下げ潮										0
											0
											0
											0
	干潮時										0
											0
											0
											0
	上げ潮										0
											0
											0
											0
	満潮時										0
											0
											0
											0
R2.9.3	下げ潮										0
											0
											0
											0
	干潮時										0
											0
											0
											0
	上げ潮										0
											0
											0
											0
	満潮時										0
											0
											0
											0

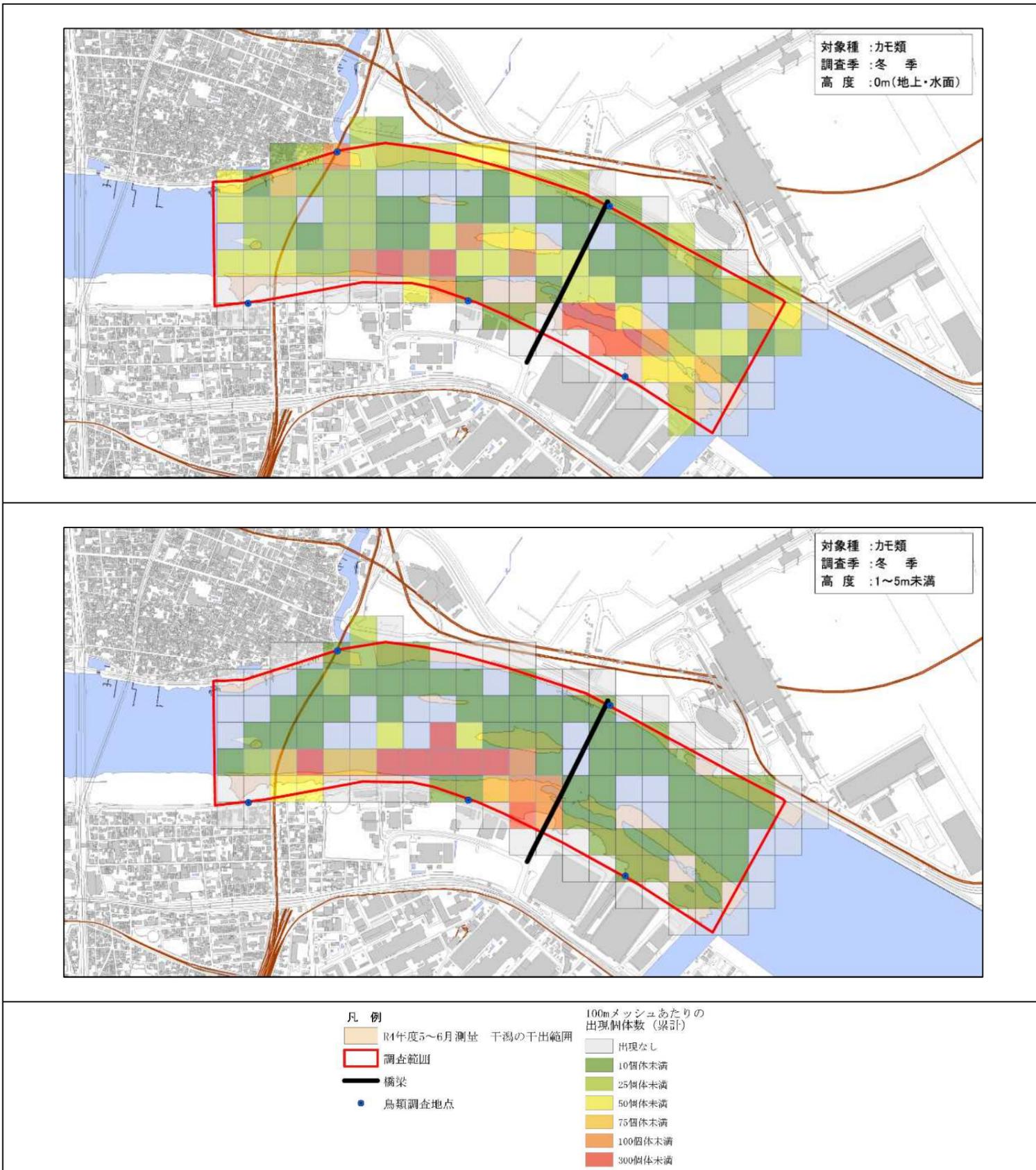
調査日	潮位 カテゴリ	左右岸	種名	飛翔高度区分(m)						総計		
				0m (地上)	1~5m 未満	5~10m 未満	10~20m 未満	20~30m 未満	30~50m 未満		50m 以上	
R5.2.7	下げ潮	右岸	ヒドリガモ	9							9	
			マガモ		3						3	
			オナガガモ	6	2						8	
			ホシハジロ	6							6	
			キンクロハジロ	18							18	
			スズガモ	36	92						128	
			ウミアイサ	1							1	
			カイツブリ	1	3						4	
			カンムリカイツブリ	15							15	
			ハジロカイツブリ	5							5	
			オオバン	9							9	
			左岸	オカヨシガモ	12	9		2				23
				ヒドリガモ	18	5						23
				オナガガモ	2	5		3				10
				コガモ	3							3
				ホシハジロ	5							5
				スズガモ	2							2
				カンムリカイツブリ	3							3
				オオバン	7							7
				干潮時	右岸	ヒドリガモ	12	4				
	マガモ	6										6
	オナガガモ	2									2	
	コガモ	1	2								3	
	ホシハジロ	13									13	
	キンクロハジロ	19									19	
	スズガモ	130	1								131	
	ウミアイサ	1									1	
	カイツブリ	3									3	
	カンムリカイツブリ	11									11	
	ハジロカイツブリ	5								5		
	オオバン	8	2							10		
	左岸	オカヨシガモ	7		2						9	
		ヒドリガモ	18								18	
		オナガガモ	5								5	
		コガモ	3								3	
		ホシハジロ	2								2	
		スズガモ	24		2						26	
		カンムリカイツブリ	5								5	
		ハジロカイツブリ	5								5	
		オオバン	9	1						10		
上げ潮		右岸	オカヨシガモ	2							2	
	ヒドリガモ			3						3		
	オナガガモ					2				2		
	コガモ		2							2		
	ホシハジロ		10							10		
	キンクロハジロ	24							24			
	スズガモ	33	2						35			
	ウミアイサ	1							1			
	カイツブリ	1							1			
	カンムリカイツブリ	16							16			
左岸	オオバン	17							17			
	オカヨシガモ	14			2				16			
	ヒドリガモ	16							16			
	オナガガモ	7							7			
	ホシハジロ	2							2			
満潮時	右岸	スズガモ	42							42		
		カンムリカイツブリ	3							3		
		ハジロカイツブリ	5							5		
		オオバン	6							6		
		オカヨシガモ	2							2		
		ヒドリガモ	38							38		
		マガモ	2							2		
		オナガガモ	4	1						5		
		ホシハジロ	4							4		
		キンクロハジロ	24							24		
	スズガモ	41							41			
	ウミアイサ	1							1			
	カンムリカイツブリ	16							16			
	ハジロカイツブリ	7							7			
	オオバン	20							20			
左岸	ヒドリガモ	10							10			
	オナガガモ	6							6			
	ホシハジロ	2							2			
	スズガモ	42							42			
	カンムリカイツブリ	3							3			
オオバン	6	1						7				

調査日	確認例数	1974	3	0	0	0	0	0	1977
R4.4.19	構成比	99.8%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	-
R4.5.15	確認例数	13	8	0	0	0	0	0	21
R4.5.15	構成比	61.9%	38.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	-
R4.8.26	確認例数	0	0	0	0	0	0	0	0
R4.8.26	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	-
R4.9.9	確認例数	0	0	0	0	0	0	0	0
R4.9.9	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	-
R5.2.7	確認例数	876	140	0	9	0	0	0	1025
R5.2.7	構成比	85.5%	13.7%	0.0%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	-



※R4 年度春季は 1~5m以上の高度区分での飛翔は確認されなかった。

図 5.9 (1) 平面分布図(カモ類 : R4 年度春季 0m, 1~5m, 5~10m)



※R4 年度冬季は 1~5m以上の高度区分での飛翔は確認されなかった。

※R4 年度春季は 1~5m以上の高度区分での飛翔は確認されなかった。

図 5.9 (3) 平面分布図(カモ類 : R4 年度冬季 0m, 1~5m)